





特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所	東京都新宿区内藤町1-1
2. 敷地面積	583,061.13㎡
3. 工事種目	1. 令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築整備 鉄骨造地上1階建 一式 建築面積 14,163.46㎡(申請建築物:260.03㎡ 既存建築物:13,903.43㎡) 延べ床面積 14,455.68㎡(申請建築物:215.34㎡ 既存建築物:14,240.34㎡) 2. 上記に伴う、電気及び機械設備工事 一式 3. 令和4年度新宿御苑ワーキングスペース外構整備 一式

4. 指定部分

対象部分 ( )  
 指定部分工期 年 月 日

5. 工事範囲  
 ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。  
 ・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。  
 ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2. 仮設工事	すべて
3. 土工事	すべて
4. 地業工事	すべて
5. 鉄筋工事	すべて
6. コンクリート工事	すべて
7. 鉄骨工事	すべて
8. コンクリートブロックALCパネル押出成形型枠工事	すべて
9. 防水工事	すべて
10. 石工事	すべて
11. タイル工事	すべて
12. 木工事	すべて
13. 屋根及びびい工事	すべて
14. 金属工事	すべて
15. 左官工事	すべて
16. 建具工事	すべて
17. カーテンウォール工事	すべて
18. 塗装工事	すべて
19. 内装工事	すべて
20. ユニット及びその他の工事	すべて

II. 建築工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁審判部制定の下記仕様書のうち、○を付けたものを適用する。  
 ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版(以下、「標準仕様書」という。)  
 ・建築工事標準詳細図(平成28年版)(以下、「標準詳細図」という。)  
 ・建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)
- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は( / )図、機械設備工事の特記仕様書は( / )図による。
- (3) 本特記仕様書の表記  
 1) 項目は、○印の付いたものを適用する。  
 2) 特記事項は◎印の付いたものを適用する。  
 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
 ○印と※◎印の付いた場合は、共に適用する。  
 3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
 4) ☒印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月8日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準「特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準」を満たすものを示す。

グリーン購入法に基づく、環境物品等の調達に関する基本方針(以下「基本方針」という)(環境省ホームページに掲載)(毎年2月改定)において位置づけられた、「特定調達品目」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用することとする。  
 なお、やむをえず判断基準を満たさないものを使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。  
 また、「特定調達品目」の調達の実績(設備及び公共工事)について、当該年度の調達実績集計表(物品・役務及び公共工事)を環境省ホームページからダウンロードし、Excelファイルで作成し、提出する。

(4) 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設の木材利用量について、木材利用調査要領により、Excelファイルで作成し、提出する。

章	項目	特記事項
---	----	------

1. 一般共通事項

◎ 適用区分

◎ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。  
 ・風圧力  
 風速 (V<sub>0</sub>=30m/s)  
 地面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・◎Ⅲ・Ⅳ)  
 ◎ 積雪荷重  
 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表(十八)

◎ 環境への配慮 (1.4.1)

(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。  
 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。  
 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。  
 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含む)しない難揮発性の可塑性を除去)が添加されていない材料を使用する。  
 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。  
 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料  
 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料  
 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料  
 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

◎ 材料の品質等 (1.4.2)

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。  
 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。  
 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。  
 4) 本工事に使用する材料のうち、(6)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。  
 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。  
 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。  
 ③ 安定的な供給が可能であること。  
 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。  
 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

◎ 室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.5.9)

(1) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。  
 (2) 測定対象室及び測定箇所数は仕上げ表による。  
 (3) 測定は、パッシブ型採集機器により行う。  
 (4) 測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。

◎ 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数、画質等	撮影者
外観正面1箇所	カラー印刷紙キャビネ判 カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム縦じ※	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者 ※建築専門写真業者 中村絵写真事務所 同等の業者	
外側( )箇所 内部(40)箇所	カラー印刷紙キャビネ判 カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム縦じ※			
電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)				
外側( )箇所 内部( )箇所	カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム縦じ※	1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの指定のうち最高の画質		任意
電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)				

注: ※のアルバムは併せて作成する。

◎ 他工事又は他工程との取合い

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

2. 仮設工事

◎ 足場その他 (2.2.4)

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

3. 土工事

◎ 埋戻し及び盛土 (3.2.3)

材料及び工法  
 ・材料( ) 工法( )  
 ※表3.2.11による  
 類別  
 ◎ A種 適用場所( )  
 ◎ B種 適用場所( )  
 ◎ C種 適用場所( )土質( )受渡場所( )  
 ・D種 適用場所( )  
 品質細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。  
 ※ 城南島(大田区城南島3-14)へ搬出・構内指示の場所に堆積・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5)

◎ 建設発生土の処理 (3.2.5)

◎ 山留めの撤去 (3.3.3)

鋼矢板等の抜き後の処理 ・ ※直ちに砂等で充填する  
 山留めの位置 ・ 行う (位置範囲 ※図示 )

4. 地業工事

特記仕様書(構造関係)による

5. 鉄筋工事

特記仕様書(構造関係)による

6. コンクリート工事

特記仕様書(構造関係)による

7. 鉄骨工事

特記仕様書(構造関係)による

8. コンクリートブロック

◎ 補強コンクリートブロック造 (8.2.2、3、5)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考
		長さ	高さ			
・				・無・有		
・				・無・有		

モルタルの割合(容積比) (8.2.3)  
 ・セメント( ) : 砂( )  
 各部の配筋 (8.2.5)  
 ※図示による( )

◎ コンクリートブロック 縦壁及び隅

ブロックの種類 (8.3.2、3、4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
		長さ	高さ			
・ 空洞ブロックC(16)				・無・有		
・ 型枠状ブロック20				・無・有		

隅の厚さ (8.3.2)  
 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4)  
 ※図示による( )  
 各部の配筋 (8.3.4)  
 ※図示による( )

◎ ALCパネル (8.4.2~5)

パネルの区分	単位荷重(N/m <sup>2</sup> )	厚さ(mm)	長さ(mm)	幅(mm)	耐火性能	表面加工		工法の種別
						平	意匠	
・ 外壁パネル		100			有(1)時間	平	意匠	A種・B種
・ 間仕切壁パネル		100			有(1)時間	平	意匠	C種・D種・E種
・ 屋根パネル		100			有(0.5)時間	平		F種
・ 床パネル		100			有( )時間			

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材  
 ・  
 外壁、屋根パネルの工法  
 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合  
 パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ・ ※10~20  
 外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ 適用しない

◎ 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2~5)

パネルの種類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
◎ 壁パネル	・ F(フラット)種 ・ D(ドザイナ)種 ・ T(トイナ)種	50・60	300 600	・ A種(縦) ◎ B種(横)	
・ 間仕切壁パネル	・ F(フラット)種 ・ D(ドザイナ)種 ・ T(トイナ)種	50・60	600	・ B種 ・ C種	

外壁パネルの工法  
 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合  
 パネル相互の目地幅(mm) ・ 長辺 ・ 短辺  
 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15程度  
 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ・ ※パネルの製造所の仕様  
 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

パネルに開口を設ける場合	開口の大きさ	開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	
		短辺	長辺	短辺	長辺
パネルを切り欠く場合		短辺	長辺	短辺	長辺

9. 防水工事

・ アスファルト防水 (9.2.2~5)(表9.2.3~9)

種別	施工箇所	断熱材☒	絶縁用シート	立上り部の保護方法
・ A-1			※表9.2.3のA	・ 乾式保護材
・ A-2			厚さ0.15mm以上	
・ A-3				
・ B-1				・ コンクリート押え
・ B-2				
・ B-3				
・ A1-1	(材質) ※JIS A 9521に基づく		※70g/m <sup>2</sup> 程度	・ れんが押え
・ A1-2	押出法※1※2※3断熱材		70g/m <sup>2</sup> 程度	
・ A1-3	3種BA(スキン層付き)			
・ B1-1				※JIS R 1250
・ B1-2	(厚さ)			
・ B1-3		・ 25mm ・ 50mm		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
 用途による区分  
 材料構成による区分 ※R種  
 厚さ mm以上  
 ※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
 用途による区分  
 材料構成による区分 ※R種  
 厚さ mm以上  
 ※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による

平場の保護コンクリートの厚さ  
 こて仕上げ ※水下 80mm以上  
 床タイル張り ※水下 60mm以上

・ 乾式保護材  
 窯業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シオートクレープ養生したもの。  
 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものの。  
 (品質・性能・試験方法) 別表による

◎ 屋根露出防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材☒	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用 ☒
			種類	使用量	
・ D-1					・ 乾式保護材
・ D-2					
・ D-3					
・ D-4					
・ D1-1					
・ D1-2					

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示

◎ 屋根露出防水絶縁断熱工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
 種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
 設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

◎ 屋内防水

防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ E-1		・ E-2	

保護層 ・ 設ける(※図示 ) ・ 設けない

◎ 防水層の下の立上り  
 ※コンクリート打直し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打直し仕上げ種別]のB種  
 押え金物の材質及び形状及び寸法  
 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度  
 防水層の下のモルタル塗リ ・ 適用する (施工範囲 ※図示 )  
 ・ 適用しない

◎ 屋根排水溝 ※図示 ・ 適用しない

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和4年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	特記仕様書1	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	-	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-002 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	設計者	名称	株式会社 高橋茂建設設計事務所	
	資格者氏名	大橋康孝	登録番号	一級建築士登録第343672号
	所在地	静岡県静岡市東区 西子代町2-20-30		

改質アスファルトシート防水 (9, 3, 2, 3) (表 9, 3, 1~3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料		高日射反射率防水の適用
				種類	使用量	
AS-T1						
AS-T2						
AS-T3						
AS-T4						
AS-J1						
AS-I-T1		標準仕様書9, 3, 2(3) (の種類)				
AS-I-J1		(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	・ 設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による) ・ 設けない			

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
材料構成による区分 ※R種  
厚さ mm以上  
※標準仕様書表9, 3, 1から表9, 3, 3による

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
材料構成による区分 ※R種  
厚さ mm以上  
※標準仕様書表9, 3, 1から表9, 3, 3による

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
材料構成による区分 ※R種  
厚さ mm以上  
※標準仕様書表9, 3, 1から表9, 3, 3による

押入金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L=30×15×2, 0mm程度

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁加熱工法の場合の断気装置の種類及び設置数量  
種類  
設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定  
※改質アスファルトシートの製造所の指定

(9, 4, 2~4) (表9, 4, 1~3)

種別	施工箇所	絶縁用シート の材質	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用
				種類	使用量	
S-F1				ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様	
S-F2		※発泡ポリエチレンシート				
S-M1				ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様	
S-M2						
S-M3						
S-I-F1		※標準仕様書 9, 4, 2(3) (b) (の種類) ※発泡ポリエチレンシート (厚さ)		ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様	
S-I-F2						
S-I-M1		※標準仕様書 9, 4, 2(3) (a) (の種類) ※発泡ポリエチレンシート (厚さ)		ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様	
S-I-M2						

S-I-F1, S-I-F2, S-I-M1及びS-I-M2における防湿フィルムの設置  
・ 設ける  
・ 設けない

S-M2またはS-I-M2の立上り部の工法  
・ 接着工法 立上り面のシート厚さ ※1, 5mm  
・ 機械的固定方法

屋内防水  
防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護 モルタル厚
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護 モルタル厚	
S-C1		・ 床塗り工法 ・ 下地モルタル塗り	※7mm以下	

屋内保護密着工法  
平場のモルタル塗りの目地  
ルーフィングシートの種類及び厚さ  
種類  
厚さ  
※標準仕様書表9, 4, 1, 表9, 4, 2及び表9, 4, 3による  
接着工法の場合の断気装置の種類及び設置数量  
種類  
※ルーフィングシートの製造所の仕様  
設置数量  
※ルーフィングシートの製造所の仕様  
固定金具の材質、形状及び寸法  
※厚さ0, 4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板

接骨工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理  
・ 行う (・ 図示 )  
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1, S-I-F1の場合)  
・ 行う (・ 図示 )

機械的固定工法の場合の一段部のルーフィングシートの張付け  
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1, 1, 15, 1, 3) 倍の風圧力に対応した工法 (9, 5, 3) (表 9, 5, 1, 2)

防水層の種類

種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射反射率防水の適用
		種類	使用量		
X-1		・ 主材料の製造所の仕様	・ 主材料の製造所の仕様		
X-2		・ 主材料の製造所の仕様	・ 主材料の製造所の仕様		
Y-1	※地下外壁防水				
Y-2	※屋内防水			・ 適用する ・ 適用しない	

ウレタンゴム系遮断防水X-1 (絶縁工法) の断気装置の種類及び設置数量  
種類  
※主材料の製造所の仕様  
設置数量  
※ルーフィングシートの製造所の仕様

ゴムアスファルト系遮断防水Y-1, Y-2  
工数及び各工数の使用量  
※主材料の製造所の仕様

防水層の種類 (9, 6, 1, 3, 4) (表9, 6, 1, 2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
C-U-I		C-U-P	

防水層の下地  
壁 (・ ※コンクリート打放し仕上げ (表9, 2, 4 B種)  
天井部 (・ ※コンクリート打放し仕上げ (表9, 2, 4 B種)

下地処理  
コンクリートの打継ぎ箇所の処理  
・ 図示  
※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにV形にはつり、水洗い清掃した後、防水材の製造所の指定する材料を充填

型枠轉付材にコーンが使用されている部分及び防水材の塗布面以外の下地処理  
・ 図示 (9, 7, 2, 3, 5) (表 9, 7, 1)

下表以外は、標準仕様書表 9, 7, 11による  
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

シーリング材の目地寸法  
・ 図示  
※標準仕様書9, 7, 3(1) (7)~(9)による

接着性試験  
※簡易接着性試験  
・ 引張接着性試験

(10, 1, 3, 5)

10 石工工事

石材の割付け  
粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ  
室内の床を本磨きとする場合のワックス掛け  
・ 図示  
・ 行う (適用場所) ・ すべて  
・ 行わない

天然石 (10, 2, 1, 3) (表 10, 2, 1, 2)

施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法 寸法(mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ の種類	備考
床石		※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が 0, 8㎡以下)			

テラズブロック

施工箇所	種石の種類	種石の 大きさ(mm)	形状に よる区分	仕上げ面 よる区分	寸法 (mm)	仕上げ の種類	備考
	※大理石 ・ 花こう岩	※1, 5~12	・ 平もの ・ 段もの ・ 凹面				

テラズタイル

施工箇所	種石の種類	種石の 大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・ 花こう岩	※1, 5~12	・ 300型 ・ 400型		

取付け用モルタル  
既調合の目地モルタル  
石裏面処理材  
裏打ち処理材  
金物の固定に使用する充填材料等  
※専門工事業者の指定する製品  
※専門工事業者の指定する製品  
※専門工事業者の指定する製品  
※専門工事業者の指定する製品

外壁湿式工法 (10, 2, 2, 3) (10, 3, 2, 3)

受金物 材質 ※SUS304  
形状及び寸法  
・ L=75×75×6(mm)の加工 長さ100mm  
・ L=75×75×6(mm)の加工 長さ150mm

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12  
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ( )  
ドレンパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ

石裏面処理  
裏打ち処理  
下地ごしらえ  
目地  
伸縮調整目地  
位置  
目地幅(mm) ※6以上  
シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない

内壁空積工法 (10, 2, 2) (10, 4, 2, 3)

受金物 材質 ※SUS304  
形状及び寸法  
・ L=75×75×6(mm)の加工 長さ100mm  
・ L=75×75×6(mm)の加工 長さ150mm

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12  
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ( )  
石裏面処理  
裏打ち処理  
下地ごしらえ  
目地  
伸縮調整目地  
位置  
目地幅(mm) ※6以上  
シーリング材の目地寸法  
・ 図示 ※幅・深さ共10mm以上

乾式工法 (10, 2, 2) (10, 5, 2, 3) (表10, 2, 4)

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等  
(・ )  
取付け方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式  
アンカーの材質及び形状 ※ステンレス (SUS304) M10  
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ( )  
たばねの穴の位置 ・ 図示 ※標準仕様書10, 5, 2(2) (7)による  
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない  
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない  
外壁の工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1, 1, 15, 1, 3) 倍の風圧力に対応した工法  
目地 目地幅(mm) ※8以上  
シーリング材 ・ 図示 ※標準仕様書9, 7による

床石及び階段の石張り (10, 6, 2, 3)

床石張りの裏面処理  
階段張りの裏面処理  
目地  
伸縮調整目地  
位置  
目地幅(mm) ・ 図示  
※床面積30㎡程度ごと、縦長い通路の場合6㎡程度ごと及び他の部材と取り合う箇所  
シーリング材の目地寸法  
・ 図示 ※幅・深さ共10mm

アーチ、上げ表等の石張り (10, 2, 2) (10, 7, 1, 2)

取付け工法 ・ 内壁空積工法 ・ 乾式工法  
取付け金物 ※標準仕様書10, 2, 2(3)  
材質 ※ステンレス (SUS304)  
寸法  
引金物  
だば  
かすがい  
受金物  
ファスナーの方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式  
吊金物及び化粧吊りボルト  
吊金物 ※ステンレス (SUS304) 径6mm長さ80mm (加工物)  
吊りボルト ※ステンレス (SUS304) M10化粧ナット付き  
・ 設けない

あと施工アンカーの材質及び寸法 ( )  
取付け工法 ・ 内壁空積工法 ・ 乾式工法  
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない  
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない  
目地  
伸縮調整目地 位置 ※他の部位との取合い部 ・ 図示  
シーリング材の目地寸法  
・ 図示 ※幅・深さ共10mm以上

笠木、甲板等の石張り (10, 2, 2) (10, 7, 1, 3)

取付け工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 乾式工法  
取付け金物 ※標準仕様書10, 2, 2(3)  
材質 ※SUS304  
寸法  
引金物  
だば  
かすがい  
受金物  
ファスナーの方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式  
あと施工アンカーの材質及び寸法 ( )  
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない  
乾式工法の場合の取付け代 ・ ※70mm程度  
石材の裏面の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない

11 タイル工事

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11, 1, 1, 3) (表11, 1, 1)

位置 ※標準仕様書表11, 1, 1による ・ 図示  
目地寸法 ※標準仕様書9, 7, 3による

セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等 (11, 2, 2, 7)

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の 適用	吸水率による区分	凹凸くすり 工法	色 標準	耐凍害性 有	耐汚損性 有	耐摩 り性	備考

標準的な面がりの役物は一体成形とする  
試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本焼き ・ 行う ・ 行わない  
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目尻工法 (高圧水洗処理) ・ MCR工法  
壁タイル張りの工法  
内装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り ・ ユニットタイル  
外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り  
内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り

・ 既製調合モルタル  
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、軽骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。  
(品質・性能・試験方法)  
別表による  
・ 既製調合目地材  
(品質・性能・試験方法)  
別表による (11, 3, 2~4, 7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の 適用	吸水率による区分	凹凸くすり 工法	色 標準	耐凍害性 有	耐汚損性 有	耐摩 り性	備考

標準的な面がりの役物は一体成形とする  
試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本焼き ・ 行う ・ 行わない  
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外  
目地のシーリング材  
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材  
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材  
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材  
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材  
下地調整材塗りをを行うコンクリート素地面の処理  
・ MCR工法 ・ 目尻工法 (高圧水洗処理) ・

12 木工事

表面仕上げ (12, 1, 4) (表12, 1, 1)

表面仕上げの種類		適用箇所	
機械加工	・ A種 ・ B種 ・ C種		
手加工	・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種		

(12, 2, 1) (12, 4, 1) (12, 5, 1) (12, 6, 1) (12, 7, 1)

「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の 適用
			※2級		※A種・B種		
			※2級		※A種・B種		
			※2級		※A種・B種		

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の 適用
見え掛り面			※上小節		※A種・B種		
見え掛り面 以外			※小節以上		※A種・B種		

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の 適用
			※1等		※10%以下 ・ A種・B種		
			※1等		※10%以下 ・ A種・B種		
			※1等		※10%以下 ・ A種・B種		

※特記仕様書 (構造関係) による

工事名称	令和4年度新宿御苑パークキングススペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	特記仕様書2
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	図面	-
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-003 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	
		設計者	名称 資格者氏名 登録番号 所在地
			株式会社 大橋建設設計事務所 大橋康孝 一級建築士登録第34567号 東京都新宿区西區 西千代町25-20

Table with multiple sections for construction materials. Includes '造作用集材', '造作用単板積層材', and '床張り用台板' sections. Each section contains detailed tables with columns for construction site, material type, dimensions, and specifications.

Table detailing construction methods and materials. Includes sections for '構造用合板', '接着剤', '防蟻・防蟻 処理', '長尺金属板', and '折板'. Contains tables for material properties and application methods.

Table detailing construction methods and materials. Includes sections for '粘土瓦葺', 'ステンレスの表面仕上げ', 'アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理', '鉄鋼の亜鉛めっき', '軽量鉄骨天井下地', and '軽量鉄骨下地'. Contains tables for material properties and application methods.

Table detailing construction methods and materials. Includes sections for '金属成形板張り', 'モルタル塗り', 'ラス系下地', 'セルフベリング材塗り', '仕上塗料仕上げ', and '層状仕上塗材'. Contains tables for material properties and application methods.

Project information table with columns: 工事名称 (Project Name), 工事年度 (Project Year), 工事場所 (Project Location), 発注機関 (Ordering Agency), 公園名称 (Park Name), 検印 (Seal/Stamp), and 所在地 (Location).

A L Cパネルの場合の 下地処理	・軽量骨材仕上塗材	(15, 6, 4)	
	種類 (呼び名)	仕上げの形状・工法	防火材料
マステック塗料塗り	・取付用軽量塗材	砂壁状	・
	・こて塗用軽量塗材	平たん状	・
せっこうプラスチック 塗り	内壁目地の形状 ※V形目地付き	・	(15, 7, 2)
	種類	・A種	・B種
ロックウール吹付け	下塗り	・既調合プラスチック (下塗り用)	(15, 8, 3)
	上塗り	・現場調合プラスチック (下塗り用)	
しっくい塗り	・既調合プラスチック (上塗り用)	・しっくい塗り	(15, 10, 2, 3)
	しっくい	・現場調合材料 ※標準仕様書15.10.2(1) (7)による	
こまい壁塗り	・既調合材料	製造所 ( )	
	種類 ( )		
のり	下地	※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード	(15, 11, 2~5, 7, 8)
	調合及び塗厚	・木ずり下地の場合 ※標準仕様書15.10.1	・こまい土壁下地の場合 ※標準仕様書15.10.2
色土	・土壁用ののり	・ふのり ※つのみ	・ぎんなんそう
	・砂壁用ののり	※ふのり	・つのみ
色砂の種類	・天然砂と岩石の砕砂	・人工的に着色・製造したもの	
	調合	下塗りの調合	※標準仕様書15.11.2
塗厚	※標準仕様書15.11.3による	・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ( )	
	工程	※A種	・B種
16 建 具 工 事	・防火戸	・建具表による	(16, 1, 3)
	・見本の製作等	建具見本の製作	・行う (建具符号: )
・防犯建物部品	建具見本の程度	・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する	(16, 1, 4)
	特殊な建具の取組	・行う (建具符号: )	
・アルミニウム製建具	・適用する (・建具表による)	・適用しない	(16, 2, 2, 4, 5) (表14, 2, 1) (表16, 2, 1)
	性能等級	耐風圧性の等級 (S-4)	気密性の等級 (A-4)
表面処理	外部に面する建具	種類	・B0-1 B0-2 (※標準仕様書14.2.1)
	屋内の建具	種類	・B0-1 B0-2 (※標準仕様書14.2.1)
結露水の処理方法	水切り板、ぜん板	※図示	

・網戸等	種類	材質	仕様	網目	(16, 2, 3)
	・防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	
・樹脂製建具	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)	水密性の等級 (・)
	外部に面する建具	・A種 (建具符号: 建具表による)	・B種 (建具符号: 建具表による)	・C種 (建具符号: 建具表による)	・D種 (建具符号: 建具表による)
・鋼製建具	防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級 (・)	断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級 (・)	(16, 2, 2) (16, 4, 2) (表16, 4, 2)
	性能等級	簡易気密型ドアセット	・適用する (建具符号: 建具表による)	・適用しない	
・鋼製軽量建具	防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級 (・)	断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級 (・)	(16, 2, 2) (16, 4, 2) (表16, 4, 2)
	性能等級	簡易気密型ドアセット	・適用する (建具符号: 建具表による)	・適用しない	
・ステンレス製建具	防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級 (・)	断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級 (・)	(16, 2, 2) (16, 4, 2) (16, 6, 2~5)
	性能等級	簡易気密型ドアセット	・適用する (建具符号: 建具表による)	・適用しない	
・木製建具	防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級 (・)	断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級 (・)	(16, 7, 2~4)
	性能等級	簡易気密型ドアセット	・適用する (建具符号: 建具表による)	・適用しない	

・かまち戸	かまち戸	・かまち戸	・かまち戸	・かまち戸	(16, 8, 2, 3) (表 16, 8, 1)
	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)	水密性の等級 (・)
・鍵	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)	水密性の等級 (・)
	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)	水密性の等級 (・)
・自動ドア開閉装置	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)	水密性の等級 (・)
	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)	水密性の等級 (・)
・重量シャッター	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)	水密性の等級 (・)
	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)	水密性の等級 (・)

・軽量シャッター	開閉形式の種類	※手動式	・上部電動式 (手動併用)	(16, 12, 2~4)
	耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>	スラットの材質の種類	・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	
・オーバーヘッドドア	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)
	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)
・ガラス	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)
	性能等級	性能値等	耐風圧性の等級 (・)	気密性の等級 (・)
ガラスの留め材及び溝の大きさ	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
アルミニウム製	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
鋼製及び鋼製軽量	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
ステンレス製	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
樹脂製	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
	留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	
シャッターの種類	管理用シャッター	・外壁用防火シャッター	・屋内用防火シャッター	・屋内用防犯シャッター
	管理用シャッター	・外壁用防火シャッター	・屋内用防火シャッター	・屋内用防犯シャッター
シャッターの種類	管理用シャッター	・外壁用防火シャッター	・屋内用防火シャッター	・屋内用防犯シャッター
	管理用シャッター	・外壁用防火シャッター	・屋内用防火シャッター	・屋内用防犯シャッター
シャッターの種類	管理用シャッター	・外壁用防火シャッター	・屋内用防火シャッター	・屋内用防犯シャッター
	管理用シャッター	・外壁用防火シャッター	・屋内用防火シャッター	・屋内用防犯シャッター

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	特記仕様書4
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	-
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-005
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
設計者	名称	株式会社 大橋康孝	資格者氏名
登録番号	登録番号	登録番号	登録番号
所在地	所在地	所在地	所在地



<ul style="list-style-type: none"> <li>天然木化粧合板</li> <li>特殊加工化粧合板</li> <li>けい酸カルシウム板 (タイプ2)</li> <li>メラミン樹脂化粧板</li> <li>ポリエステル樹脂化粧板</li> </ul>	化粧板の樹種名 厚さ ※図示 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行方 ・行わない																																							
	化粧加工の方法 (・ホビー・フリン・塗装・ ) 表面性能 厚さ ※図示 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行方 ・行わない																																							
せっこうボード等の下地は図示による。  遮音シール材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)</li> <li>・適用しない</li> </ul>																																								
合板類の張付け ※B種 ・A種 せっこうボードの目地工法 ・仕上表による																																								
・壁紙張り	ホルムアルデヒド放出量 ※規制対象外 (19.8.2.3)																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="4">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>フック</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考	紙	繊維	フック	その他		・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・不燃・準不燃	
施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考																																		
	紙	繊維	フック	その他																																				
	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																			
	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																			
	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																			
	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																			
モルタル・プラスチック面の素地ごしらえ ※A種 ・A種 コンクリートの素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種																																								
・断熱材	フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放出量 (19.9.2.3)																																							
・断熱材打込み工法																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td> <td>①50</td> <td>①接地部分</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>②フェノールフォーム断熱材</td> <td>②30</td> <td>②屋根</td> </tr> </tbody> </table>		種類	厚さ(mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	①50	①接地部分	・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	②フェノールフォーム断熱材	②30	②屋根																								
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																						
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・																																						
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	①50	①接地部分																																						
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・																																						
②フェノールフォーム断熱材	②30	②屋根																																						
・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ ※A種IまたはA種IIH 吹き付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ・ 図示 ・現場発泡断熱材 (品質・性能・試験方法) 別表による																																								

・移動間仕切	(20.2.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th rowspan="2">操作方法</th> <th rowspan="2">圧縮装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th colspan="2">パネル表面仕上材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>パネル表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平行方向 移動式</td> <td>・手動式</td> <td>・プッシュ式</td> <td>・鋼板</td> <td>・焼付塗装</td> <td>・</td> <td>・36未満</td> </tr> <tr> <td>・二方向 移動式</td> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td>・</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・</td> <td>・36以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・部分電動式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による          遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする          ハンガーレールの取付け下地の構造</p> <p>・図示          ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>ランナー          ・          ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 別表による</p>	構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面仕上材		遮音性 (db/500Hz)	材質	パネル表面仕上げ	・平行方向 移動式	・手動式	・プッシュ式	・鋼板	・焼付塗装	・	・36未満	・二方向 移動式	・電動式	・ハンドル式	・	・壁紙張り	・	・36以上	・	・部分電動式	・	・	・	・	・
構造形式	操作方法					圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)		パネル表面仕上材		遮音性 (db/500Hz)																				
		材質	パネル表面仕上げ																												
・平行方向 移動式	・手動式	・プッシュ式	・鋼板	・焼付塗装	・	・36未満																									
・二方向 移動式	・電動式	・ハンドル式	・	・壁紙張り	・	・36以上																									
・	・部分電動式	・	・	・	・	・																									
・トイレブース	(20.2.5) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面材の種類</th> <th colspan="2">脚部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状形状</th> <th>材質</th> <th>形状形状</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>・標準</td> <td>・R</td> <td>・アルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ステンレス製</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・表面材と同材</td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能・試験方法) 別表による</p>	表面材の種類	脚部		ドアエッジ		形状形状	材質	形状形状	材質	・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準	・R	・アルミニウム製	・ポリエステル樹脂系化粧板	・	・	・	・ステンレス製					・表面材と同材						
表面材の種類	脚部		ドアエッジ																												
	形状形状	材質	形状形状	材質																											
・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準	・R	・アルミニウム製																											
・ポリエステル樹脂系化粧板	・	・	・	・ステンレス製																											
				・表面材と同材																											
・階段滑り止め	(20.2.6) 材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 滑り止め材 形状 ( ・ひも型 ・タイヤ型 ) 材質 ( ・ゴム又は合成樹脂 ) 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法 幅(mm) ・ 端部フラットエンド ( ・あり ・なし )																														
・手すり	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鋼製材</td> <td>・クリアラッカー</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製ハンドル</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	・鋼製材	・クリアラッカー	・35 ・45			・ビニル製ハンドル	・																		
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																											
・鋼製材	・クリアラッカー	・35 ・45																													
・ビニル製ハンドル	・																														
・黒板及びホワイトボード	(20.2.8) ・黒板 区分 ・ ※焼き付け 種類 ・ 鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ・ ※緑 ・ホワイトボード																														
・鏡	(20.2.9) 取付箇所 ( ) 寸法 (mm) ・ 図示 厚さ (mm) ※ 5																														
・表示	(20.2.10) ・衝突防止表示 形状・寸法 ( ・30φ ) 材質 ( ・ステンレス製 )																														
・煙突ライニング	(20.2.11) 案内用図記号はJIS 2 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ・適用する (※消防法に適合する市販品 ) 色、書体、印刷等の種類、取付け形式等は図示による。 その他の表示 ※図示																														
・ブラインド	(20.2.12) <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>スラット間隔(mm)</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※ 25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>76mmφ合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>スラットの材質          ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ          ・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工          ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図示する。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラット間隔(mm)	幅・高さ取付箇所	・横型	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※ 25	※鋼製	・図示	・縦型	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	76mmφ合金製	・図示									
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラット間隔(mm)	幅・高さ取付箇所																									
・横型	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※ 25	※鋼製	・図示																									
・縦型	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	76mmφ合金製	・図示																									
・ロールスクリーン	(20.2.13) 操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅・高さ ・図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 品質等 ・ その他の材料 ・ ※ロールスクリーンの製造所の仕様による																														
・カーテン	(20.2.14) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形式</th> <th rowspan="2">開閉操作</th> <th rowspan="2">ひだの種類</th> <th rowspan="2">きれの種類の品質、特殊加工等</th> <th rowspan="2">取付箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・フランクひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・ひも引き</td> <td>・箱ひだ、つまひだ</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・電動</td> <td>・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図示とする。          縦簾カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれの種類の品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル	・片引き	・手引き	・フランクひだ		・図示	・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ		・			・電動	・プレーンひだ、片ひだ								
形式	開閉操作							ひだの種類	きれの種類の品質、特殊加工等	取付箇所	備考																				
		・シングル	・片引き	・手引き	・フランクひだ		・図示																								
・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ		・																										
		・電動	・プレーンひだ、片ひだ																												

・カーテンレール	(20.2.14) 材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 ※10-90 強さによる区分 ※アルマイト 仕上げ ※角形 形状																												
・ブラインドボックス及びカーテンボックス	溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集成材 (仕上げ: ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 種類 (標準仕様書14.2.1) ・80-1 ・80-2 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( ) ・鋼製 (仕上げ: )																												
・天井点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能・試験方法) 別表による</p>	形状	材質	仕様	備考	・	・	・	・																				
形状	材質	仕様	備考																										
・	・	・	・																										
・床点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能・試験方法) 別表による</p>	形状	材質	仕様	備考	・	・	・	・																				
形状	材質	仕様	備考																										
・	・	・	・																										
・耐震スリット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直方向</td> <td>※ 完全 (全貫通型)</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水平方向</td> <td>・</td> <td>・非耐火型</td> <td>・無し</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目地          目地材          ・シーリング材(見え掛かりのみ)          ・シーリング材(見え掛かりのみ)          ・シーリング材(内外とも)          目地寸法 (mm)          ・幅20×深さ10 ・幅20×深さ10          ・</p> <p>目地材の材質は標準仕様書9.7.11による</p> <p>形式 ・差込式 ・器置式 ・壁張り式          施工箇所 ・ 図示</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直方向	※ 完全 (全貫通型)	・耐火型	・有り		・水平方向	・	・非耐火型	・無し														
方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																									
・垂直方向	※ 完全 (全貫通型)	・耐火型	・有り																										
・水平方向	・	・非耐火型	・無し																										
・止水板	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>クリアランス(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・50 ・100</td> <td>・有り ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・150</td> <td>・無し</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外観は防水型とする</p>	材質	クリアランス(mm)	耐火性能	備考	・アルミニウム製	・50 ・100	・有り ( )		・ステンレス製	・150	・無し																	
材質	クリアランス(mm)	耐火性能	備考																										
・アルミニウム製	・50 ・100	・有り ( )																											
・ステンレス製	・150	・無し																											
・くつまきマット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製</td> <td>・ステンレス鋼 (SUS304)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質アルミニウム合金製</td> <td>・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼 (SUS304) 製</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材質	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS304)		・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金		・ステンレス鋼 (SUS304) 製	・																	
材質	受け枠	備考																											
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS304)																												
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金																												
・ステンレス鋼 (SUS304) 製	・																												
・流し台ユニット	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th colspan="3">寸法(mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>WD</th> <th>H</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・流し台</td> <td>・1200 ・1500 ・1800</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・800 ・850</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・620 ・670</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・450</td> <td>・500 ・700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>市販品 ステンレス製 ・I段式</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能          (1) 外観は、JIS A 4420 (キッチン設備の構成材) の4.1による          (2) 構成材は、JIS A 4420により試験を行ったとき、表1の規定による。          形状 ※図示</p>	材質	寸法(mm)			備考	WD	H		・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品	・水切り	・1200 ・900 ・600	-	-	市販品 ステンレス製 ・I段式
材質	寸法(mm)			備考																									
	WD	H																											
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																									
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																									
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品																									
・水切り	・1200 ・900 ・600	-	-	市販品 ステンレス製 ・I段式																									
・旗竿	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・埋込式 ・ロープ式</td> <td>・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材質	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・埋込式 ・ロープ式	・ベース式 ・バンド式																	
材質	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																								
・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・埋込式 ・ロープ式	・ベース式 ・バンド式																									
・旗竿受金物	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材質	形式	高さ(mm)	備考	・	・	・	・																				
材質	形式	高さ(mm)	備考																										
・	・	・	・																										
・車止め支柱	<table border="1"> <thead> <tr> <th>型式</th> <th>高さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	型式	高さ	備考	・	・	・																						
型式	高さ	備考																											
・	・	・																											
・フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・ 図示																												
・プレキャストコンクリート	(20.3.3.4) コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m <sup>3</sup> を満足する同等強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示																												

・間知石及びコンクリート間知ブロック積み	(20.4.2.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>-</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み          目塗り ・ 図示          伸縮調整目地 材質 ・ 図示          厚さ ・ 図示</p> <p>・鋼製書架及び物品櫃</p> <p>・屋内掲示板</p> <p>・洗面カウンター</p> <p>・防煙垂れ壁</p> <p>・屋外掲示板</p> <p>・収納家具</p>	種類	種類	質量区分	備考		・花こう岩 ・凝灰岩	-		・コンクリート間知ブロック	-	・A ・B							
種類	種類	質量区分	備考																
	・花こう岩 ・凝灰岩	-																	
・コンクリート間知ブロック	-	・A ・B																	
・排水工率	(21.2.1.2) (表 21.2.1.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・適心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・</td> <td>・RF-YV ・RS-VU ・VP ・VU</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ・ 図示          硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・          側溝の形状及び寸法 ・ 図示          排水樹の種類 ・ 図示          砂地層に用いる材料          ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂          砂利地層に用いる材料          ・再生クラッシュラン          ・切込砂利又は切込砕石</p> <p>・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ・ ※18N/mm<sup>2</sup>          ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A          ・現場打ちの場合の足金物 ※標準仕様書21.2.2(イ)          材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの          凍上抑制層に用いる材料 ・          砂の粒度試験 ・行方          ・行わない</p> <p>(21.2.1)          名称 種類 適用荷重 継 備考          鋼製マンホールふた          ・水針形          ・簡易密閉形 (パッキン式)          ・密閉形 (テーパー・パッキン式)          ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)</p>	材質	種類	種類・記号	形状	呼び径	備考	・適心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・B形管	・	・	・	・硬質ポリ塩化ビニル管	・	・RF-YV ・RS-VU ・VP ・VU	・	・	・
材質	種類	種類・記号	形状	呼び径	備考														
・適心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・B形管	・	・	・														
・硬質ポリ塩化ビニル管	・	・RF-YV ・RS-VU ・VP ・VU	・	・	・														
・工事名称 工事場所 発注機関 公園名称 検印	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事 東京都新宿区内藤町11 環境省自然環境局新宿御苑管理事務所 新宿御苑 管理建築士 設計 製図 大橋 大橋 大橋 令和 4 年度 図面名称 特記仕様書0 図面番号 A-007 / 名称 株式会社 高橋建設設計事務所 資格者氏名 大橋康孝 登録番号 一級建築士登録第345672号 所在地 東京都新宿区西千代町29-00																		

・フリーアクセスフロア	(20.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重(N)</th> <th>表面仕上材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・直敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td>・</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000 ・5000</td> <td>・帯電防止床材 ・3/4インチ ・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>寸法精度          ・ ※標準仕様書20.2.2(2)(オ) (a)~(c)による          パネルの長さ          ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内          500mm以下の場合 ±0.5mm以内          パネルの平面形状 (角度)          ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内          500mm以下の場合 ±0.5mm以内          フリーアクセスフロアの高さ          ※ ±0.5mm以内          (性能・試験方法) 別表による</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考		・直敷式 ・支柱調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床材 ・3/4インチ ・																								
施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考																																	
	・直敷式 ・支柱調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床材 ・3/4インチ ・																																		
・可動間仕切	(20.2.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式による種類</th> <th colspan="2">構成材の種類</th> <th colspan="2">表面仕上材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>スタッド</th> <th>パネル</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スタッド式 (内蔵)</td> <td></td> <td></td> <td>・7/8樹脂焼付又は7/8樹脂焼付</td> <td>・0</td> <td></td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スタッド式 (露出)</td> <td></td> <td></td> <td>・壁紙張り</td> <td>・20</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・28</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・36</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示 ) ・なし          ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用建物に対応する材質とする。          表面仕上材を壁紙張りとする場合は品質、性能は標準仕様書19章による          パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※JIS A 6512により F☆☆☆☆以上</p>	構造形式による種類	構成材の種類		表面仕上材		遮音性 (db/500Hz)	防火性能	スタッド	パネル	パネル表面仕上げ		・スタッド式 (内蔵)			・7/8樹脂焼付又は7/8樹脂焼付	・0		・不燃	・スタッド式 (露出)			・壁紙張り	・20			・パネル式			・	・28			・スタッドパネル式			・	・36		
構造形式による種類	構成材の種類		表面仕上材		遮音性 (db/500Hz)	防火性能																																		
	スタッド	パネル	パネル表面仕上げ																																					
・スタッド式 (内蔵)			・7/8樹脂焼付又は7/8樹脂焼付	・0		・不燃																																		
・スタッド式 (露出)			・壁紙張り	・20																																				
・パネル式			・	・28																																				
・スタッドパネル式			・	・36																																				

・20ユニット及びその他の工事	(20.2.2) ・フリーアクセスフロア (20.2.2) ・可動間仕切 (20.2.3) ・移動間仕切 (20.2.4) ・カーテンレール (20.2.14) ・ブラインド (20.2.12) ・衝突ライニング (20.2.11) ・ロールスクリーン (20.2.13) ・カーテン (20.2.14)
-----------------	--

・旗竿	(20.2.14) ・旗竿 ・旗竿受金物 ・車止め支柱 ・フェンス ・プレキャストコンクリート
-----	--

・排水工率	(21.2.1.2) (表 21.2.1.2) ・排水工率 (21.2.1)
-------	--

21.2.1

材質	形式/適用荷重	用途	歩行用	目	歩幅めつき(付着量)	上面形状
鋼製	受枠付き、ボルト固定	溝ふた(横断用)	歩行用	目	( )	凹凸形
		溝ふた(側溝用)	T-2用 T-6用 T-14用 U字溝用	普通目 目	( )	平形
ステンレス製	受枠付き、ボルト固定	溝ふた(横断用)	歩行用			凹凸形
		溝ふた(側溝用)	T-2用 T-6用 T-14用 U字溝用			平形

(品質・性能・荷重試験方法) 別表による

街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)

種類	形状、寸法
緑石	図示
L形側溝	図示
U形側溝	図示
U形側溝ふた	図示

地盤の材料

- シルト
- 山砂
- 川砂
- 砕砂

砂利地盤に用いる材料

- 再生クラッシュラン
- 切込砂利
- 切込砕石

砂利地盤の厚さ ※100 (mm) 図示

現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup>

凍上抑制剤に用いる材料

- 砂の粒度試験
- 行う
- 行わない

※ B種 (21.2.1)

22 舗装工事

22.2.2、3、5 (表22.2.1)

路床の材料

種類	材料	厚さ(mm)
塚土	A種・B種・C種・D種 建設汚泥から再生した処理土	図示
凍上抑制層	再生クラッシュラン クラッシュラン	切込み砂利
フィルター層	砂	図示

路床安定処理

安定処理の方法

- 置き換え工法
- 安定処理工法

路床安定化処理用添加材料

種類

- 普通ポルトランドセメント
- 高炉セメントB種
- フライアッシュセメントB種
- 生石灰 ( )
- 消石灰 ( )

添加量

- kg/m<sup>3</sup> (目標CR) 3以上

ジオテキスタイル

単位面積質量

- 60g/m<sup>2</sup> 以上

厚さ(mm)

- 0.5~1.0

引張強さ

- 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

- 1.5×10<sup>-1</sup> cm/sec以上

試験

- 砂の粒度試験
- 行う
- 行わない
- 路床土の支持力比(CBR)試験
- 行う
- 行わない
- 路床締固め度の試験
- 行う
- 行わない
- 現場CR試験
- 行う
- 行わない

路床の厚さ 図示

路盤材料

種類	材料
砕石	クラッシュラン 粒度調整砕石
再生材	クラッシュラン 粒度調整砕石
	クラッシュラン鉄鋼スラグ
	粒度調整鉄鋼スラグ
	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

路盤締固め度の試験 ※行う

※行わない

アスファルト舗装 (22.4.2~6) (表 22.4.4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示

材料及び種類

アスファルト

- 再生アスファルト (60~80 80~100)
- ストレートアスファルト

骨材

- 道路用砕石
- アスファルトコンクリート再生骨材

加熱アスファルト混合物の種類

- 密粒度アスファルト混合物(13)
- 細粒度アスファルト混合物(13)
- 密粒度アスファルト混合物(13F)

シーラーの孔剤の種類

- PK-1
- PK-2

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

- 行う
- 行わない

舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

22.5.2~4、6 (表22.5、J3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	構成
コンクリート舗装	車路及び駐車場 歩行者用通路

寒冷地の縁部立下り寸法等 図示

材料

- コンクリートの種類
- 設計基準強度
- 所定のスランブ ※8
- 粗骨材の最大寸法

※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による

早強ポルトランドセメント 使用する

注入目地材料 ※低弾性タイプ

目地

種類

- 間隔
- m程度ごと
- 構造
- 図示

※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

- 行う
- 行わない

舗装の平坦性

- ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

カラー舗装 (22.6.2~4)

加熱系カラー舗装

構成・厚さ 図示

加熱系混合物の結合材

- アスファルト混合物
- 石油樹脂系混合物 顔料の添加量 ( %)

着色骨材 ( )

自然石 ( )

常温系カラー舗装

工法

- 二重工法
- 塗布工法

着色部の下部

- アスファルト舗装
- コンクリート舗装

透水性 アスファルト舗装 (22.7.2、3、6)

適用範囲：歩道

構成・図示

材料

骨材

- 道路用砕石
- アスファルトコンクリート再生骨材 (表22.4.1)

(種類 60~80 80~100)

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

- 行う
- 行わない

砂の粒度試験

- 行う
- 行わない

舗装の平坦性

- ※著しい不陸がないもの

コンクリート平形舗装 (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板(N)	300角	※60	※砂
※透水性平板(P)			※砕石
※保水性平板(M)			※洗出し

クッション材 ※砂

※空練りモルタル

普通平板は (再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板は (透水性コンクリート) とする。

仕上り面の平坦性

- ※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする。

インターロッキングブロック舗装

種類	部位形状	寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	備考
※普通ブロック(N)	車路	図示	※80	※5.0	表面加工
※透水性ブロック(P)					
※保水性ブロック(M)					
※普通ブロック(N)	歩行者用	図示	※60	※3.0	
※透水性ブロック(P)	通路				
※保水性ブロック(M)					

クッション材 ※砂

※空練りモルタル

歩行者用通路に使用する普通ブロックは (再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは (透水性コンクリート) とする。

仕上り面の平坦性

- ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。

舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)
花崗岩	図示		うろこ張り	コンクリート平板	※70
				アスファルト混合物	※50

クッション材 ※砂

※空練りモルタル

歩行者用通路に使用する普通ブロックは (再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは (透水性コンクリート) とする。

仕上り面の平坦性

- ※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする。

ジオテキスタイル

単位面積質量

- 60g/m<sup>2</sup> 以上

厚さ(mm)

- 0.5~1.0

引張強さ

- 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

- 1.5×10<sup>-1</sup> cm/sec以上

種類 (22.9.2)

- A種 (施工範囲) 図示
- B種 (施工範囲) 図示

路面標示用塗料はJIS K 5665Iによる

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	融解	粉体状	白	150	1.0
※1種	常温	液状		100	
※2種	加熱				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23

植栽及び屋上緑化工事

植栽地の確認等 (23.1.3)

植栽基礎の整備 (23.2.2、4)

樹木の植栽基礎の整備

適用する

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
樹木	※A種 B種 C種 D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	変張り部分 植栽部分	適用する 適用しない
※芝、地被類	※B種	※20	植栽部分	適用する 適用しない

植栽基礎の排水設備

- 設ける (※図示)
- 設けない

植込み用土 (23.2.3)

現場発生土の良質土

- 寄土

土壌改良材 (23.2.3)

土壌改良材の適用

- 適用する
- 適用しない

種別及び指定数量等

パーク埋肥

施工箇所

- ※植栽範囲

図示

使用量

- 植栽基礎面積1m<sup>2</sup>あたり (50L)

汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)

施工箇所

- ※植栽範囲

図示

使用量

- 植栽基礎面積1m<sup>2</sup>あたり (10L)

材料

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする

樹木 (23.3.2)

樹種、寸法、株立数等

- ※図示

支柱 (23.3.2、3)

支柱材

- 丸太(間伐材)
- 真竹

防蟻処理方法

- ※加圧式防蟻処理丸太材

形式

- 図示

幹巻き用テープ (23.3.2)

材料

- ※幹巻き用テープ
- わら及びこも

芝 (23.4.2、3)

種類

- ※コウライシバ
- ノシバ

芝張りの工法

平地

- ※目地張り
- べた張り

法面

- ※目地張り
- ※べた張り

種子の種類

種子の種類	発芽率	種子の量(g/m <sup>2</sup> )	備考
※洋芝類(採取後2年以内)	※発芽率80%以上		

樹種

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数

新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処置 (23.3.4、6) (23.4.7)

新植樹木(芝張り、収付けは種及び地被類を含む)の枯損保証の期間

- ※引渡しの日から1年
- 無し

移植樹木の枯損処置を行う期間

- ※引渡しの日から1年
- 無し

屋上緑化 (23.5.2~4)

植栽基礎及び材料

屋上緑化システム

土壌層の厚さ

- 図示

排水層

- 軽量骨材(層の厚さ)
- 板状成型品

植込み用土

- 改良土
- 人工経土

樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等

- ※図示

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

- ※図示

(品質・性能・試験方法) 別表による

屋上緑化軽量システム

樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等

- ※図示

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

- ※図示

(品質・性能・試験方法) 別表による

工法

舗装基準法に基づき定まる風圧力の(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

支柱

- 設置する(形式)
- 図示

かん水装置

- 設置する(種類)

工事名称	令和4年度新宿御苑パークキングススペース新築工事	工事年度	令和4年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	特記仕様書7
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	-
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-008 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	資格者氏名	大橋康孝	
	登録番号	第一級建築士登録第345672号	
所在地	東京都新宿区西千代田町29-20		

内部仕上特記事項

床仕上げ				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
F-1	コンクリート表面強化剤 ※シールハード[ウイルビー]同等品	RC	コンクリート金ゴテ押え 押出法ポリスチレンフォーム保温材 3種b t=100	
F-2	長尺ビニール床シート t=2 ※エスリュームプレーン[サンゲン]同等品	M	モルタル 下地(不陸調整)	

壁仕上				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
W-1	塗装 (EPG)	PL1	PB t=12.5 LGS65	
		PL2	PB t=12.5 LGS65 グラスウール 24K t=50 詰込	
		PL3	PB t=9.5+12.5 LGS65 構造用合板 t=12	
		PL4	PB t=12.5 LGS65 現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付 t=40	
W-2	浸透性木材保護塗料 ※オスモカラーウッドワックス同等品	W1	木小割材30×12 + 構造用合板 t=12 グラスウール 24K t=50 詰込	
		W2	木突板シート ※北ミ[サンフット]同等品 + 曲げ合板 t=12 グラスウール 24K t=50 詰込	
		W3	木小割材30×12 + 構造用合板 t=12 グラスウール 24K t=25 詰込	
		W4	構造用合板 t=12 グラスウール 24K t=50 詰込	

天井仕上				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
C-1	浸透性木材保護塗料 ※オスモカラーウッドワックス同等品	W	スギ羽目板 t=12 w=60(上小節 本実加工) 下地合板 t=9 木下地h=30 フェノールフォーム保温版1種2号 t=30	
C-2	塗装 (EPG)	PL1	PB t=9.5 LGS	
		PL2	PB t=9.5 LGS グラスウール 24K t=50 敷込	
C-3	アルミエキスバンド アルマイト SW22LW50.8W3	LG1	LGS 25型Wバー(黒) ZAM押え金物	

柱仕上				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
TC1	アルミニウムペイント		75角 無垢 鉄骨柱	※外部はフッ素樹脂塗装

梁仕上				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
	浸透性木材保護塗料 ※オスモカラーウッドワックス同等品		集成材 105×270	

巾木				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
E-1	面幅木スプルス t=15 h=60 塗装 (OP)			
E-2	ビニル巾木 h=60			
E-3	入幅木 Al L=15×15			

内部仕上表

室名	床			壁			巾木	天井				備考
	部分	仕上記号	下地記号	部分	仕上記号	下地記号		記号	部分	仕上記号	下地記号	
半屋外スペース	全面	EF-1	RC	全面	W-1	PL4	—	全面	C-1	W	—	
ラウンジスペース	全面	F-1	RC	外壁側	W-1	PL4	E-3	全面	C-1	W	—	
				テーブルスペース側	W-2	W2						
				デスクスペース側	W-3	W3						
				その他	W-1	PL1						
デスクスペース	全面	F-1	RC	外壁側	W-1	PL4	E-3	全面	C-3	LG1	—	
				個室仕切り	W-2	W4						
				ラウンジ側	W-2	W4						
				その他	W-1	PL1						
デスクスペースL	全面	F-1	RC	外壁側	W-1	PL4	E-3	全面	C-3	LG1	—	
				ラウンジ側	W-2	W2						
				個室仕切り	W-2	W4						
				その他	W-1	PL1						
テーブルスペース1	全面	F-1	RC	外壁側	W-1	PL4	E-3	全面	C-3	LG1	—	
				ラウンジスペース側	W-2	W2						
				その他	W-1	PL2						
テーブルスペース2	全面	F-1	RC	北側	W-1	PL4	E-3	全面	C-1	W	—	
				その他	W-1	PL2						
フロンブース	全面	F-1	RC	外壁側	W-1	PL4	E-1	全面	C-2	PL2	—	
				その他	W-1	PL2						
コピースペース シュレッダー置き場	全面	F-1	RC	ラウンジスペース側	W-1	PL1	E-1	全面	C-2	PL1	—	
				その他	W-1	PL2						
WC(多目的)	全面	F-2	M	外壁側	W-1	PL4	E-2	全面	C-2	PL2	—	南側北側 スタッド千鳥配置
				その他	W-1	PL2						
WC(男)	全面	F-2	M	外壁側	W-1	PL4	E-2	全面	C-2	PL2	—	南側 スタッド千鳥配置
				その他	W-1	PL2						
WC(女)	全面	F-2	M	外壁側	W-1	PL4	E-2	全面	C-2	PL2	—	北側 スタッド千鳥配置
				その他	W-1	PL2						
手洗い場	全面	F-1	RC	外壁側	W-1	PL2	E-2	全面	C-2	PL2	—	
				その他	W-1	PL2						
事務バックヤード	全面	F-1	RC	外壁側	W-1	PL4	E-1	全面	C-2	PL1	—	
				WC側	W-1	PL2						
				その他	W-1	PL1						
				その他	W-1	PL1						
物置	全面	F-1	RC	外壁側	W-1	PL4	E-1	全面	C-1	W	—	
				その他	W-1	PL1						
展示スペース	全面	F-1	RC	全面	W-1	PL3	E-3	全面	C-1	W	—	

内装材料 (不燃・準不燃) 認定番号	
不燃材料	認定番号
・石膏ボード t=12.5	NM-8619
・石膏ボード t=9.5(不燃)	NM-0441
・強化石膏ボード t=21	NM-8615
・けい酸カルシウム板	NM-8576
・繊維混入けい酸カルシウム板	NM-8578
・EP(基本同等)	NM-8585
・不燃吹付断熱材	
準不燃材料	
・石膏ボード t=9.5	QM-9828

※ PB:石膏ボード EP:合成樹脂エマルジョンペイント  
EPG:つや有合成樹脂エマルジョンペイント  
※ 居室仕上材及び天井内を含む下地材は、F☆☆☆☆以上とすること。

外部仕上特記事項

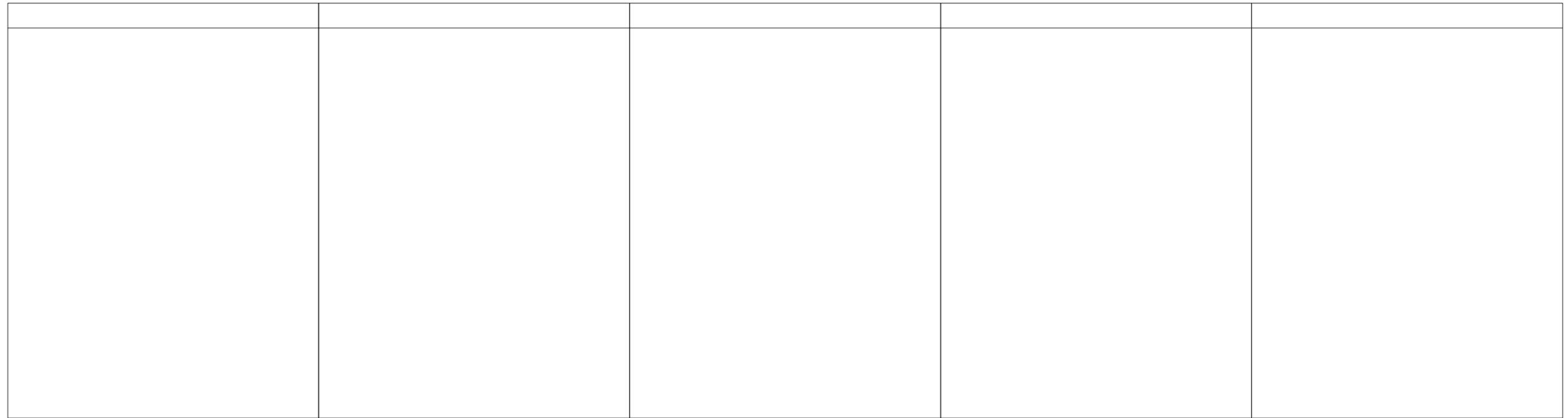
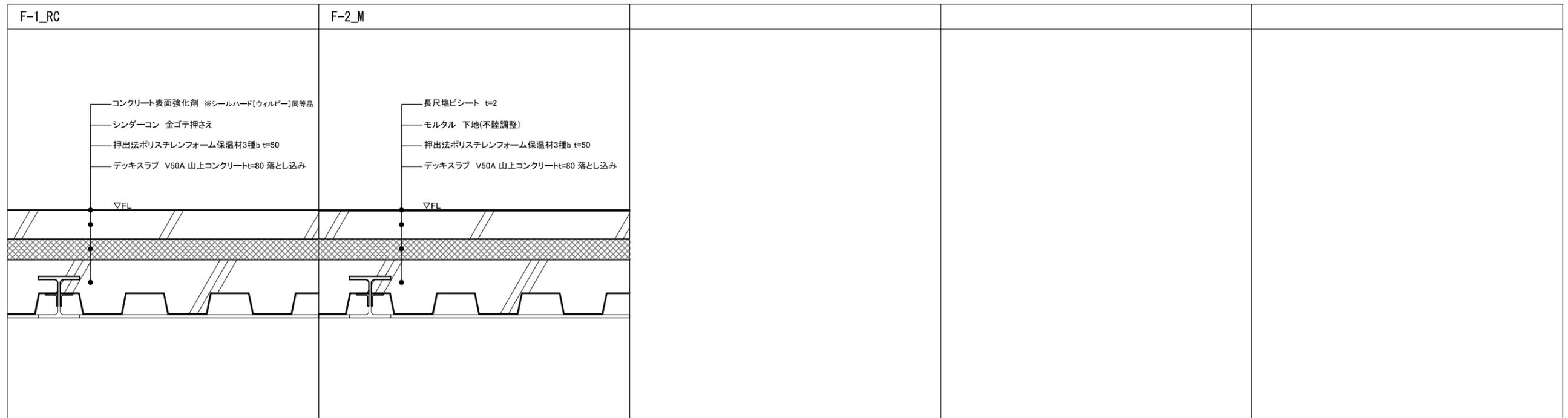
床仕上げ				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
EF-1	コンク水性二液ウレタン樹脂塗料 (クリア) ※フロアトップアクアフォルティス コーティング防汚工法(アトミクス)同等品	RC	コンクリート小叩き仕上げ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 3種b t=50	
EF-2	デッキ材:マクセラム-PL t=21[越井木材] ハット型鋼 90×40 鋼製束	RC	土間コンクリート t=100	

壁仕上				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
EW-1	浸透性保護塗料 ※ホルトガード同等品		押出成形セメント板 t=18.5 ※ラムダ同等品 現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付 t=40	工場塗装品 防火構造認定番号: PC030BE-9201(木造) PC030BE-9202(鉄骨造)
EW-2	浸透性木材保護塗料 ※キシラデコール同等品		スギ木板張りt12(上小節 本実加工) 木間縁:16 透湿防水シート ダイライトMS9	防火構造認定番号: PC030BE-3789
EW-3	水性シリコンカラークリヤー塗装 ※ホルトガードPG-Eシステム (セントラルコンクリート同等品)		コンクリート素地 表面調整含む 現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付 t=40	

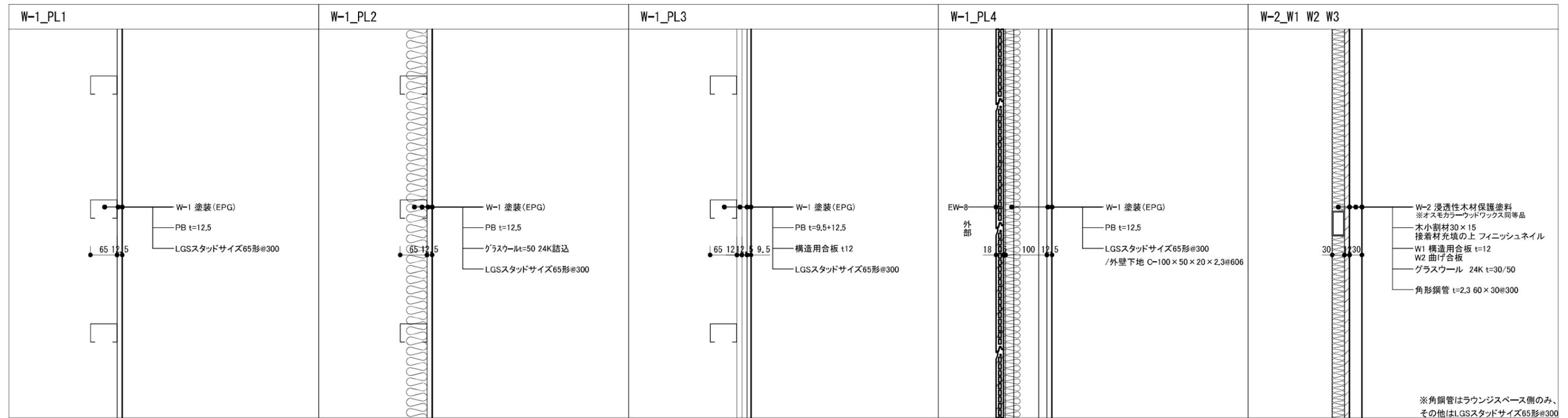
天井仕上				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
EC-1	浸透性木材保護塗料 ※オスモカラーウッドワックス同等品		スギ羽目板 t=12 w=60(上小節 本実加工) 下地合板 t=9	

屋根仕上				
仕上記号	仕上げ	下地記号	下地	備考
R-1	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 粘接着工法 ななめ一文字葺き パーフェクトルーフ(タイムワカ)同等品		アスファルトルーフィング 構造用合板t12	不燃認定番号: NM-8697

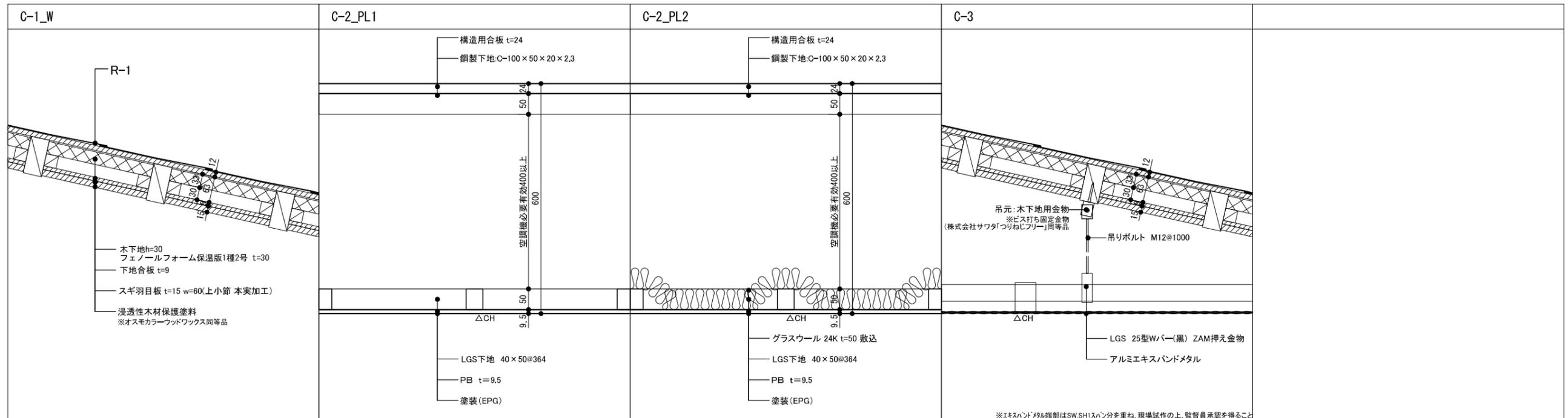
工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	仕上特記・仕上げ表
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	—
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-009 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	名称	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	所在地	〒160-8585 東京都新宿区西千代1-29-30



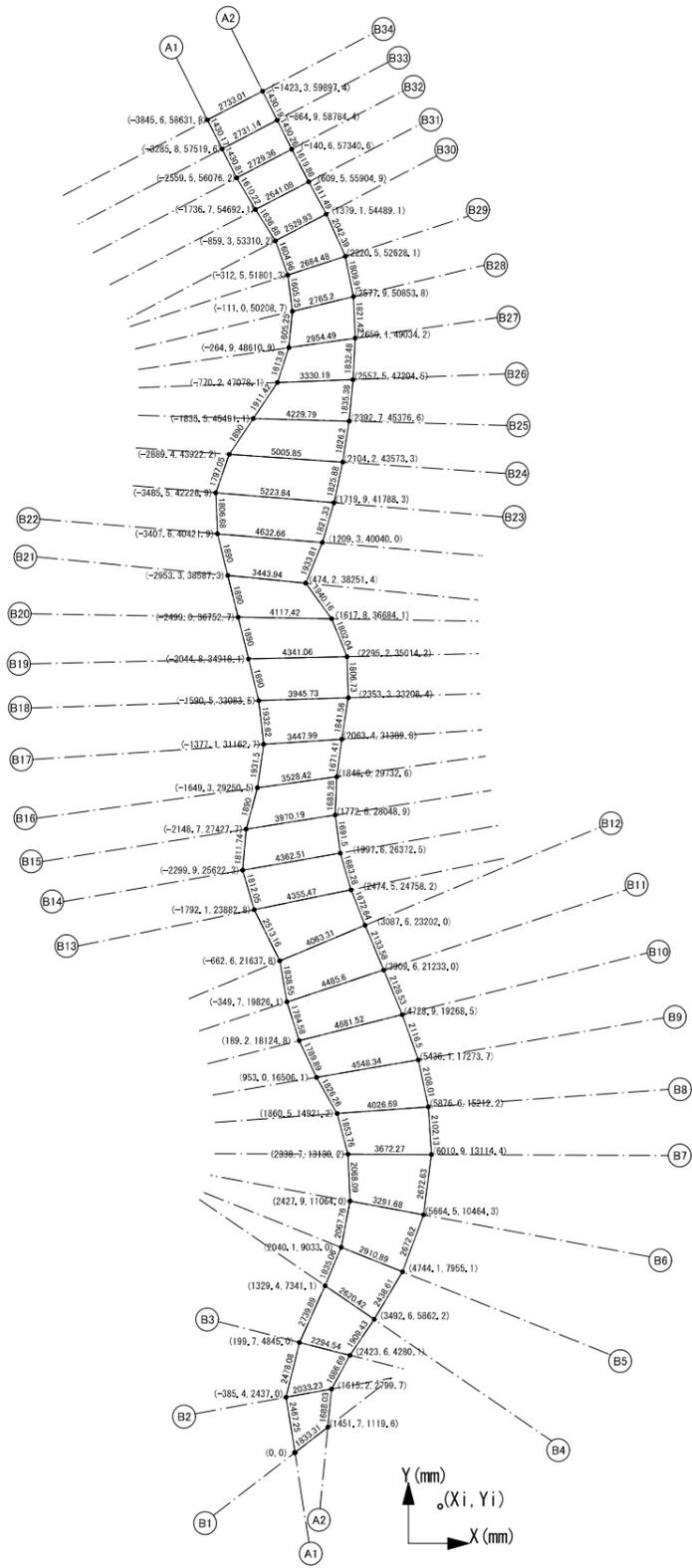
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	床標準詳細図	
発注機関	緑地省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:10 (A3)	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-010 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	大橋	大橋	大橋	
	名称	株式会社 奥野及村建築設計事務所	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	一級建築士登録第243672号	所在地	静岡県静岡市東区 西千代町23-30



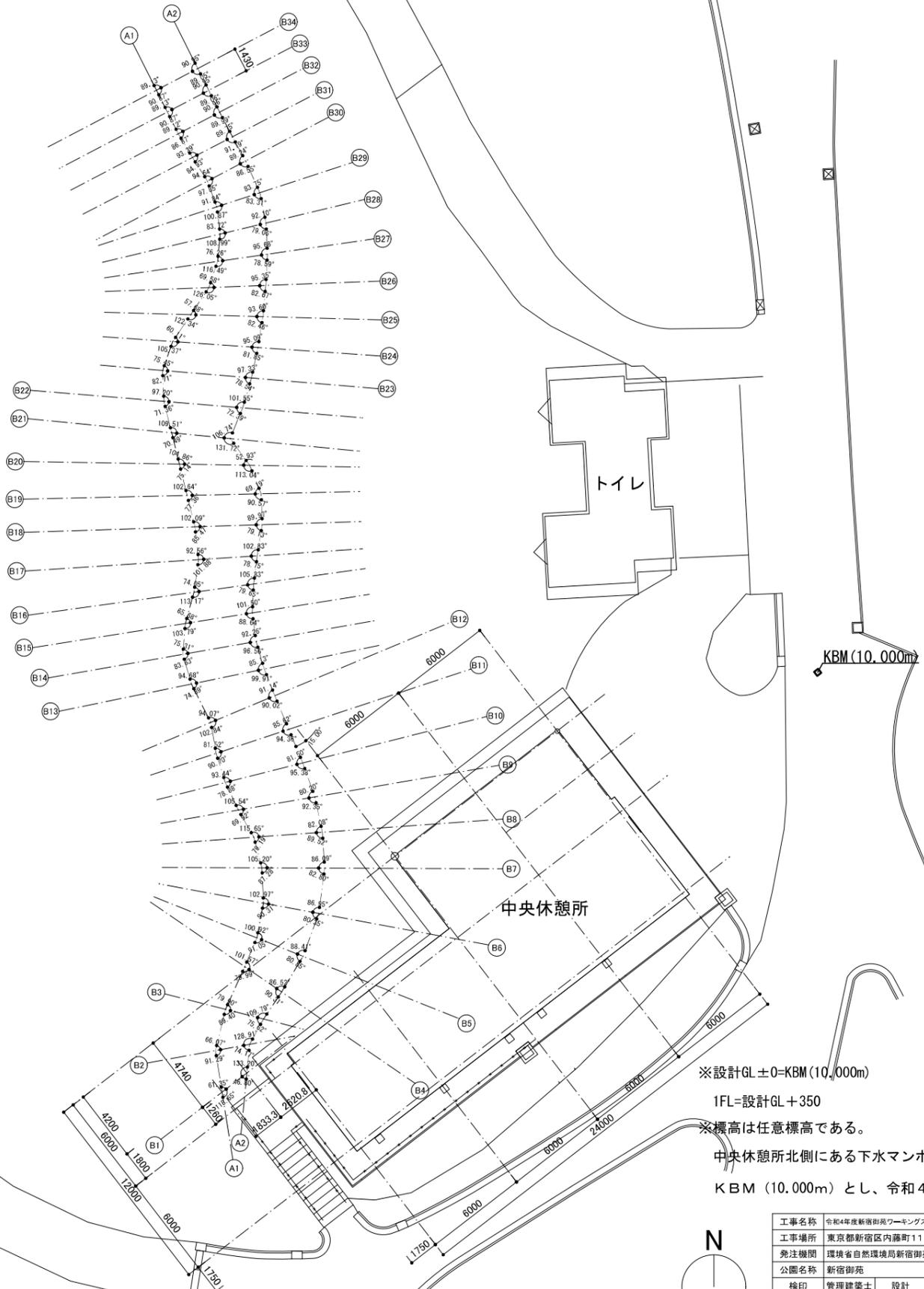
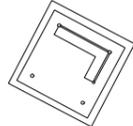

工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	壁構準詳細図	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:10 (A3)	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-011 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	大橋	大橋	大橋	
	名称	株式会社 環境設計事務所	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	一級建築士登録第343672号	所在地	東京都新宿区 西千代1-2-20



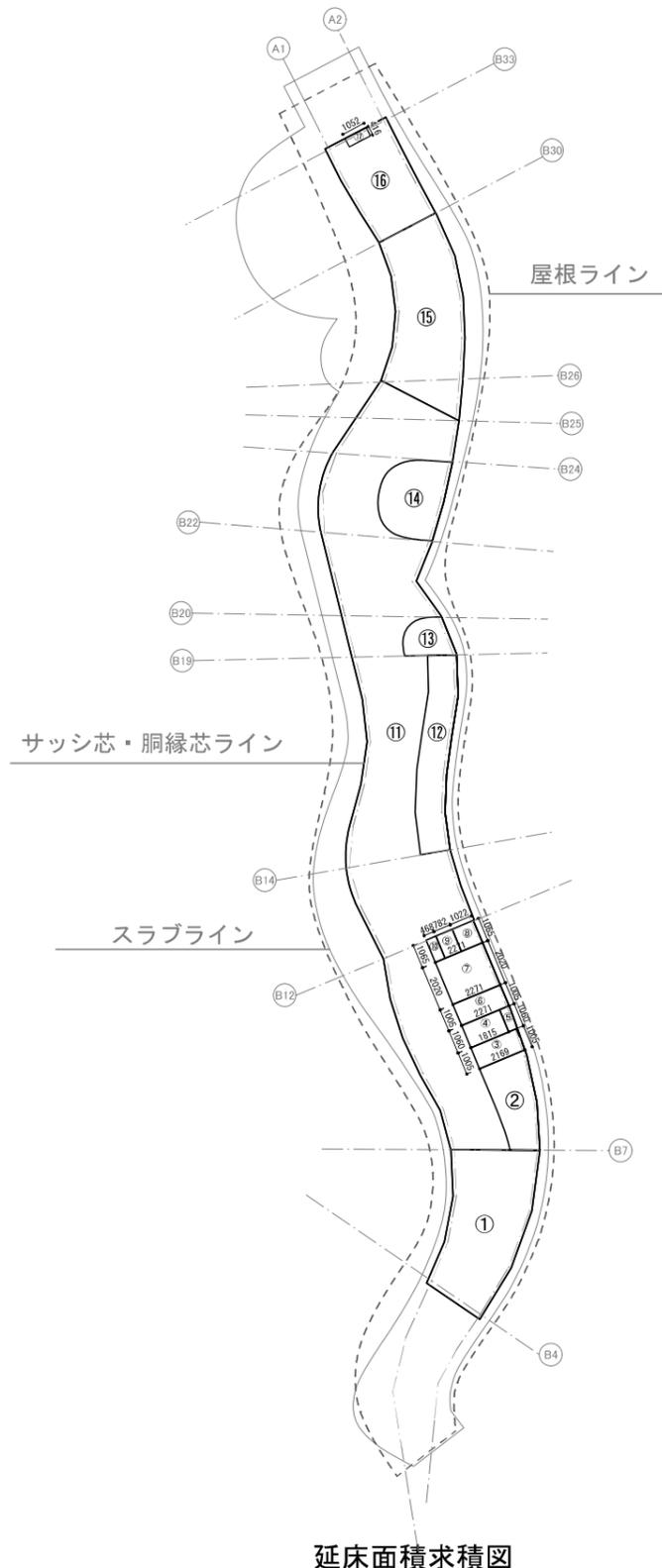
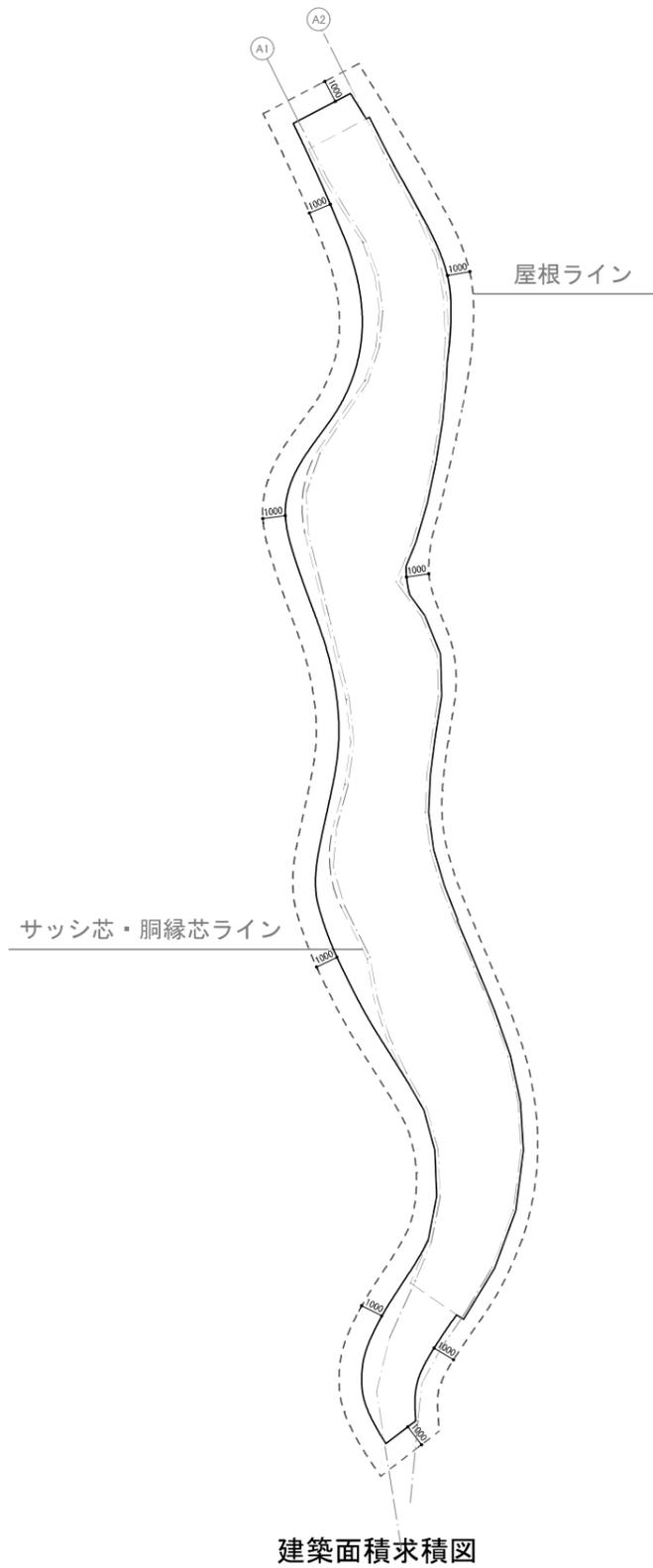
工事名称	令和4年度新橋御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	天井標準詳細図	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:10 (A3)	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-012 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	大橋	大橋	大橋	
	名称	株式会社 奥島及川建築設計事務所	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	一級建築士登録第243672号	所在地	静岡県静岡市東区 西千代町23-30



四阿



工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	建物位置図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:300(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-013 /
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 株式会社 大橋康孝 資格者氏名 大橋康孝 登録番号 一級建築士登録第143672号 所在地 静岡県静岡市東区 西千代町29-30



室名	符号	算定式	面積
展示スペース	①	CADデータより測定	= 23.673
事務バックヤード	②	CADデータより測定	= 7.351
WC(男)	③	$1.005 \times 2.169 + 1.005 \times 0.055 / 2$ = 2.2074825	= 2.207
手洗い場	④	$1.060 \times 1.815 = 1.9239$	= 1.924
PS	⑤	CADデータより測定	= 0.464
WC(女)	⑥	$1.005 \times 2.271 = 2.282355$	= 2.282
多目的トイレ	⑦	$2.020 \times 2.271 = 4.58742$	= 4.587
フォンブース	⑧	$1.065 \times 1.022 = 1.08843$	= 1.088
コピースペース	⑨	$1.065 \times 0.782 = 0.83283$	= 0.833
シュレッダー置き場	⑩	$1.065 \times 0.468 = 0.49842$	= 0.498
ラウンジスペース	⑪	CADデータより測定	= 107.998
デスクスペース	⑫	CADデータより測定	= 11.554
デスクスペースL	⑬	CADデータより測定	= 3.179
テーブルスペース1	⑭	CADデータより測定	= 9.010
半屋外スペース	⑮	CADデータより測定	= 24.526
テーブルスペース2	⑯	CADデータより測定	= 13.73
室外機置き場	⑰	$0.416 \times 1.052 = 0.437632$	= 0.438
延床面積		①～⑰合計	= 215.34

	算定式	面積
建築面積	CADデータより測定	= 260.03

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	面積表示積図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:300(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-014 /
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 株式会社 高橋洋行建築設計事務所 資格者氏名 大橋康孝 登録番号 一級建築士登録第343672号 所在地 東京都新宿区 西千代御苑29-30
	大橋 大橋 大橋		

採光・換気・排煙チェック

居室 面積(m <sup>2</sup> )	採光・換 気用居室 面積(m <sup>2</sup> )	必要採光 面積(m <sup>2</sup> )	有効採光面積 (m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> )				採光関係比率 (D/H) *6-1.4	換気(m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> )			排煙用 対象面積 (m <sup>2</sup> )	排煙(m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> ) (天井から 800mm有効)												
				計	開口	数量	有効(採光)			W*H	(D/H)	D/H			最大値:3	1/20	計	有効(換気)	W*H	小計	計	有効(排煙)	W*H	小計			
展示スペース	23.67	23.67	1.183 <OK	6.63	6.63	開口	数量	有効(採光)	W*H	(D/H)	D/H	最大値:3	1/20	計	有効(換気)	W*H	小計	排煙用対象面積(m <sup>2</sup> )	排煙(m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> ) (天井から800mm有効)	W*H	小計					
						CW FIX W2026*H2180	1	W1.7xH1.3	2.21	19.159/1.051	18.2293	3.000						23.67									
ラウンジスペース	129.322	129.32	6.466 <OK	13.26	6.63	開口	数量	有効(採光)	W*H	(D/H)	D/H	最大値:3	1/20	計	有効(換気)	W*H	小計	排煙用対象面積(m <sup>2</sup> )	排煙(m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> ) (天井から800mm有効)	W*H	小計					
						CW FIX W1890*H2075	1	W1.7xH1.3	2.21	14.835/0.818	18.1357	3.000					129.32										
						CW FIX W1890*H2075	1	W1.7xH1.3	2.21	13.169/0.837	15.7336	3.000															
						排煙窓 W1355*H490	10												6.466 <OK	7.178	W1.21xH0.315 × 10	0.38115	3.8115		2.59 <OK	3.812	W1.21xH0.315 × 10
デスクスペースL	3.17	3.17	0.158 <OK	3.15	3.15	開口	数量	有効(採光)	W*H	(D/H)	D/H	最大値:3	1/20	計	有効(換気)	W*H	小計	排煙用対象面積(m <sup>2</sup> )	排煙(m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> ) (天井から800mm有効)	W*H	小計					
						FIX W930*H1785	1	W0.7xH1.5	1.05	16.971/1.887	8.9936	3.000						3.17									
テーブルスペース1	9.01	9.01	0.45 <OK	3.876	3.876	開口	数量	有効(採光)	W*H	(D/H)	D/H	最大値:3	1/20	計	有効(換気)	W*H	小計	排煙用対象面積(m <sup>2</sup> )	排煙(m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> ) (天井から800mm有効)	W*H	小計					
						片開き戸 W830*H1800	1	W0.76xH1.7	1.292	17.160/1.862	9.2159	3.000	0.45 <OK	機械換気設備(令20条2第1項口)	9.01	0.18 <OK	0.23	W1.52 × H0.15	0.23								
半屋外スペース	24.52	24.52	1.226 <OK	3.15	3.15	開口	数量	有効(採光)	W*H	(D/H)	D/H	最大値:3	1/20	計	有効(換気)	W*H	小計	排煙用対象面積(m <sup>2</sup> )	排煙(m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> ) (天井から800mm有効)	W*H	小計					
						片引き半自動ドア W1995*H2070	1	W0.7xH1.5	1.05	15.969/2.168	7.3658	3.000	1.226 <OK	1.52625	W0.825xH1.85	1.52625		24.52									
						折れ戸 W1564*H2224	1													0.49 <OK	0.7	W1.0 × H0.35	0.35				
テーブルスペース2	13.73	13.73	0.686 <OK	5.88	5.88	開口	数量	有効(採光)	W*H	(D/H)	D/H	最大値:3	1/20	計	有効(換気)	W*H	小計	排煙用対象面積(m <sup>2</sup> )	排煙(m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> ) (天井から800mm有効)	W*H	小計					
						CW FIX W1619.5*H2175	1	W1.4xH1.4	1.96	15.304/1.056	14.4924	3.000						13.73	0.27 <OK								
						片開き戸 W862*H2175	1							0.686 <OK	1.5264	W0.72xH2.120	1.5264			0.27	W0.72 × H(0.308+0.452)	0.27					

※排煙については、平成12年5月31日建設者告示第1436号第三号により、面積を算出の上、適合性を確認

※排煙については、平成12年5月31日建設者告示第1436号第三号により、面積を算出の上、適合性を確認

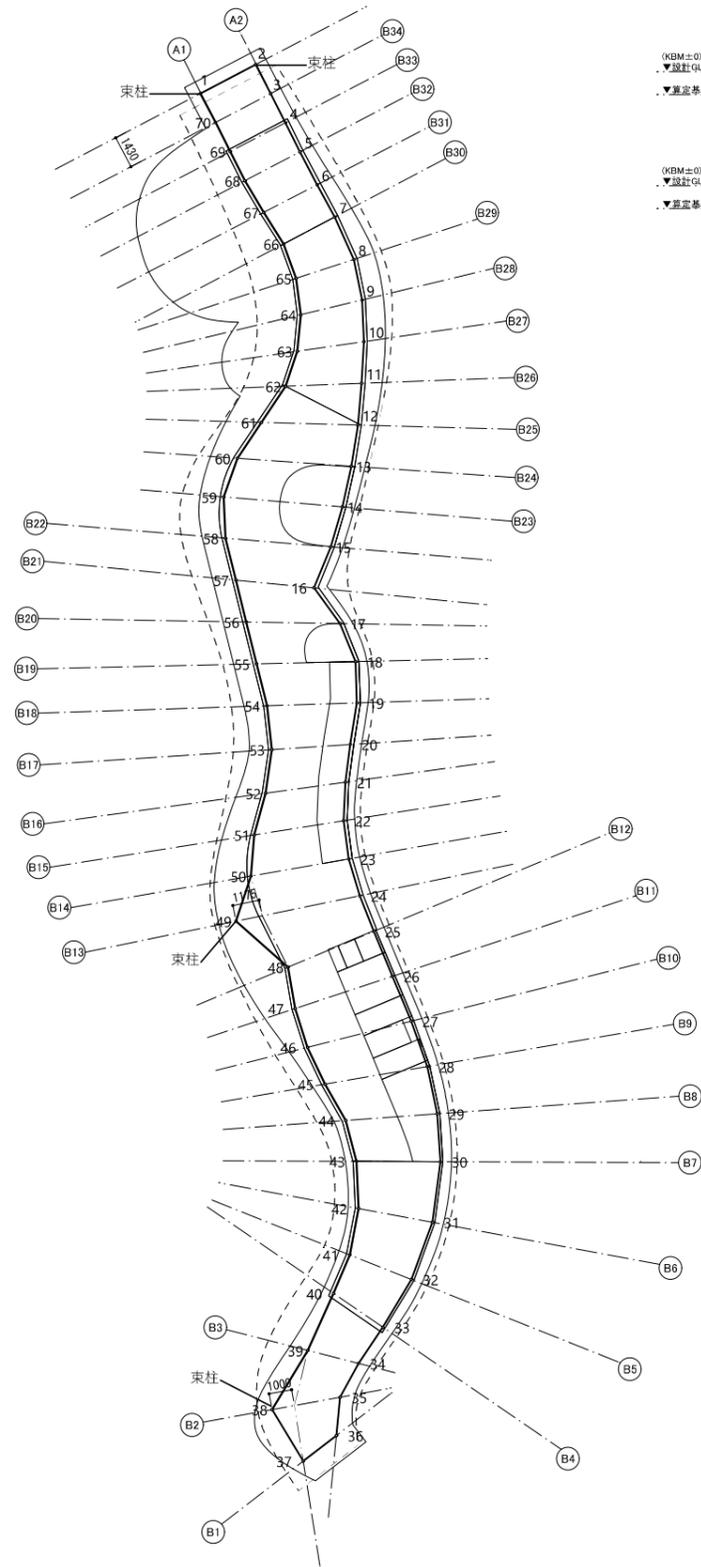
※開口面積変更の可能性があるため、採光の適合性判定における有効面積は実有効面積より小さな面積にて算出の上、適合性を確認

消防法上の無窓判定

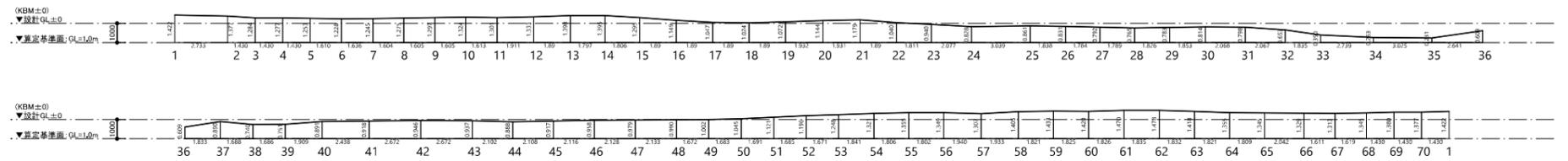
延べ床面積 (m <sup>2</sup> )	基準開口 面積(m <sup>2</sup> )	判定	有効開口部面積 (m <sup>2</sup> )	開口面積(m <sup>2</sup> )			
				開口部	数量	WH	小計
215.34	7.178	普通階 <OK	8.2379	開口部	数量	WH	小計
				片引き自動扉(南) W2369*H2145	1	W0.95xH1.915	1.81925
				片引き半自動ドア W1995*H2070	1	W0.825xH1.85	1.52625
				片開き戸(北) W862*H2175	1	W0.72xH2.120	1.5264
				片開き戸 W830*H1800	3	W0.66xH1.7	3.366

※本建築物は、建築基準法施行令第126条の2の適用を受けない

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	採光換気計算表
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	-
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-015 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	設計者	名称	株式会社 高橋及務建築設計事務所
	資格者氏名	大橋康孝	登録番号
	所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町28-30	



地盤面算定位置平面図



ポイント	周長		地盤高さ		周長間平均 地盤高さ(口)	(イ) x (ロ)
	長さ	小計(イ)	高さ(1)	高さ(2)		
1 ~ 2	2.733	2.733	1.422	1.377	1.399	3.823467
2 ~ 3	1.430	1.430	1.377	1.284	1.330	1.901900
3 ~ 4	1.430	1.430	1.284	1.277	1.280	1.830400
4 ~ 5	1.430	1.430	1.277	1.253	1.265	1.808950
5 ~ 6	1.610	1.610	1.253	1.228	1.240	1.996400
6 ~ 7	1.636	1.636	1.228	1.245	1.236	2.022096
7 ~ 8	1.604	1.604	1.245	1.275	1.260	2.021040
8 ~ 9	1.605	1.605	1.275	1.297	1.286	2.064030
9 ~ 10	1.605	1.605	1.297	1.324	1.310	2.102550
10 ~ 11	1.613	1.613	1.324	1.301	1.312	2.116256
11 ~ 12	1.911	1.911	1.301	1.333	1.317	2.516787
12 ~ 13	1.890	1.890	1.333	1.398	1.365	2.579850
13 ~ 14	1.797	1.797	1.398	1.395	1.396	2.508612
14 ~ 15	1.806	1.806	1.395	1.295	1.345	2.429070
15 ~ 16	1.890	1.890	1.295	1.149	1.222	2.309580
16 ~ 17	1.890	1.890	1.149	1.047	1.098	2.075220
17 ~ 18	1.890	1.890	1.047	1.024	1.035	1.956150
18 ~ 19	1.890	1.890	1.024	1.072	1.048	1.980720
19 ~ 20	1.932	1.932	1.072	1.144	1.108	2.140656
20 ~ 21	1.931	1.931	1.144	1.179	1.161	2.241891
21 ~ 22	1.890	1.890	1.179	1.040	1.109	2.096010
22 ~ 23	1.811	1.811	1.040	0.940	0.990	1.792890
23 ~ 24	2.077	2.077	0.940	0.828	0.884	1.836068
24 ~ 25	3.039	3.039	0.828	0.861	0.844	2.564916
25 ~ 26	1.838	1.838	0.861	0.831	0.846	1.554948
26 ~ 27	1.784	1.784	0.831	0.792	0.811	1.446824
27 ~ 28	1.789	1.789	0.792	0.765	0.778	1.391842
28 ~ 29	1.826	1.826	0.765	0.783	0.774	1.413324
29 ~ 30	1.853	1.853	0.783	0.814	0.798	1.478694
30 ~ 31	2.068	2.068	0.814	0.798	0.806	1.666808
31 ~ 32	2.067	2.067	0.798	0.653	0.725	1.498575
32 ~ 33	1.835	1.835	0.653	0.390	0.521	0.956035
33 ~ 34	2.739	2.739	0.390	0.263	0.326	0.892914
34 ~ 35	3.025	3.025	0.263	0.231	0.247	0.747175
35 ~ 36	2.641	2.641	0.231	0.609	0.420	1.109220
36 ~ 37	1.833	1.833	0.609	0.890	0.749	1.372917

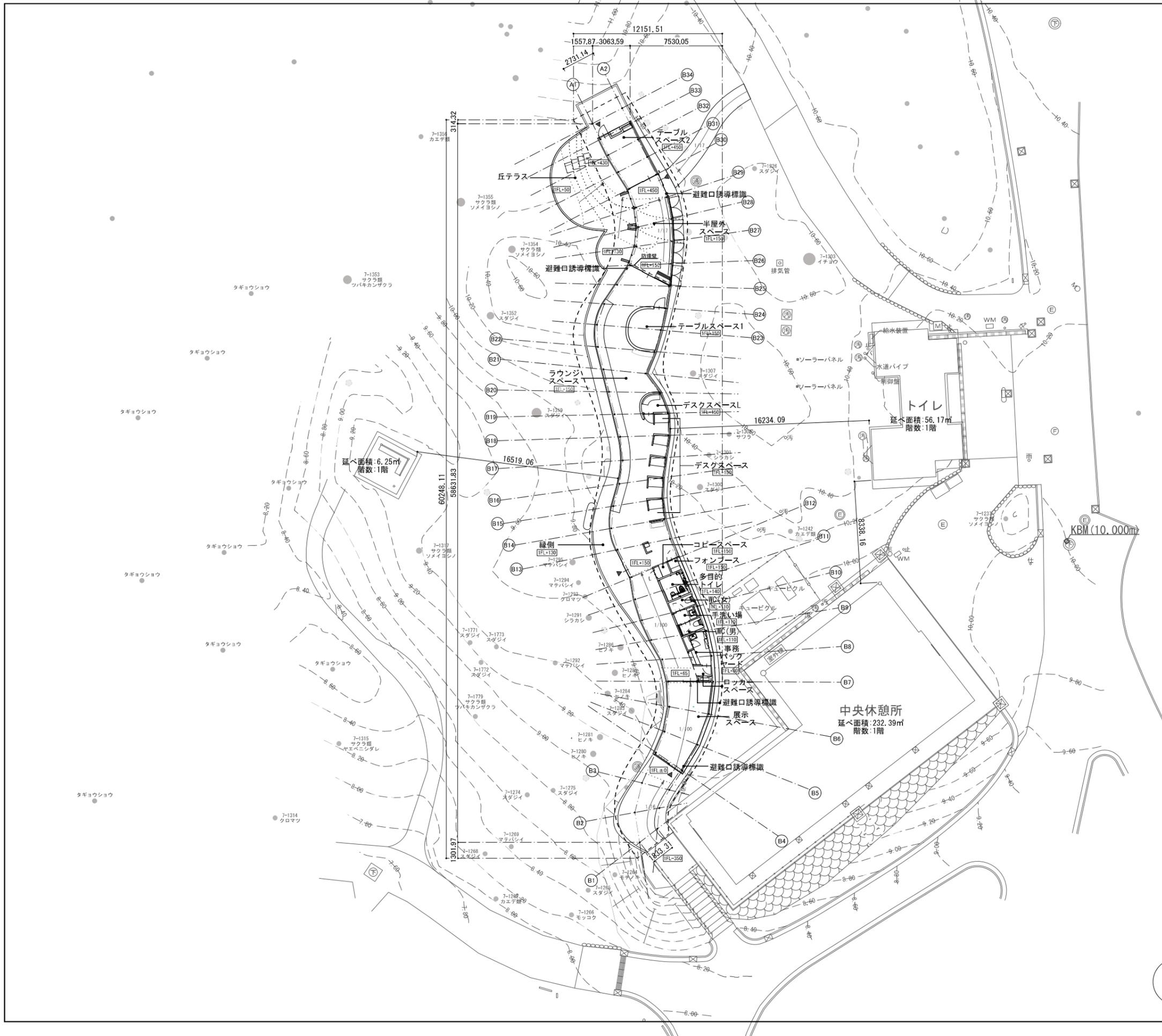
37 ~ 38	1.688	1.688	0.890	0.740	0.815	1.375720
38 ~ 39	1.686	1.686	0.740	0.751	0.745	1.256070
39 ~ 40	1.909	1.909	0.751	0.891	0.821	1.567289
40 ~ 41	2.438	2.438	0.891	0.918	0.904	2.203952
41 ~ 42	2.672	2.672	0.918	0.946	0.932	2.490304
42 ~ 43	2.672	2.672	0.946	0.937	0.941	2.514352
43 ~ 44	2.102	2.102	0.937	0.888	0.912	1.917024
44 ~ 45	2.108	2.108	0.888	0.917	0.902	1.901416
45 ~ 46	2.116	2.116	0.917	0.958	0.937	1.982692
46 ~ 47	2.128	2.128	0.958	0.979	0.968	2.059904
47 ~ 48	2.133	2.133	0.979	0.990	0.984	2.098872
48 ~ 49	1.672	1.672	0.990	1.002	0.996	1.665312
49 ~ 50	1.683	1.683	1.002	1.045	1.023	1.721709
50 ~ 51	1.691	1.691	1.045	1.121	1.083	1.831353
51 ~ 52	1.685	1.685	1.121	1.196	1.158	1.951230
52 ~ 53	1.671	1.671	1.196	1.248	1.222	2.041962
53 ~ 54	1.841	1.841	1.248	1.321	1.284	2.363844
54 ~ 55	1.806	1.806	1.321	1.355	1.338	2.416428
55 ~ 56	1.802	1.802	1.355	1.349	1.352	2.436304
56 ~ 57	1.940	1.940	1.349	1.307	1.328	2.576320
57 ~ 58	1.933	1.933	1.307	1.405	1.356	2.621148
58 ~ 59	1.821	1.821	1.405	1.433	1.419	2.583999
59 ~ 60	1.825	1.825	1.433	1.420	1.426	2.602450
60 ~ 61	1.826	1.826	1.420	1.470	1.445	2.638570
61 ~ 62	1.835	1.835	1.470	1.478	1.474	2.704790
62 ~ 63	1.832	1.832	1.478	1.418	1.448	2.652736
63 ~ 64	1.821	1.821	1.418	1.355	1.386	2.523906
64 ~ 65	1.809	1.809	1.355	1.345	1.350	2.442150
65 ~ 66	2.042	2.042	1.345	1.329	1.337	2.730154
66 ~ 67	1.611	1.611	1.329	1.313	1.321	2.128131
67 ~ 68	1.619	1.619	1.313	1.345	1.329	2.151651
68 ~ 69	1.430	1.430	1.345	1.380	1.362	1.947660
69 ~ 70	1.430	1.430	1.380	1.377	1.378	1.970540
70 ~ 1	1.430	1.430	1.377	1.422	1.399	2.000570
建物計		133.345				142.315297

算定基準面= 設計GL-1.0m			
根拠式	平均GL	設計GL±	
142.315297 / 133.345	= 1.0672	1.067	0.067

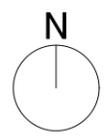
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	平均地盤面算定図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:300(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-016 /
検印	管理建築士 設計	製図	設計者
	大橋 大橋 大橋	名称	株式会社 大橋康孝
		資格者氏名	大橋康孝
		登録番号	一級建築士登録第143672号
		所在地	東京都新宿区西千代田町29-30



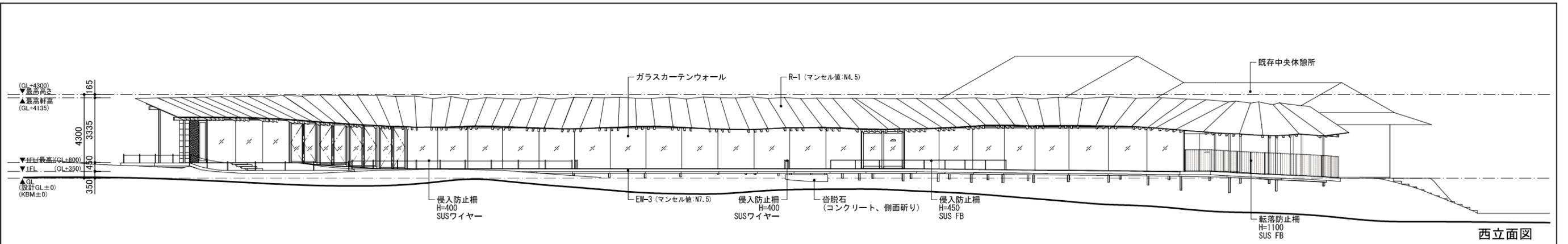
工事名称	令和4年度新宿御苑フーニングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	配置図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:600(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-017 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	設計者	名称	株式会社 森建築設計事務所
	大橋	資格者氏名	大橋康孝
		登録番号	一般建築士登録第242872号
		所在地	東京都新宿区西園寺2-20-20



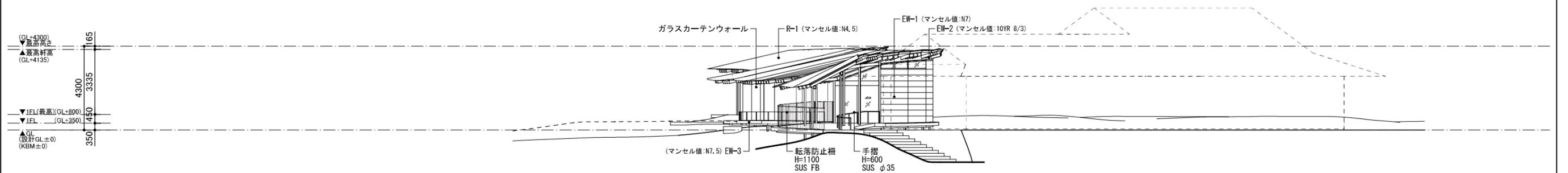
※中央休憩所：延べ面積 232.39㎡  
 本建築物：延べ面積 215.34㎡  
 $232.39 + 215.34 = 447.73\text{㎡} < 500\text{㎡}$   
 ※設計GL±0=KBM(10.000m)  
 1FL=設計GL+350  
 ※標高は任意標高である。  
 中央休憩所北側にある下水マンホール縁を  
 KBM(10.000m)とし、令和4年3月22日に観測した。



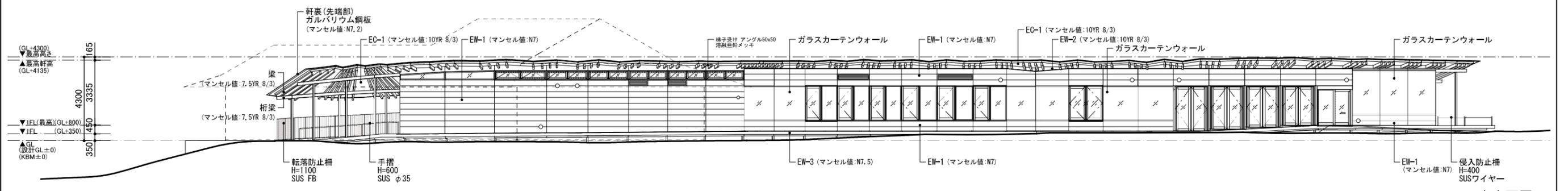
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	平面図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:300(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-018 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	名称	株式会社 大橋建設設計事務所	設計者
	資格者氏名	大橋康孝	登録番号
			所在地
			静岡県静岡市東区 西千代町2-30



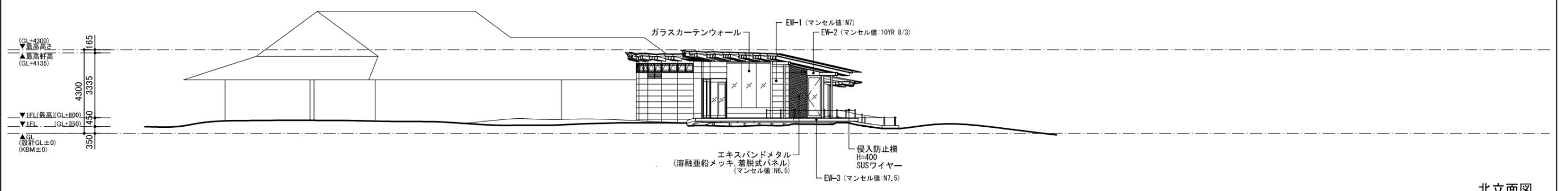
西立面図



南立面図

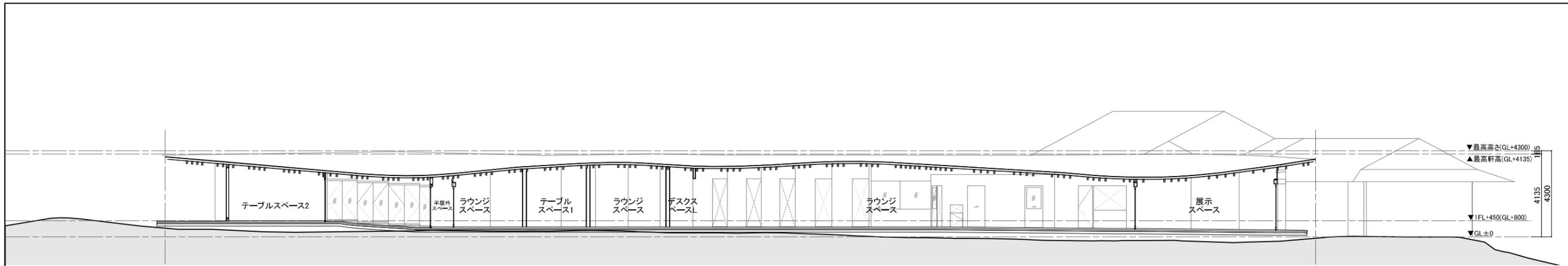


東立面図

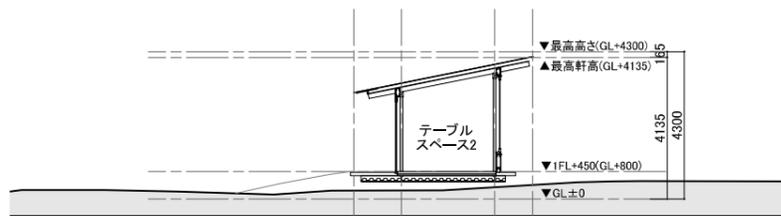


北立面図

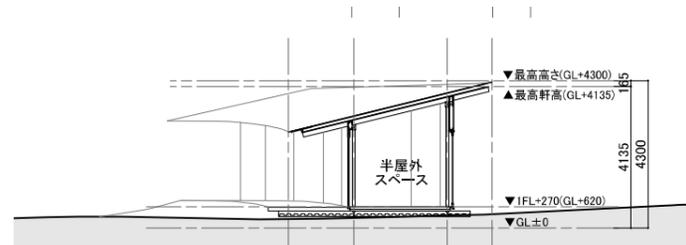
工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	立面名称	立面図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:200(A3)
公園名称	新宿御苑	立面番号	A-019 /
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 株式会社 大橋建築設計事務所 資格者氏名 大橋康孝 登録番号 一級建築士登録第143672号 所在地 群馬県群馬市東区 西千代町29-30



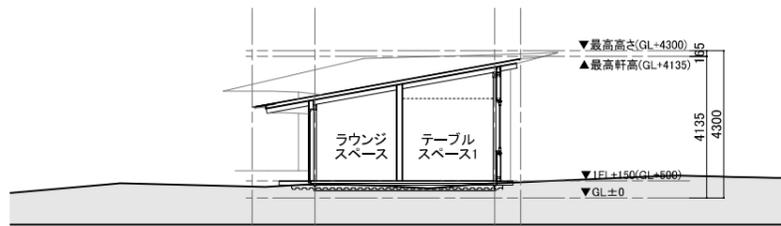
AA 断面図



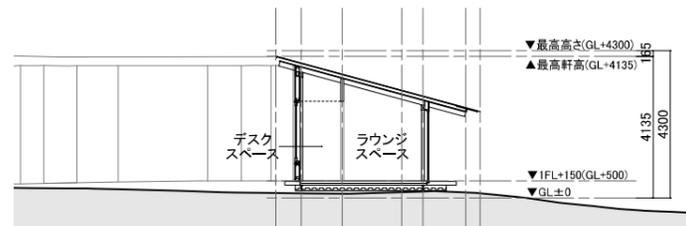
BB 断面図



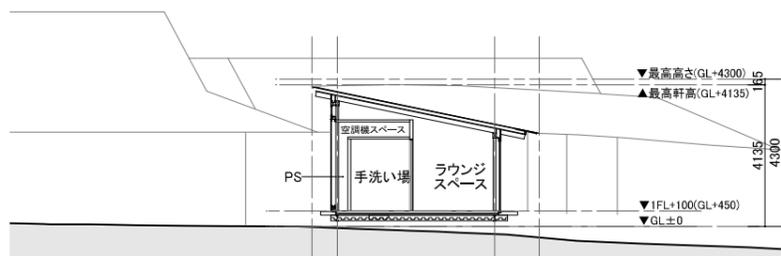
CC 断面図



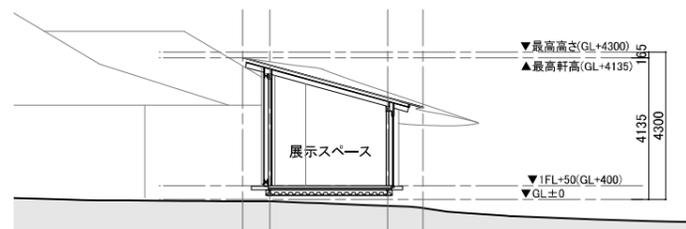
DD 断面図



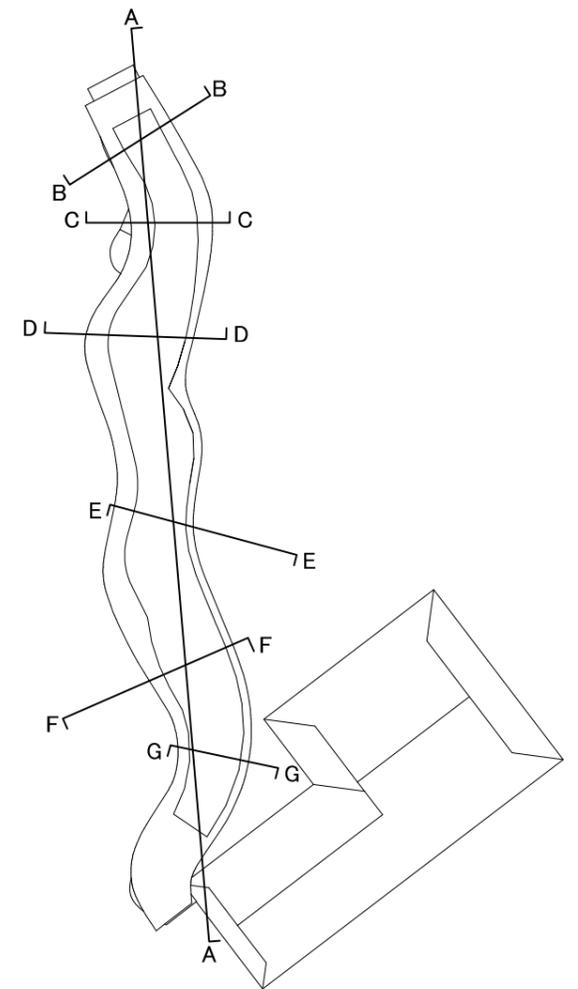
EE 断面図



FF 断面図

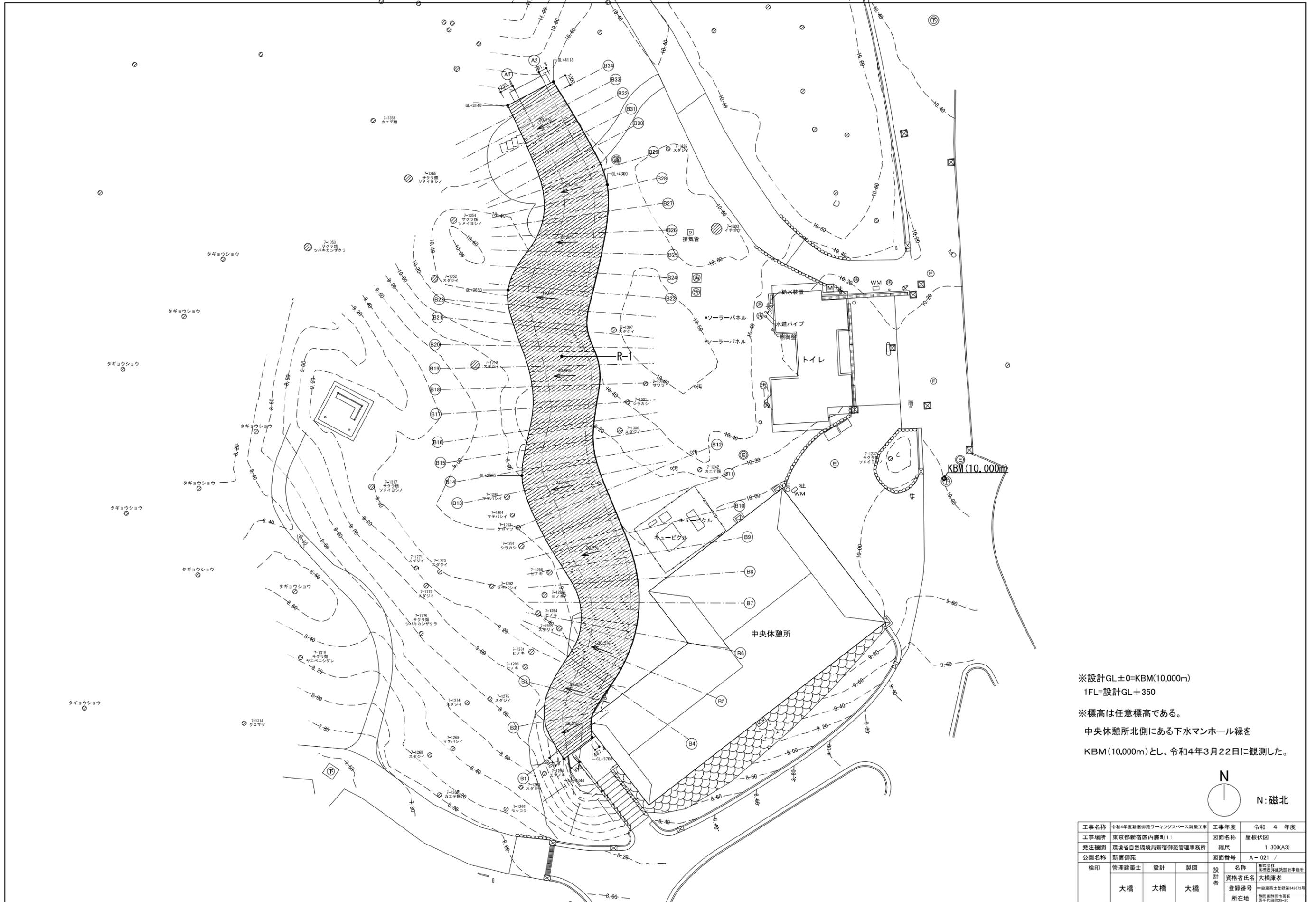


GG 断面図



キープラン

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事		工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1		図面名称	断面図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所		縮尺	1:200 (A3)
公園名称	新宿御苑		図面番号	A-020 /
検印	管理建築士	設計	製図	設計者 名称 資格者氏名 登録番号 所在地
	大橋	大橋	大橋	
			株式会社 高橋建設建築設計事務所 大橋康孝 一級建築士登録第343472号 静岡県静岡市東区 若千代田町29-30	



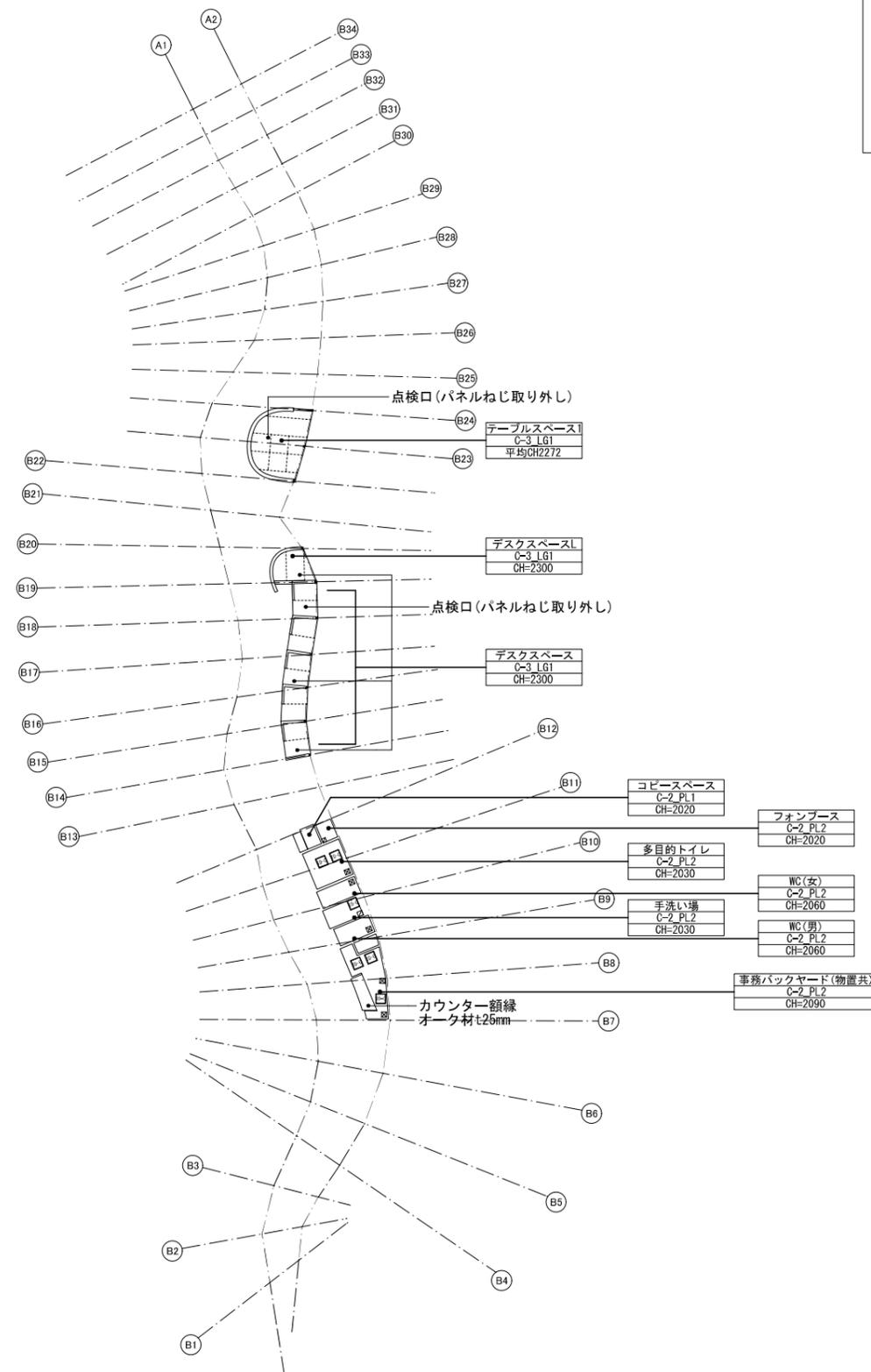
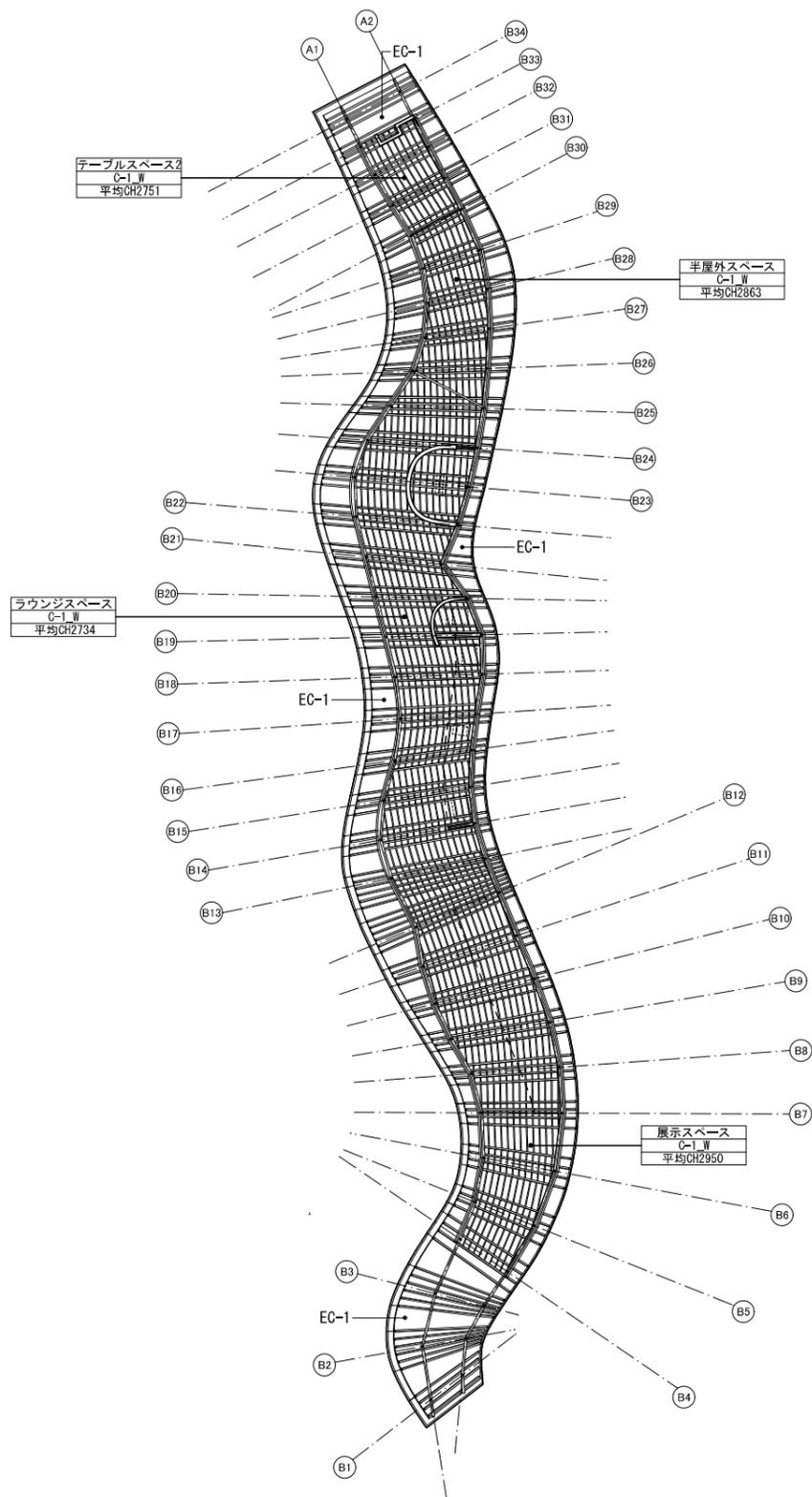
※設計GL±0=KBM(10.000m)  
 1FL=設計GL+350  
 ※標高は任意標高である。  
 中央休憩所北側にある下水マンホール縁を  
 KBM(10.000m)とし、令和4年3月22日に観測した。



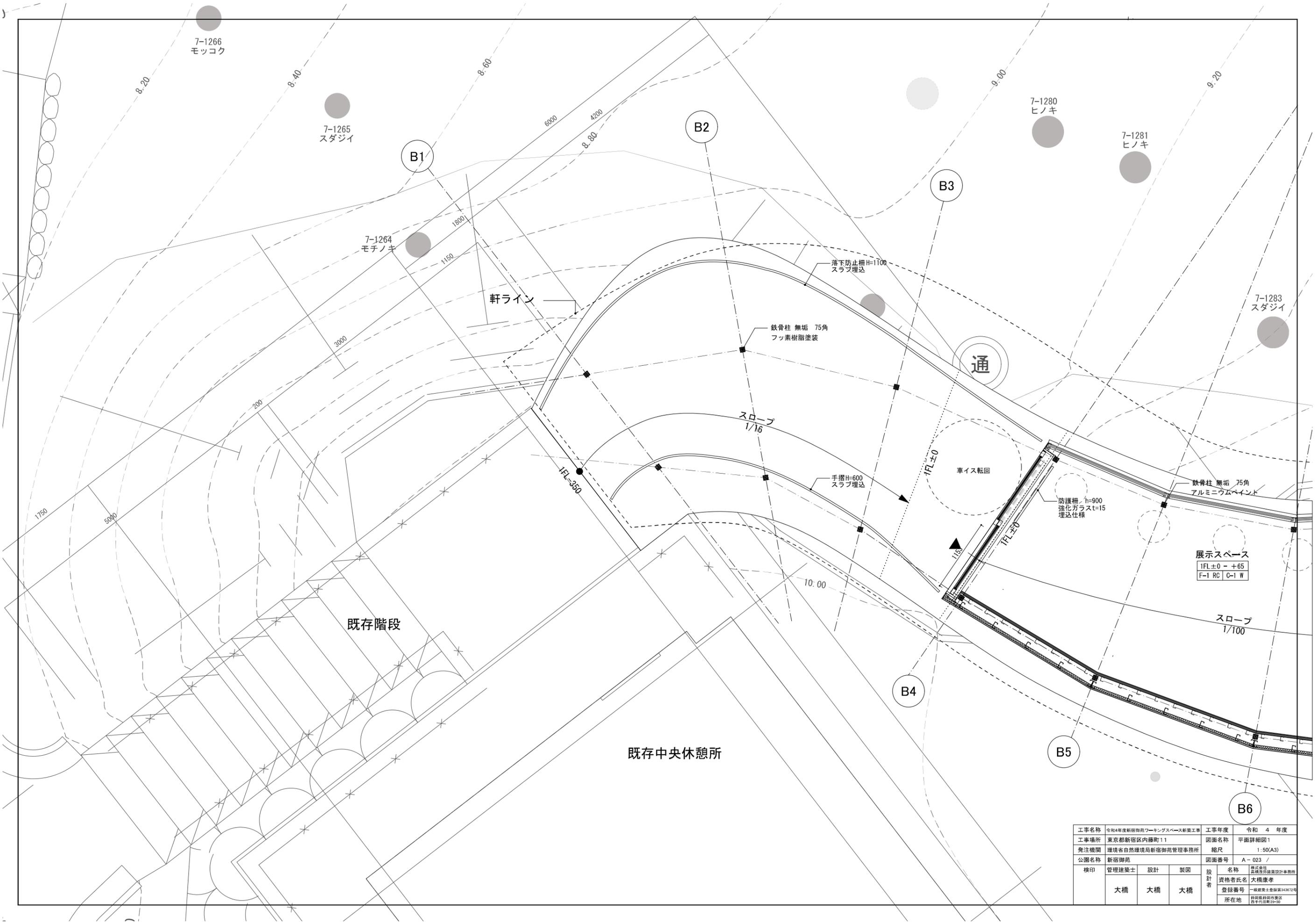
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	層根伏図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:300(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-021 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	設計者	名称	株式会社 東横建設設計事務所
		資格者氏名	大橋康孝
		登録番号	一級建築士登録第143672号
		所在地	東京都新宿区 西千代町29-30

凡例

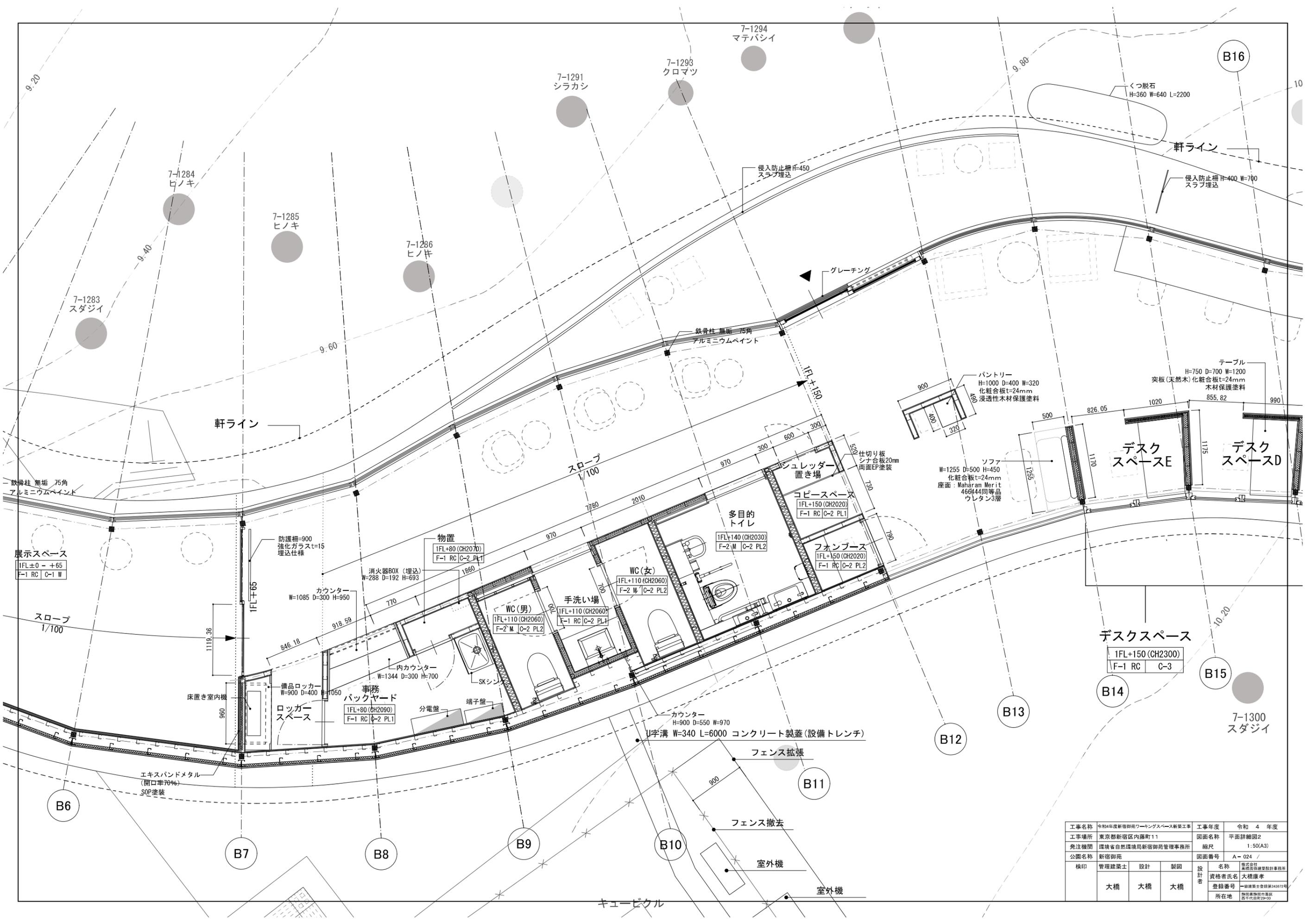
	天井点検口 450角目地タイプ
	排気口
	給気口
	ガラリ



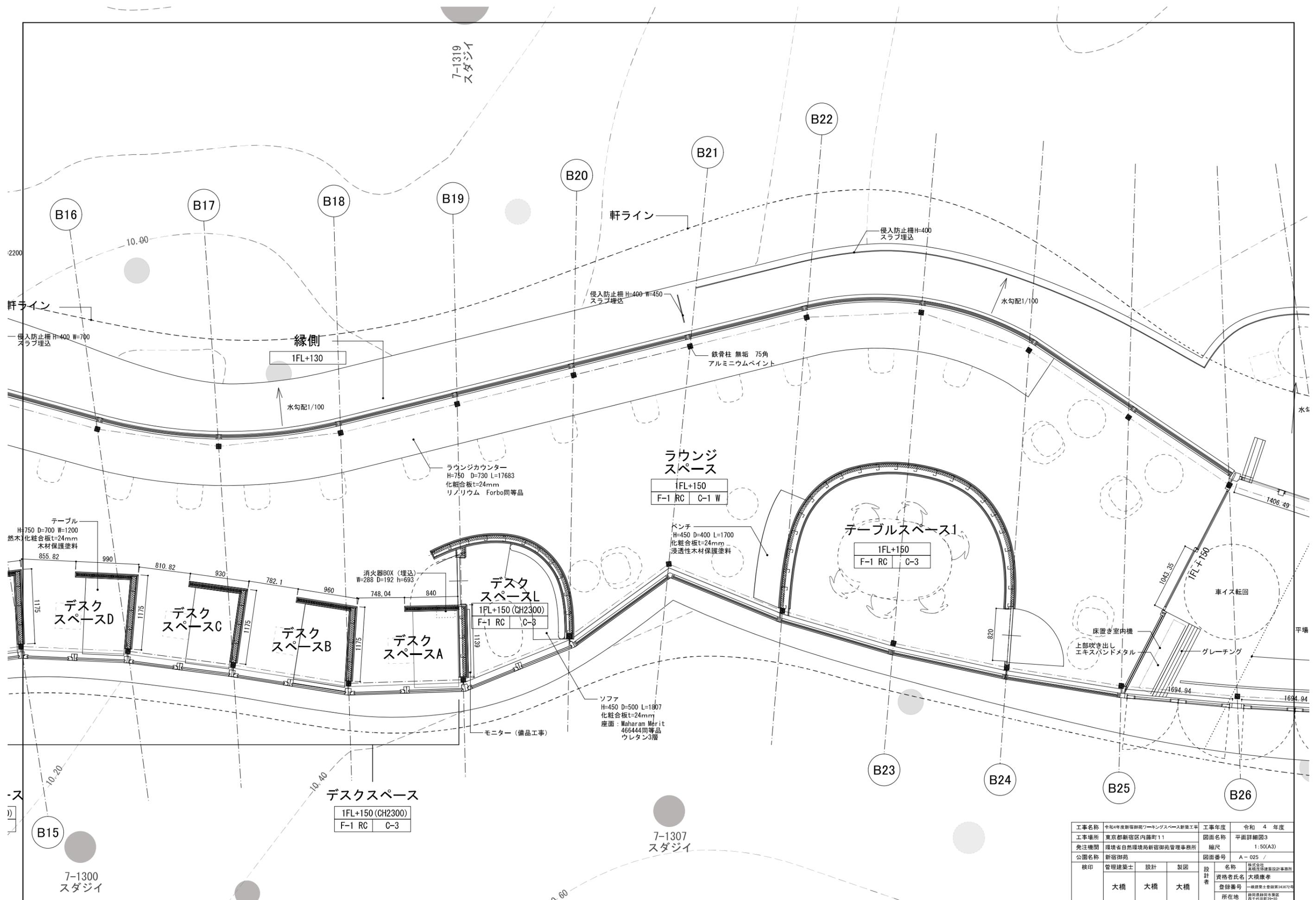
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	天井伏図
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:300(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-022 /
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 株式会社 大橋康孝 資格者氏名 大橋康孝 登録番号 一級建築士登録第143672号 所在地 静岡県静岡市東区 西千代田町29-30
	大橋 大橋 大橋		



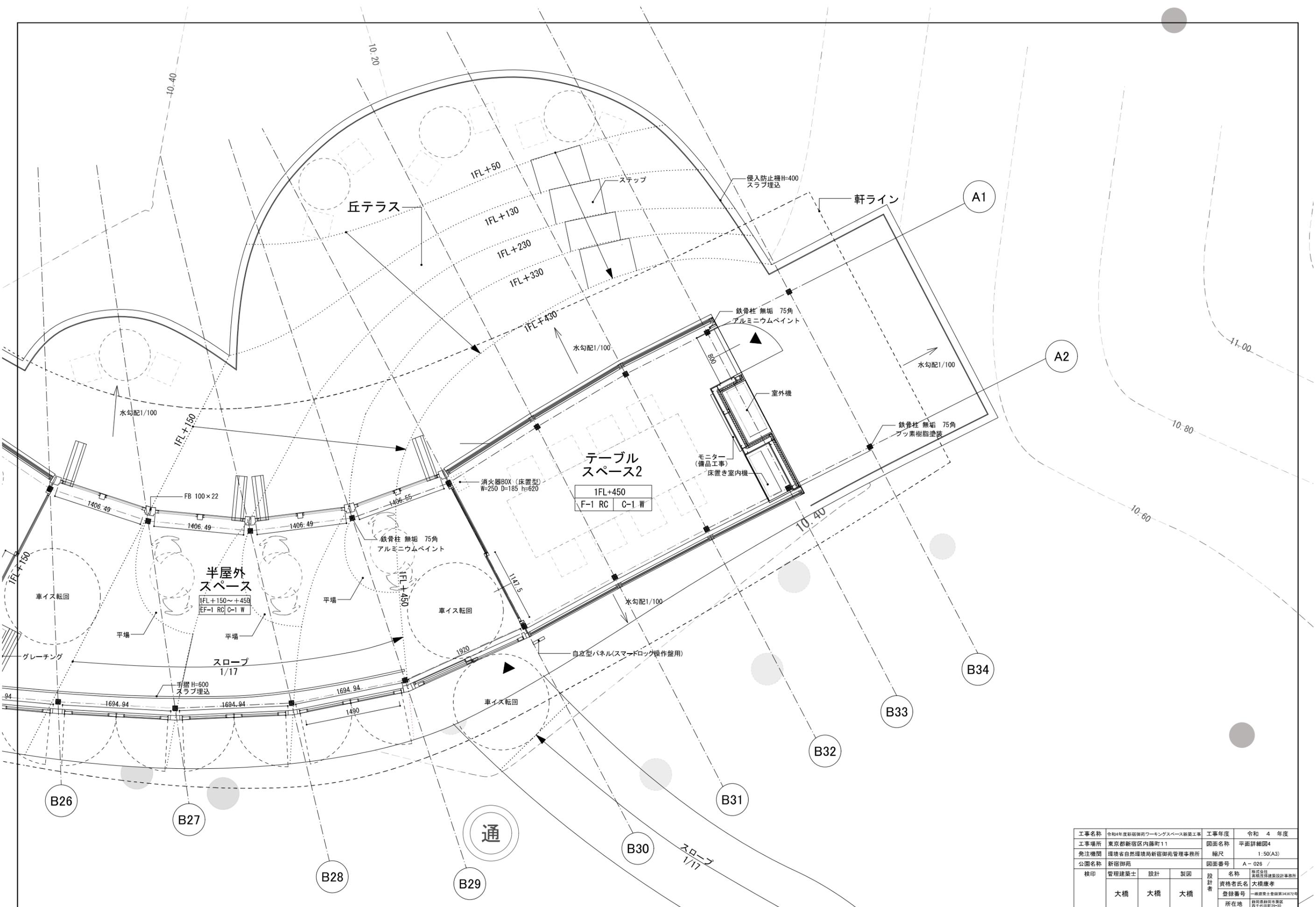
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	平面詳細図1
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:50(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-023 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
		設計者	名称 株式会社 森橋茂建築設計事務所
			資格者氏名 大橋康孝
			登録番号 一級建築士登録第143672号
			所在地 東京都新宿区 西千代田町29-20



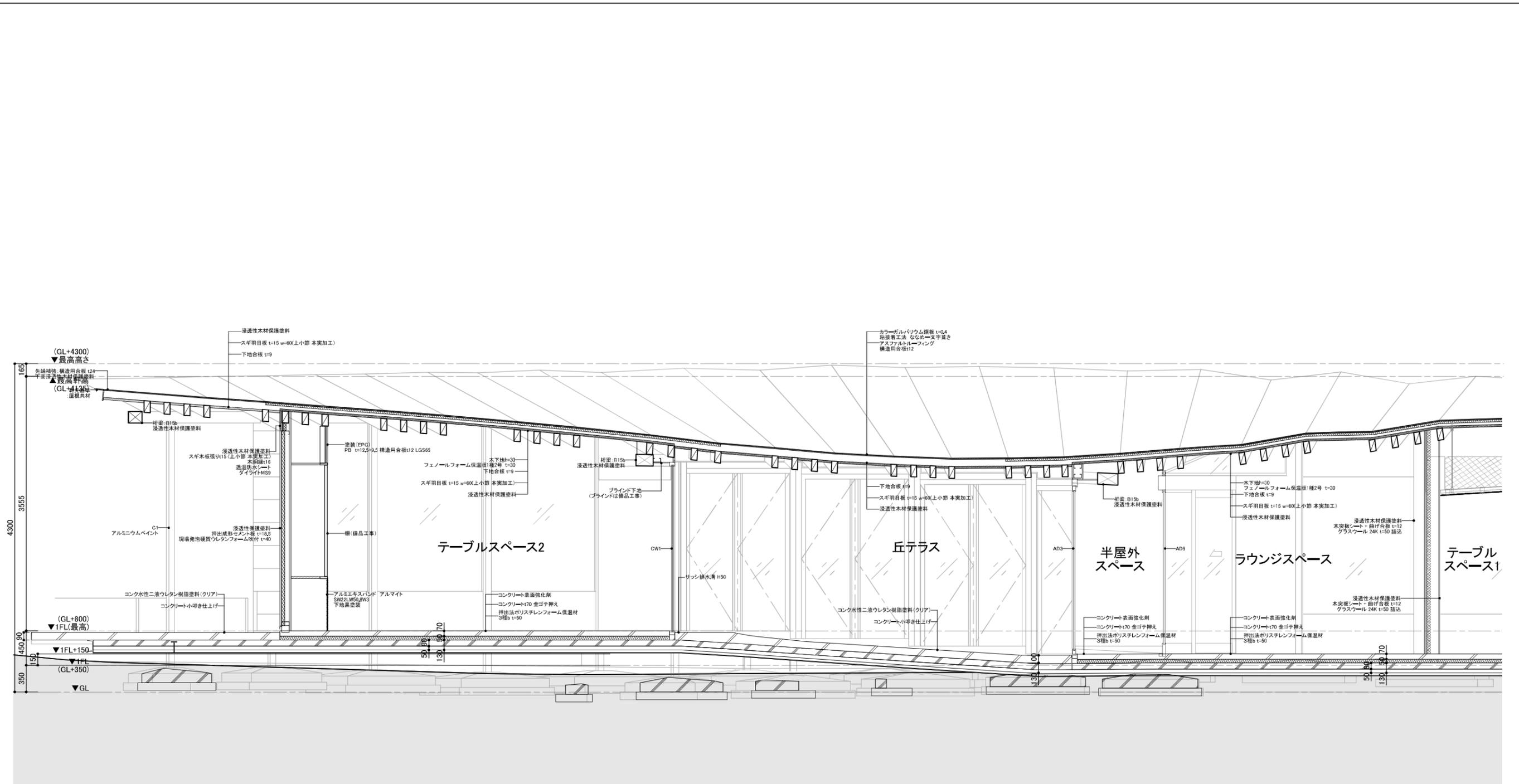
工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	平面詳細図2
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:50(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-024 /
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 株式会社 大橋康孝 資格者氏名 大橋康孝 登録番号 一級建築士登録第343672号 所在地 静岡県静岡市東区 西千代町29-30



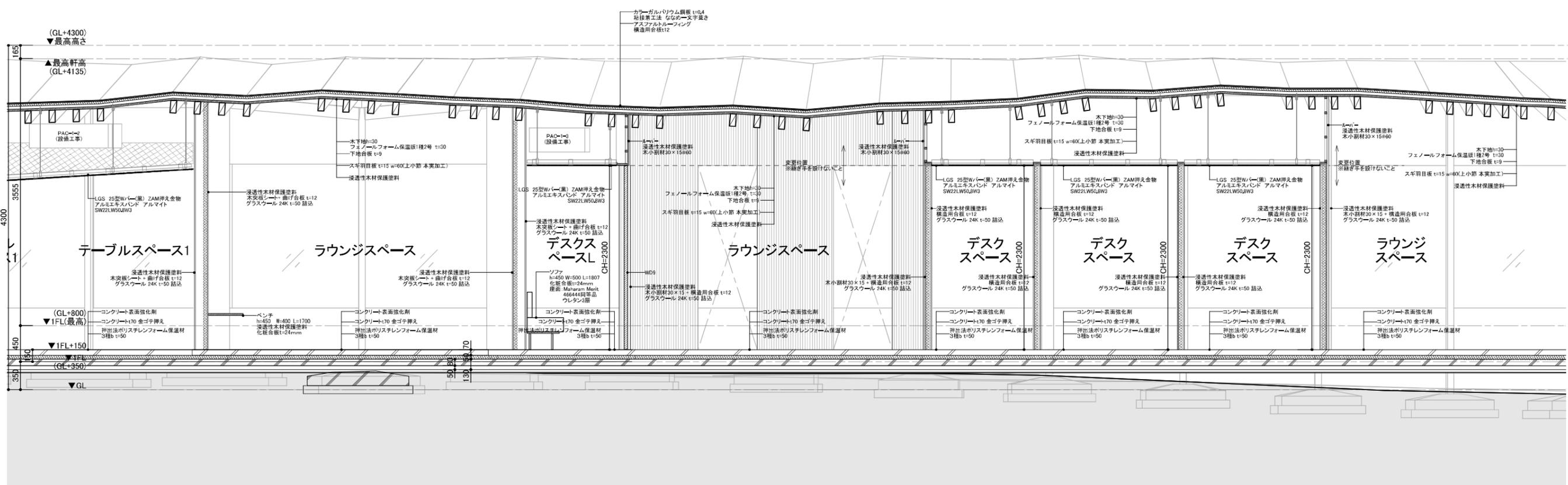
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	平面詳細図3
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:50(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-025 /
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 株式会社 高橋及務建築設計事務所 資格者氏名 大橋謙孝 登録番号 一級建築士登録第349672号 所在地 静岡県静岡市東区 西千代田町26-30



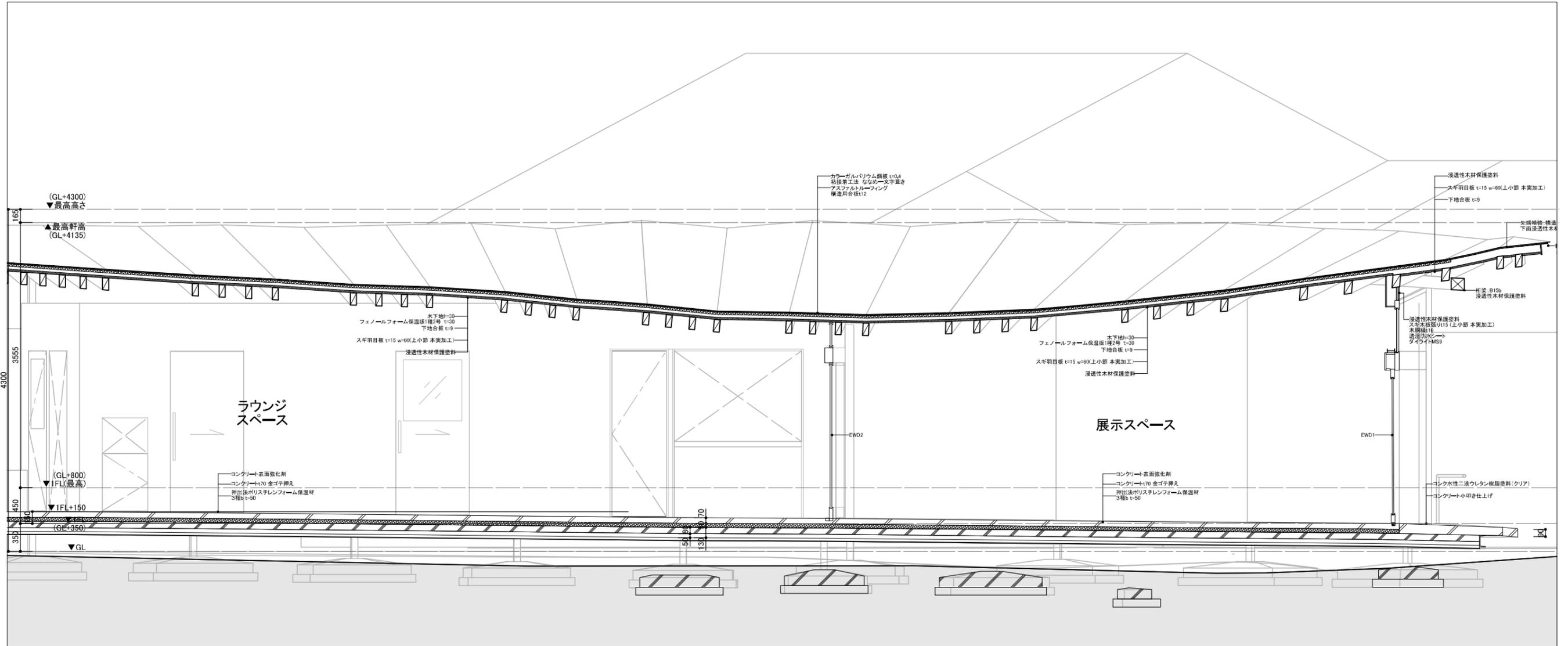
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	平面詳細図4
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:50(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-026 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	名称	株式会社 高橋茂博建築設計事務所	設計者
	資格者氏名	大橋康孝	登録番号
			所在地
			静岡県静岡市東区 西千代田町28-30



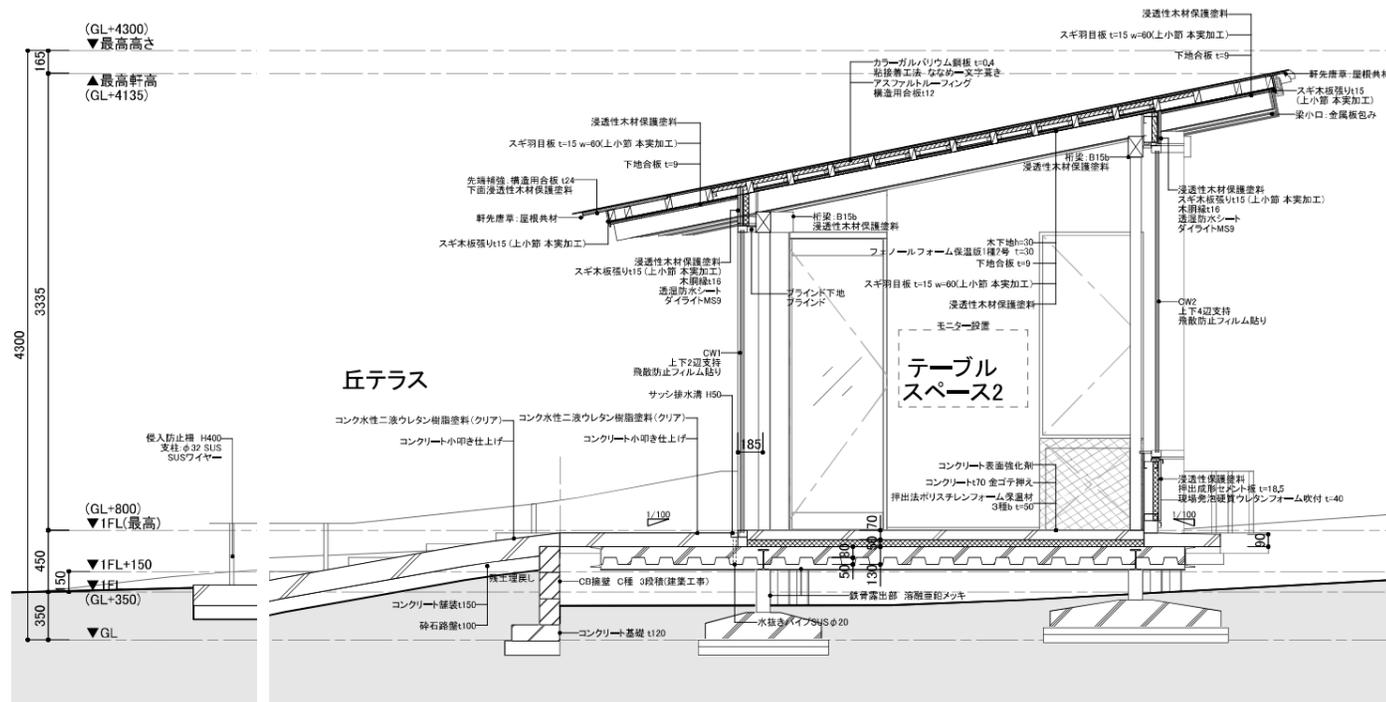
工事名称	令和4年度新宿区庁内ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	断面詳細図1(長辺1)
発注機関	環境省自然環境局新宿開発管理事務所	縮尺	1:50 (A3)
公園名称	新宿南苑	図面番号	A-027 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	設計者	名称	株式会社 高橋建設建築設計事務所
		資格者氏名	大橋康孝
		登録番号	一級建築士登録第34377号
		所在地	東京都新宿区 西千代町20-30



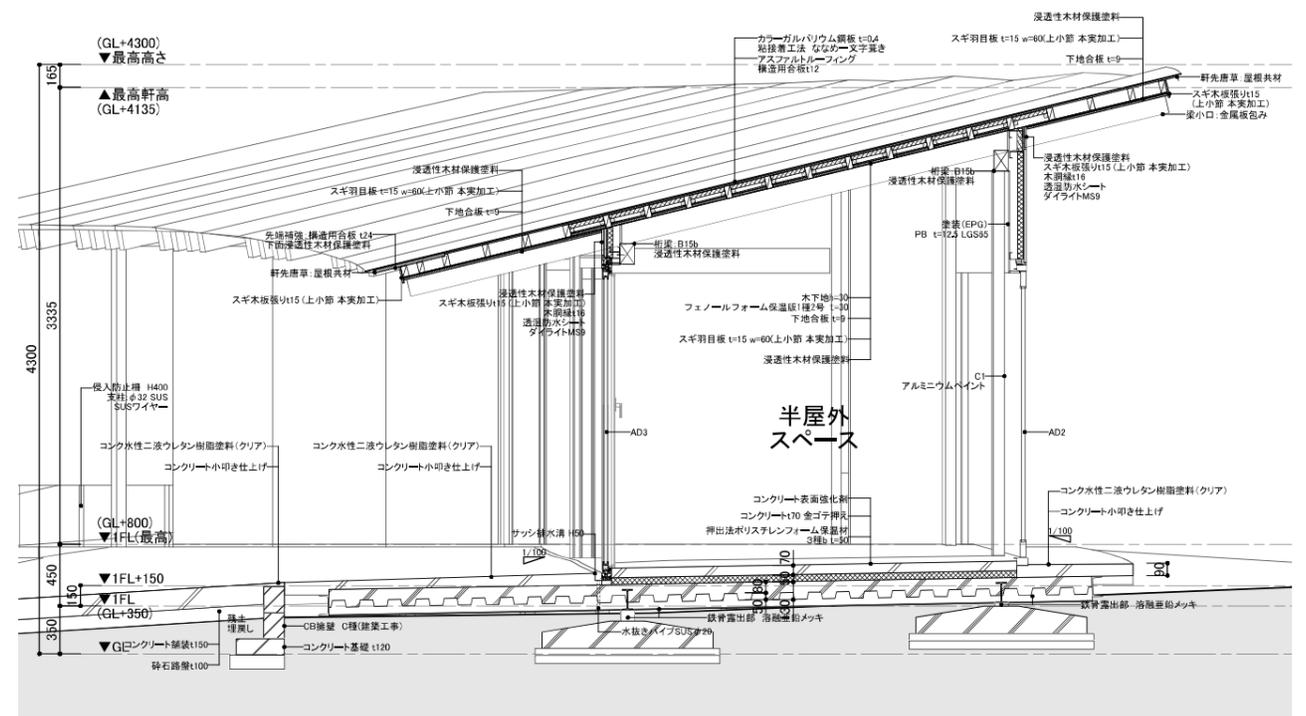
工事名称	令和4年度新宿区庁内職場ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	断面詳細図2(長辺2)	
発注機関	環境省自然環境局新宿開発管理事務所	縮尺	1:50 (A3)	
公図名称	新宿開発	図面番号	A-028 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	大橋	大橋	大橋	
	名称	株式会社 高橋建設設計事務所	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	一級建築士登録第34377号	所在地	静岡県静岡市東区 西千代町20-30



工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事		工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1		図面名称	断面詳細図3(長辺3)
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所		縮尺	1:50 (A3)
公園名称	新宿御苑		図面番号	A-029 /
検印	管理建築士	設計	製図	設計者 名称 株式会社 森下建設設計事務所 資格者氏名 大橋康孝 登録番号 一級建築士登録第34377号 所在地 東京都新宿区 西千代町20-30
	大橋	大橋	大橋	

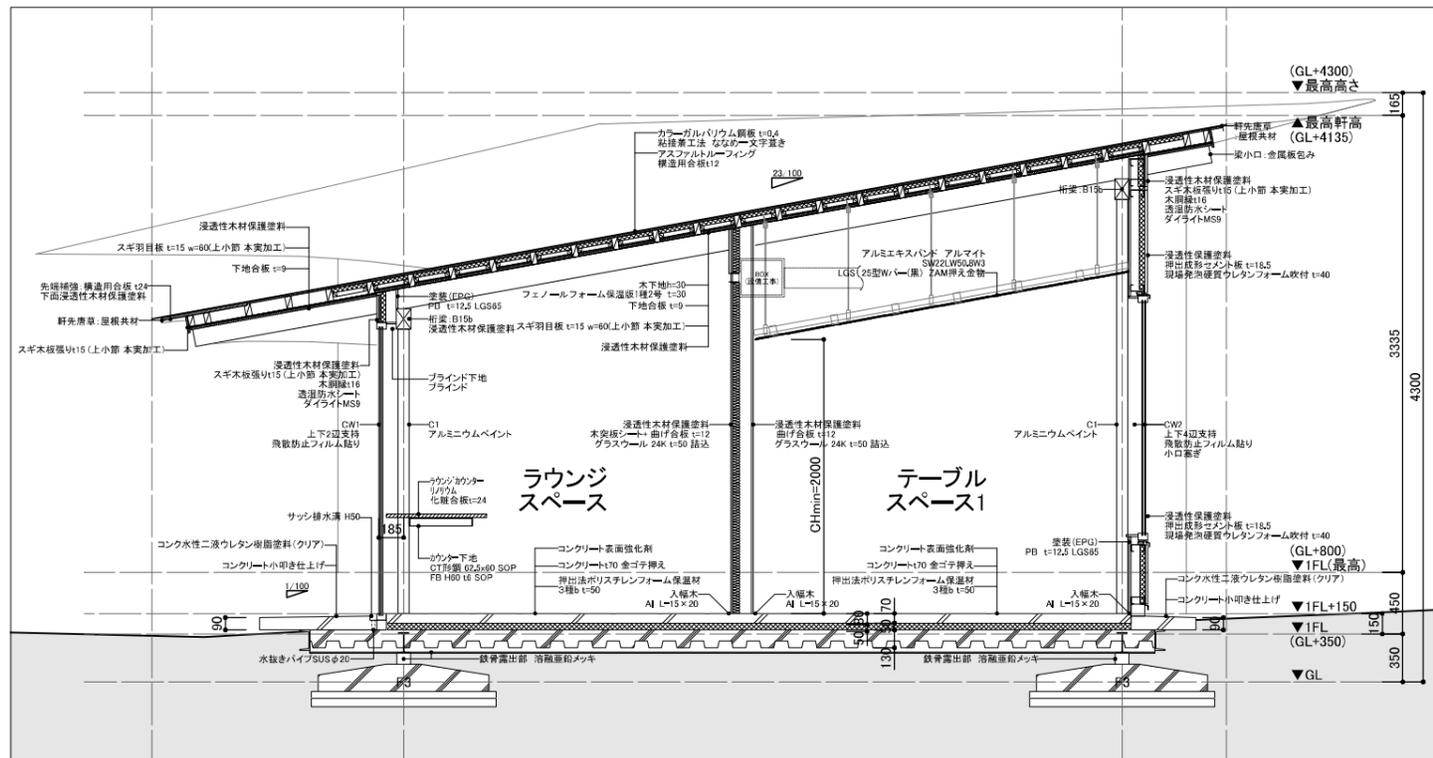


BB 断面詳細図

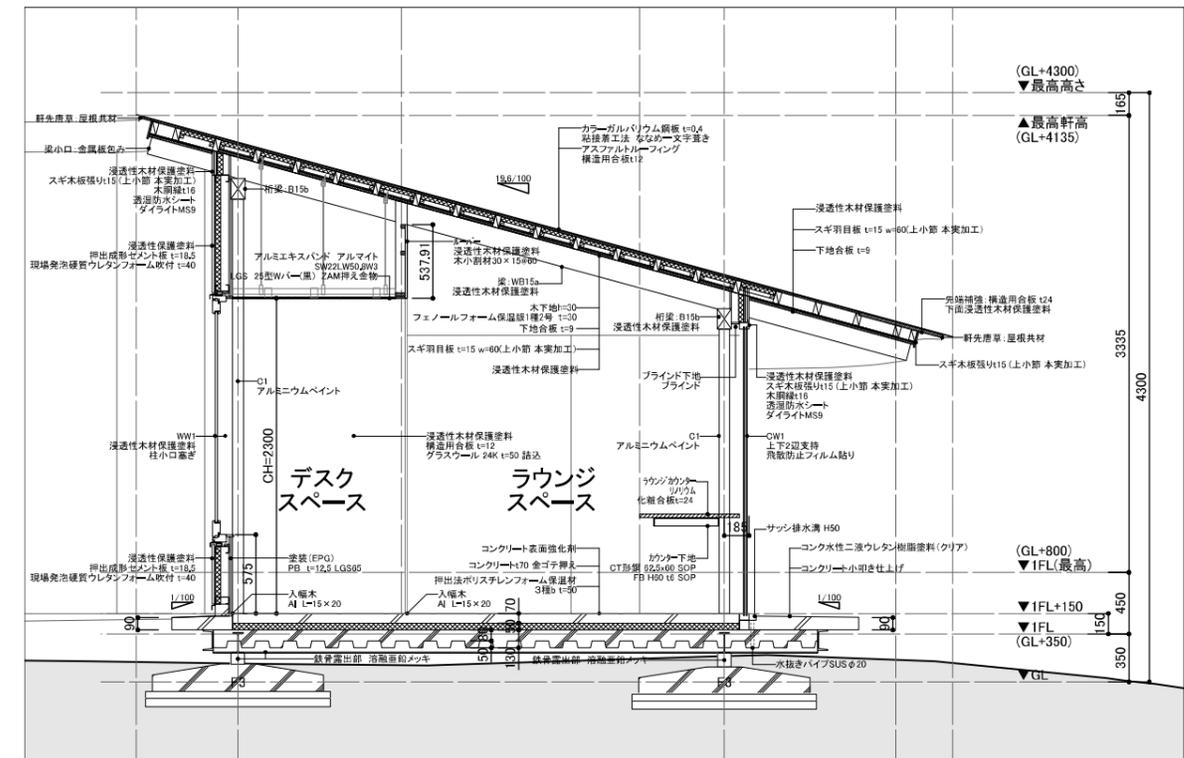


CC 断面詳細図

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	断面詳細図4(B, C)
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:50 (A3)
公図名称	新宿御苑	図面番号	A-030 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	名称	橋元 大橋	資格者氏名
	登録番号	第一級建築士登録第34377号	所在地

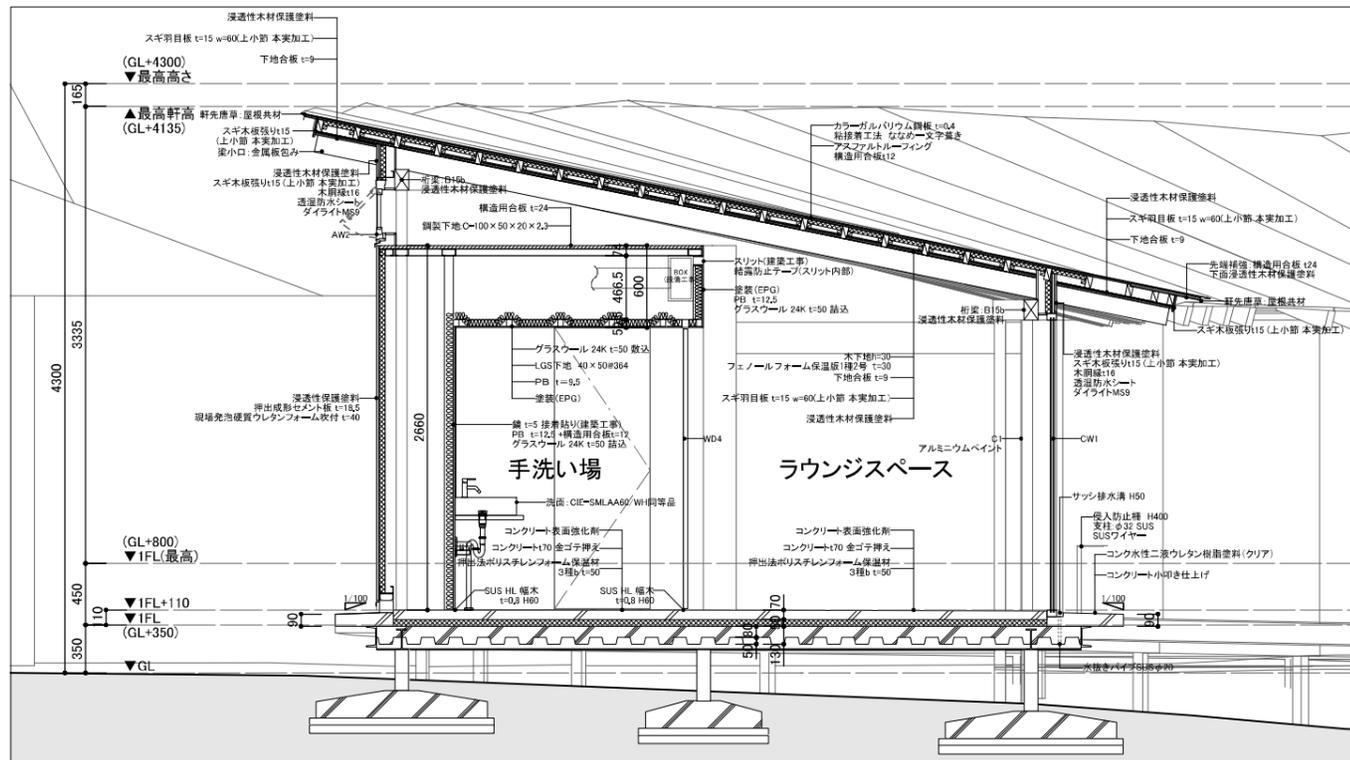


DD 断面詳細図

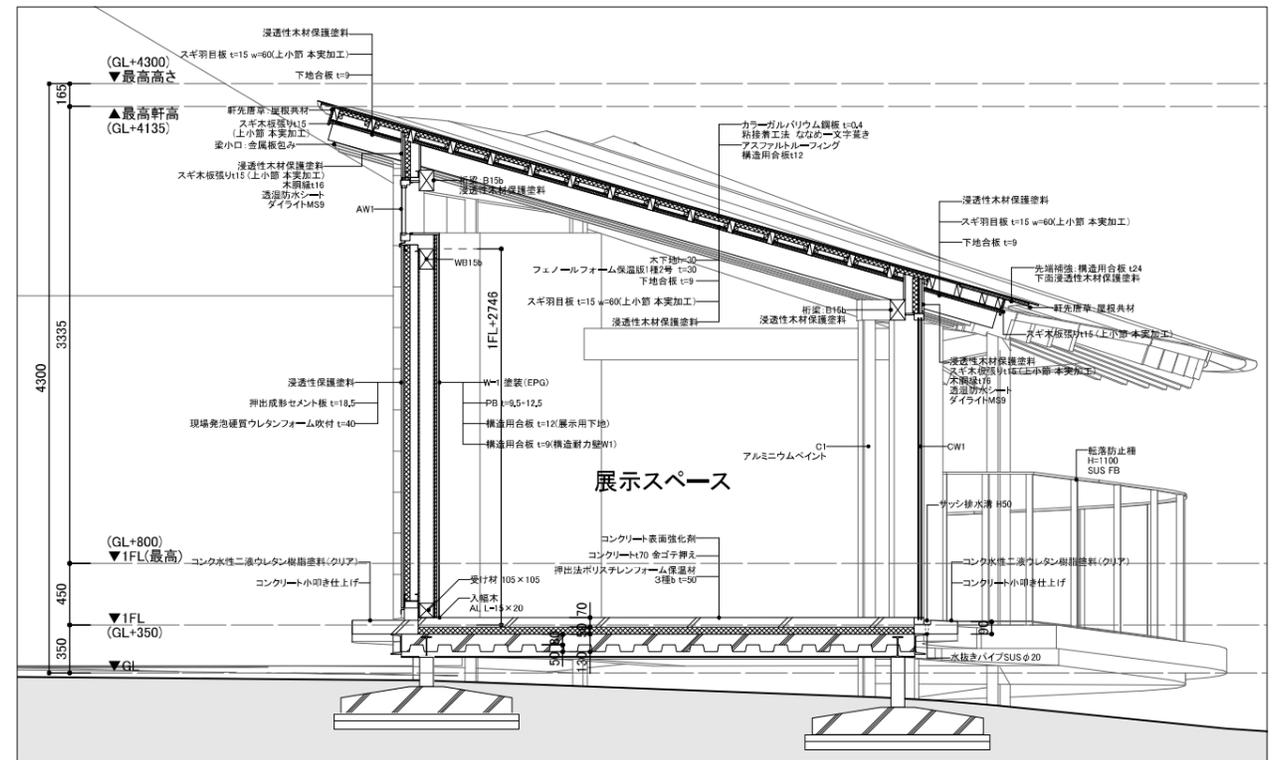


EE 断面詳細図

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	断面詳細図5(D, E)
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:50 (A3)
公図名称	新宿御苑	図面番号	A-031 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	名称	大橋康孝	資格者氏名
	登録番号	一級建築士登録第34372号	登録番号
所在地	東京都新宿区西千代町20-30		

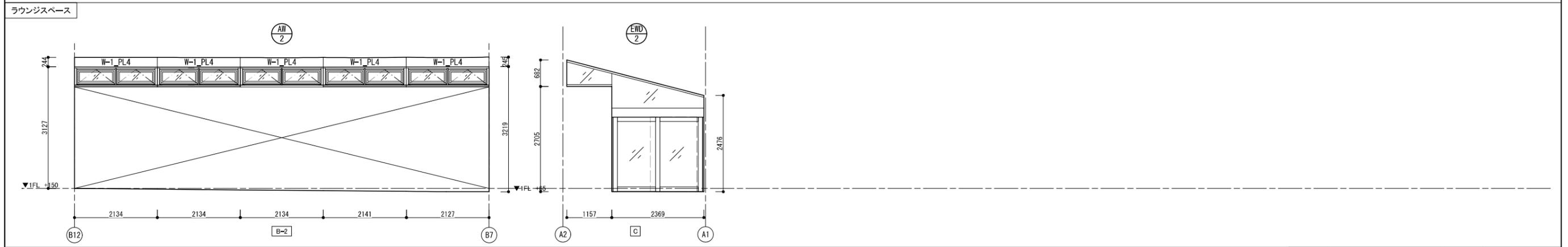
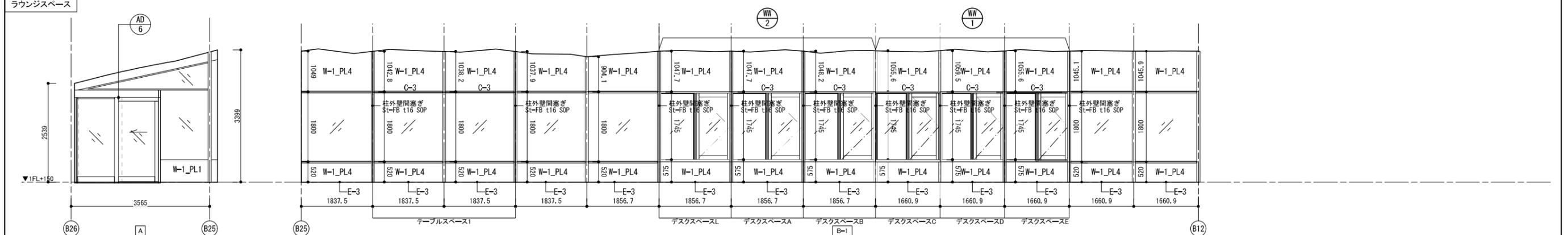
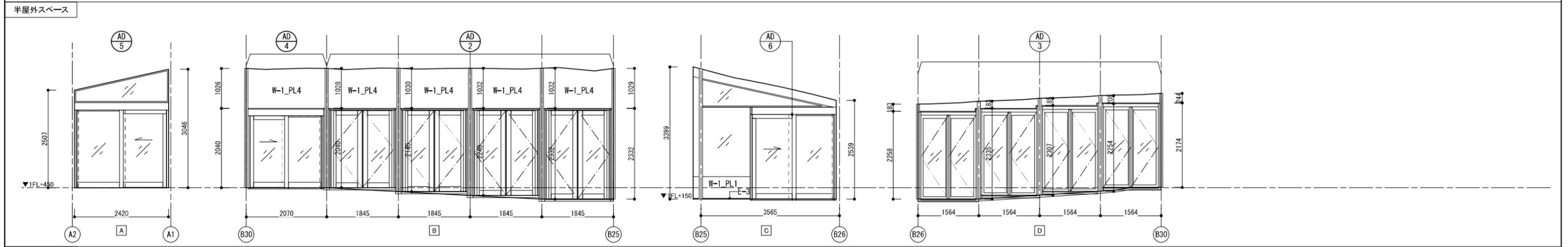
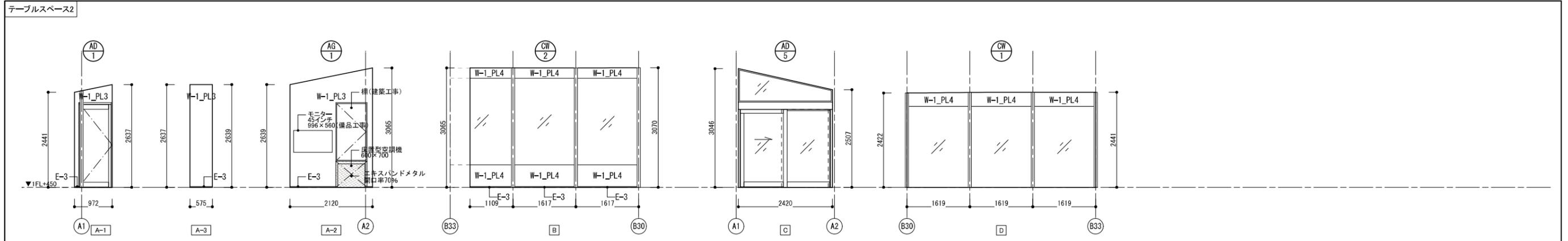


FF 断面詳細図



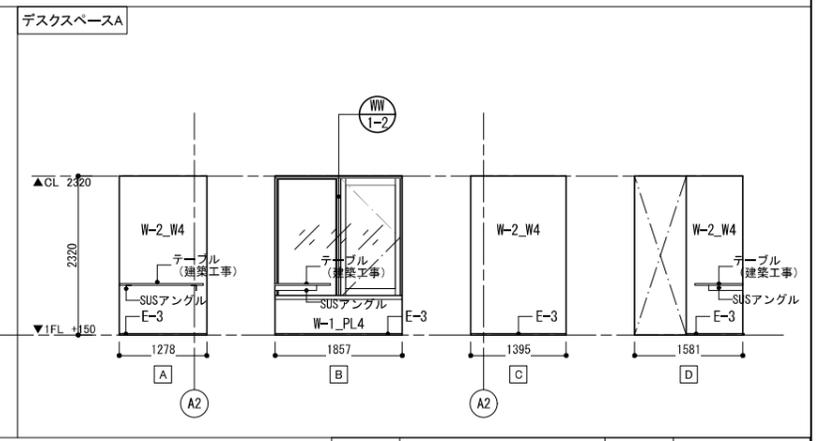
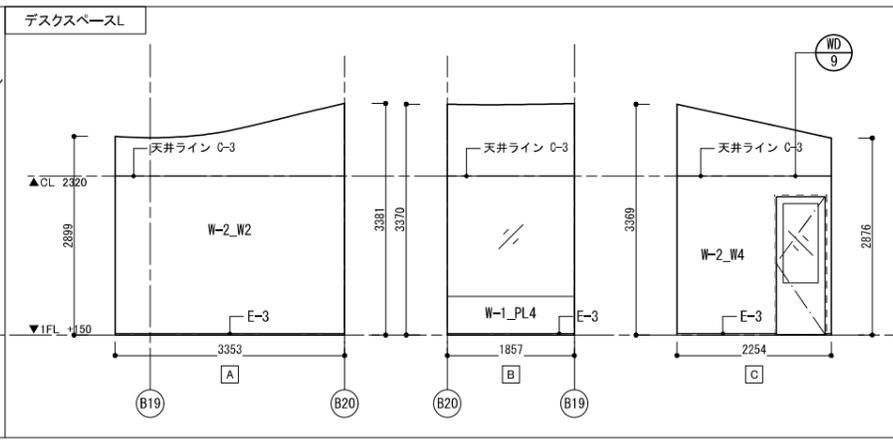
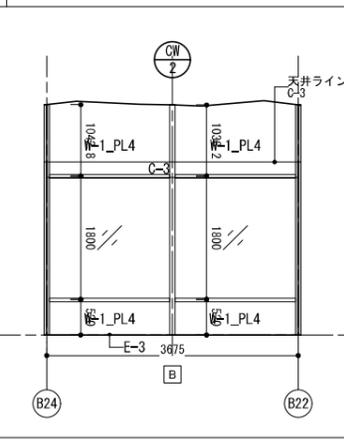
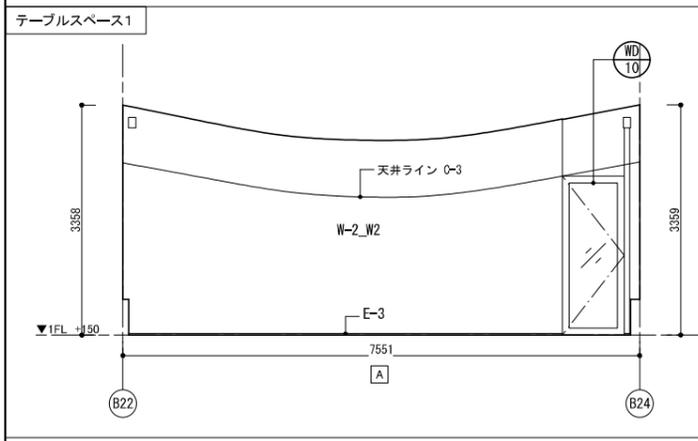
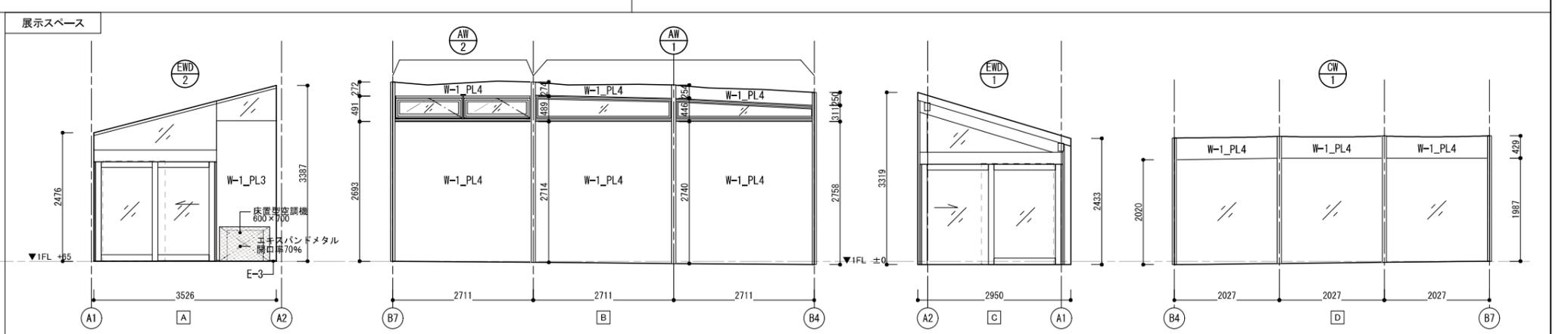
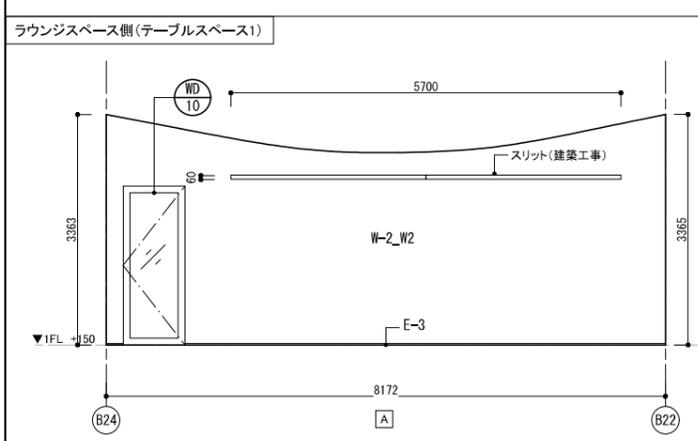
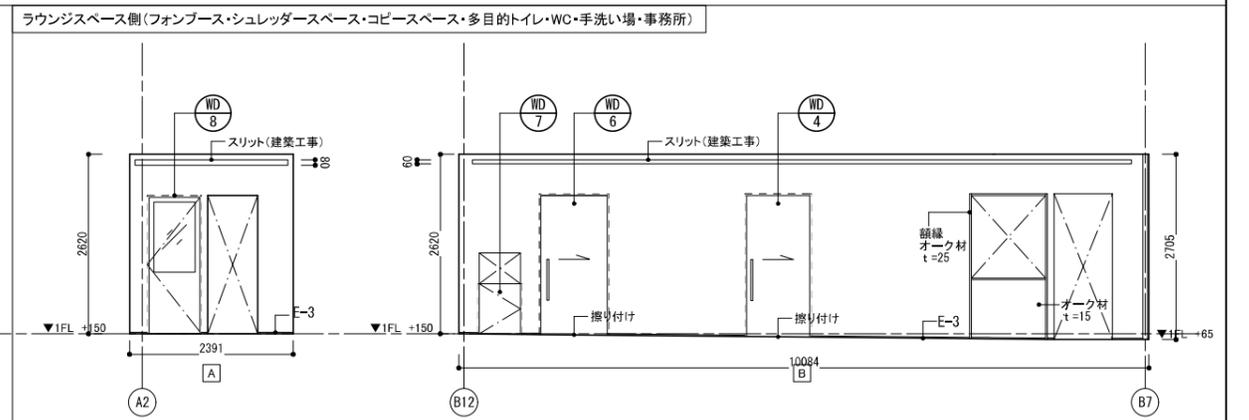
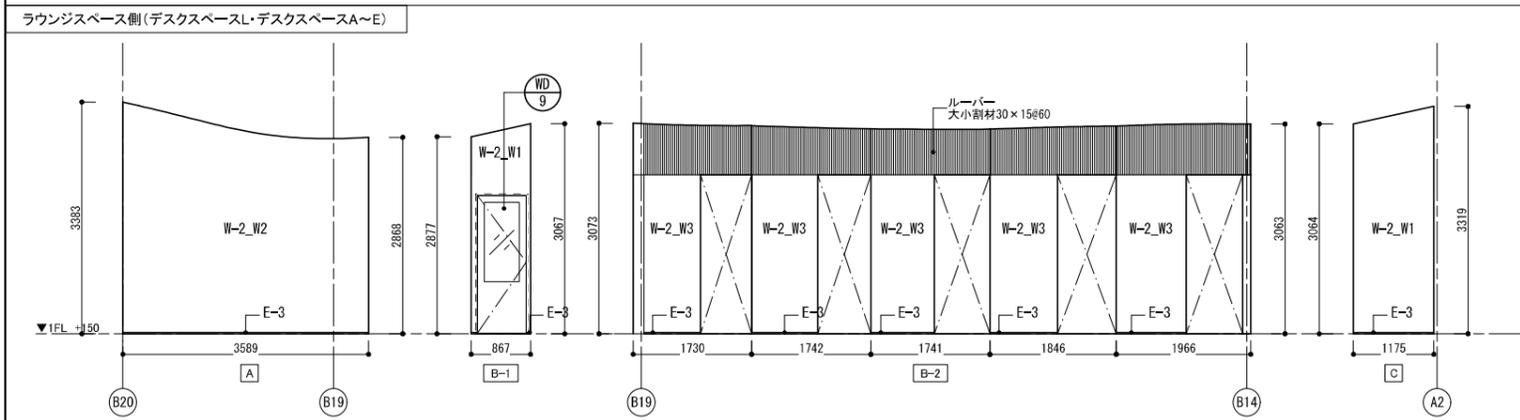
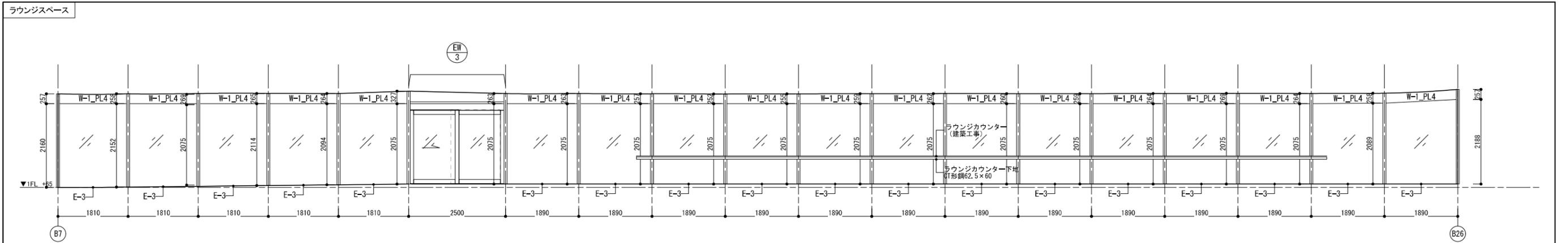
GG 断面詳細図

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	断面詳細図6(F, G)
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:50 (A3)
公圖名称	新宿御苑	図面番号	A-032 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
設計者	名称 株式会社 高橋建設設計事務所	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	一級建築士登録第34377号	
	所在地	東京都新宿区 西千代田町20-30	



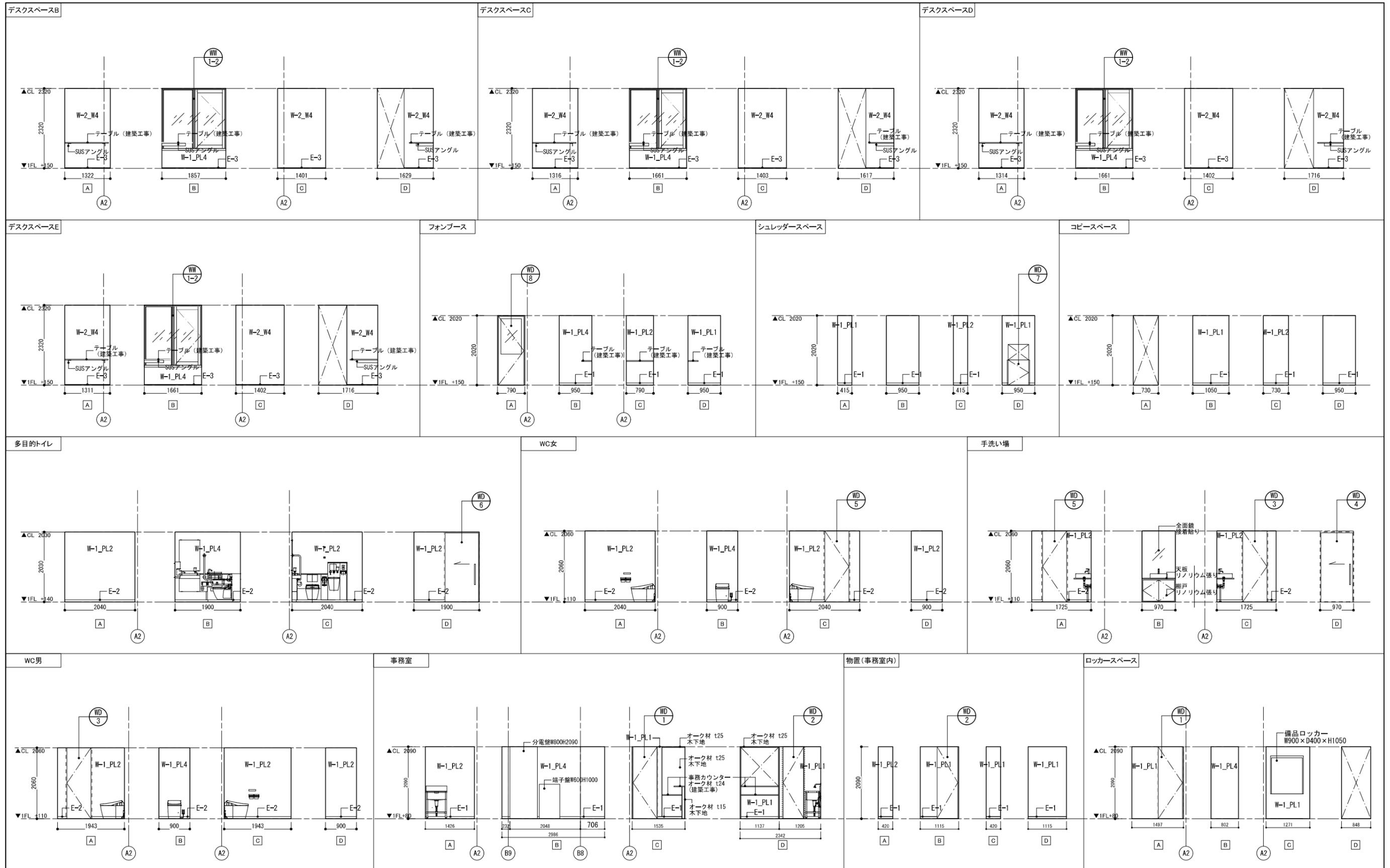
※各平面上側を面aとし、右回りに展開する

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	展開図1
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-033 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	名称	株式会社 高橋建設設計事務所	設計者
	資格者氏名	大橋康孝	登録番号
		登録番号	一級建築士登録第34372号
		所在地	静岡県静岡市東区 新千代田町29-30



※各平面上側を面aとし、右回りに展開する

工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	展開図2	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-034 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	大橋	大橋	大橋	
	名称	株式会社 大橋建設設計事務所	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	一級建築士登録第34377号	所在地	静岡県静岡市東区 新千代田町29-30



※各平面上側を面aとし、右回りに展開する

工事名称	令和4年度新宿区庁ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区西新宿1-1	図面名称	展開図3
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)
公圖名称	新宿御苑	図面番号	A-035 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	名称	株式会社 高橋建築設計事務所	設計者
	資格者氏名	大橋康孝	名称
	登録番号	一級建築士登録第343472号	登録番号
	所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町29-30	所在地

## 建具工事共通事項

### 1. 一般共通

- 建具工事に該当する範囲は、キープに明示するものとし、キープ、カッター、ダブルカット、造付家具類の建具を除く。
- 建具は製作に先立ち建具製作図を作成し、監督員の承認を受ける。
- 材料、製品、建具金物などには必要に応じて見本を提出し、監督員の承認を受ける。
- 各建具の鍵本数は原則として各組3本とする。
- キープについては、キープを提出し、監督員の承認を受ける。
- 鍵箱の有無… ●有 ○無
- 自動扉の種別は下記いずれかによる。
  - 超音波スイッチ ○電波スイッチ ●赤外線スイッチ ●複合式スイッチ
  - 光電スイッチ ●磁気カードスイッチ ○無線スイッチ
- 建具枠面は、特記なき限り、不定形ジョイントとする。
- 該当しない事項については、あらかじめ監督員と協議してこれを定める。
- H&M71711 発泡建築材料等の区分「建築基準法の規制対象外」の材料を使用する。
- 製作および製作工場は特記による。特記がない場合は監督員と協議する。
- 使用する塗料について、低VOC性及び天然性の材料を基本とし、監督員と協議の上決定する。
- 特記なき限り、各扉の窗摺の形状は、下表によるものとし、材質はSUS304 HL仕とする。

床に段差のある場合、またはATの場合	床に段差のない場合、かつATでない場合	
	防火区画	非防火区画
	仕上げが変わる	仕上げが同じ

### 2. 木製建具工事

●特記なき限り、性能項目および等級区分は下表に指定するものとする。また、その試験方法は( )内のJIS規格に定めるものとする。

耐風圧性の区分 最大加圧圧力(Pa)	N		●S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7	U
		800	1200	1600	2000	2400	2800	3600	-	-

※表においてNとは性能を要求しないもの、またUとはJISの規格値を超えるものとする。以下表においても同じ。

気密性の区分 気密性等級線	N		●A-1	●A-2	A-3	A-4	U
				A-1等級線	A-2等級線	A-3等級線	A-4等級線

※気密性等級について、通気量が JIS A 1516に規定する気密性等級線を上回らないこと。

水密性の区分 圧力差(Pa)	N		W-1	W-2	●W-3	W-4	W-5	U
			100	150	250	350	500	-

※各タイプの性能に基づく遮音の構造例を下図1~3に示す。

遮音性の区分 遮音等級線	N		●T-1	●T-2	T-3	T-4	U
				T-1等級線	T-2等級線	T-3等級線	T-4等級線

※断熱性の区分

断熱性の区分 熱貫流抵抗値(m <sup>2</sup> ・K/W)	N		●H-1	H-2	●H-3	H-4	H-5	U
			0.215	0.246	0.287	0.344	0.430	-

※面内変形追随性の区分

面内変形追随性の区分 JISによる等級	N		D-1	●D-2	D-3	U
			D-1	D-2	D-3	-

※耐衝撃性の区分

耐衝撃性の区分 JISによる等級	N		●170mm	U
			170mm	-

※170mmの耐衝撃性は、30kgの砂袋を高さ170mmから落下させた場合、1回の衝撃で著なる変形がなく、開閉に以上がなく、使用上支障ないこと。

開閉力の区分 JISによる等級	N		●50N	U
			50N	-

※50Nの開閉力とは、50N以下の開閉力により戸が円滑に開閉すること。

ねじれ強さの区分 JISによる等級	N		●200N	U
			200N	-

※200Nのねじれ強さは、200N載荷において開閉に以上がなく、使用上支障がないこと。

鉛直荷重強さの区分 JISによる等級	N		●500N	U
			500N	-

※500Nの鉛直荷重強さは、500N載荷においての残留変形が3mm以下で、開閉に異常がなく、使用上支障がないこと。

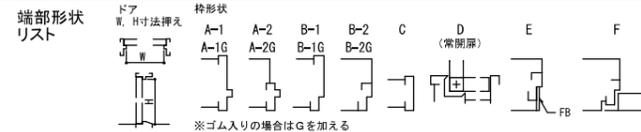
開閉耐久性の区分 JISによる等級	N		●10万回	U
			10万回	-

※10万回の開閉耐久性とは、10万回の開閉繰り返し試験において、開閉に異常がなく、使用上支障がないこと。

- 建具のかまち・棧・鏡板などに使用する木材の樹種および品質は下記による。
- 木材の樹種、屋外仕様はスプルース、ペイマツ、屋内使用はスプルース、シタ、ナラ材とする。
- 木材の品質は、製材の日本農林規格による。
- 針葉樹材…造作用製材の規格、広葉樹材…広葉樹製材の規格
- 木材の品質は使用区分により、右表を標準とする。

区分	品質	
みえ掛かり部	無節	広葉樹 特等
みえ隠れ部	上小節	1等

- 木材は心去り材とし、含水率は15%以下を標準とする。
- 開き建具の吊り元かまちは、釘・ねじの保持力の高い樹種とする。
- 召合せの定規線に用いる木材の樹種および品質は、かまち・棧材に準ずる。
- 建具に用いる合板は日本農林規格に定めるものとし、その種別は監督員指示による。
- 建具に用いる合板の接着の程度について、屋内に使用するものはJAS定義による1類、屋外に使用するものはJAS定義による特類を使用するものとする。
- ほぞ等の接着には耐水性接着剤を用いる。
- 特記なき限り、建具厚さは40mmとする。但し建具高さ1800mm以下の場合には36mmとする。
- 組立て精度は特記による。また、特記なき場合の寸法公差は、外法寸法が1000mm未満の場合は2mm以下、1000mm以上の場合には1000分の2以下とする。



※ゴム入りの場合はGを加える

### 3. 鋼製建具工事、鋼製軽量建具工事

- 建具表に特記なき場合、性能は下記による。

耐風圧性の区分 最大加圧圧力(Pa)	N		●S-1	S-2	S-3	●S-4	S-5	S-6	S-7	U
			800	1200	1600	2000	2400	2800	3600	-

気密性の区分 気密性等級線	N		●A-1	●A-2	●A-3	A-4	U
				A-1等級線(120等級)	A-2等級線(30等級)	A-3等級線(8等級)	A-4等級線

※気密性等級について、通気量が JIS A 1516に規定する気密性等級線を上回らないこと。

水密性の区分 圧力差(Pa)	N		W-1	●W-2	W-3	W-4	W-5	U
			100	150	250	350	500	-

遮音性の区分 遮音等級線	N		●T-1	●T-2	●T-3	T-4	U
				T-1等級線(25DB)	T-2等級線(30DB)	T-3等級線(35DB)	T-4等級線(40DB)

断熱性の区分 熱貫流抵抗値(m <sup>2</sup> ・K/W)	N		●H-1	●H-2	●H-3	●H-4	H-5	U
			0.215	0.246	0.287	0.344	0.430	-

耐震性の区分 面内変形角(rad)	D-1		●D-2		D-3
		1/300	1/150	1/120	-

●通常の使用条件において、10万回以上の開閉に耐えるものとする。

- 特記なき限り、使用鋼板は、溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯(JIS G 3313)とする。
- 特記なき限り、亜鉛めっき鋼板に対する錆止め塗料は、下表による。

規格番号	規格名称	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> )	標準膜厚 (μm)	適用
JASS 18 M-111	水系錆止めペイント	0.11	30	屋内
JASS 18 M-109	変性珪酸樹脂アクリル	0.14	40	屋内、屋外
JIS K 5674	鉛・鉛鉛-亜鉛止めペイント	0.12~0.17	30	屋内、屋外

- 外部に面するSDの防錆塗装は、工場錆止め2回塗り+現場にてタッチアップ後に錆止め1回とする。
- 特記なき限り、鋼製建具の見込寸法は、以下のよう定める。膜厚mm(A:扉面積)<sup>m</sup>
  - 40mm(A≤2.5)、45mm(2.5<A≤3.5)、50mm(3.5<A≤5.0)、60mm(A>5.0)
- 特記なき限り、外部に面する扉は外開きのセミエアタイト(A-2等級線)とし、枠廻りにクロロレンゴム入り、建具内にロックウール入りとし、支持金物はステンレス製丁番3枚吊りまたはステンレス製長丁番とする。
- 外部に面する外壁側面納まりの扉で庇のない場合は、上枠にステンレス製水切りプレートをつける。
- 内部のドア枠にはクロロレンゴムなどの戸当りゴム(2箇所)を取り付ける。
- 機械室などの遮音性を必要とする室の防音扉は、扉厚45mm以上、内部ロックウール充填、四方枠クロロレンゴム入り、扉エッジ部SUS-304折り曲げ、クレモン3点締り、遮音等級線T-3以上とする。
- 防火戸に取り付くアークヒンジ、ドアローザ、ヒンジローザはステンレス製とする。
- 防火戸において電気配線、配管、煙感知器、熱感知器などは電気工事とし、電気用の建具切り込み、自動開閉装置、リミットスイッチ及びその取付は建具工事とする。
- 親子扉、両開き扉は順位調整器をつけ(上枠埋め込み)、扉にて召し合わせ加工とする。

※各タイプの性能に基づく遮音の構造例を下図1~3に示す。

T-1, T-2, T-3	モルタル充填		モルタル充填		モルタル充填		モルタル充填	

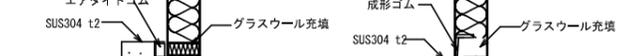
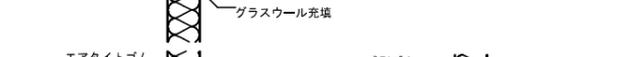
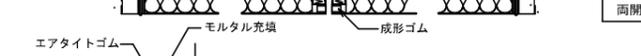
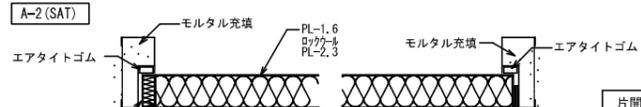
※片開戸

※両開戸

※両開戸・召し合せ部

※片開戸

※両開戸



4. ステンレス製建具工事

- 鋼製建具及び軽量鋼製建具の共通事項に準ずる。
- 特記なき限り、表面仕上げは、HL(ヘアライン)仕上げとする。
- ステンレス鋼材は一般部分はSUS-304とし、塩害等の影響を受ける場合はSUS-316を使用する。
- 特記なき限り、曲げ加工は普通曲げとし、角だし曲げ(変欠き1mmR、裏板補強つき)は監督員の指示により行う。

### 5. アルミニウム製建具工事

耐風圧性の区分 最大加圧圧力(Pa)	N		●S-1	S-2	S-3	●S-4	S-5	S-6	S-7	U
			800	1200	1600	2000	2400	2800	3600	-

※表においてNとは性能を要求しないもの、またUとはJISの規格値を超えるものとする。以下表においても同じ。

気密性の区分 気密性等級線	N		A-1	A-2	A-3	●A-4	U
				A-1等級線	A-2等級線	A-3等級線	A-4等級線

※気密性等級について、通気量が JIS A 1516に規定する気密性等級線を上回らないこと。

水密性の区分 圧力差(Pa)	N		W-1	W-2	W-3	W-4	●W-5	U
			100	150	250	350	500	-

※各タイプの性能に基づく遮音の構造例を下図1~3に示す。

遮音性の区分 遮音等級線	N		T-1	●T-2	●T-3	T-4	U
				T-1等級線	T-2等級線	T-3等級線	T-4等級線

※断熱性の区分

断熱性の区分 熱貫流抵抗値(m <sup>2</sup> ・K/W)	N		●H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	U
			0.215	0.246	0.287	0.344	0.430	-

●特記なき限り、枠材は既製型材を使用する。枠見込みは70mmとする。

- 特記なき限り、水切り(サッシュ同材)付とする。
- 開閉窓部分の網戸は、●有 ●無し
- 枠材がコンクリート、モルタル等のアルカリ性材料、塩分を含んだ輸入木材及び異種金属と接する面は、接触腐食防止処置を施す。
- 外部廻りの両面サッシュ枠形状は、二重シーリング充填が可能なタイプの枠形状を使用する。
- 横連窓等で扇開位置をサッシュ又はガラス取りあい部分で考慮する場合は、カーテンウォール工事およびガラス工事になる。
- はめ殺し部分には原則として結露受け(材質: スチール)をもうけ、水抜き穴付(5mmφ以上)または拭き取りタイプとする。

### 6. 鋼製シャッター及び耐火防火スクリーン及びオーバードア

- ガイドレール、まぐさ、座板は特記なき限りSUS304 HL仕上げ、折り曲げ加工とする。
- 重量シャッターの納まり寸法については、監督員と協議の上決定する。
- 外用用シャッターは、建物の立地・用途・設置場所などを勘案して必要とする風圧力に耐えるものとする。

特に風当たりの強い箇所を使用されるもの、大形のものおよび特記のあるものは、強度計算によってスラット・ガイドレール、その他の部材の断面寸法・形状・躯体との関係などを確認する。外用用シャッターで特に高度の耐風圧性を必要とする場合及び幅8m以上の場合は、スラットは必ず止め機構を設ける。

- 製作者は、下記の項目について、監督員の指示によって見本品を示すする。
- 素地調整 ●防錆塗装 ●仕上げ ●外観 ○形状 ○寸法精度 ○機構 ○付属品

●特記なき限り、操作方法は上部電動式シャッターとし、障害物感知装置付とする。

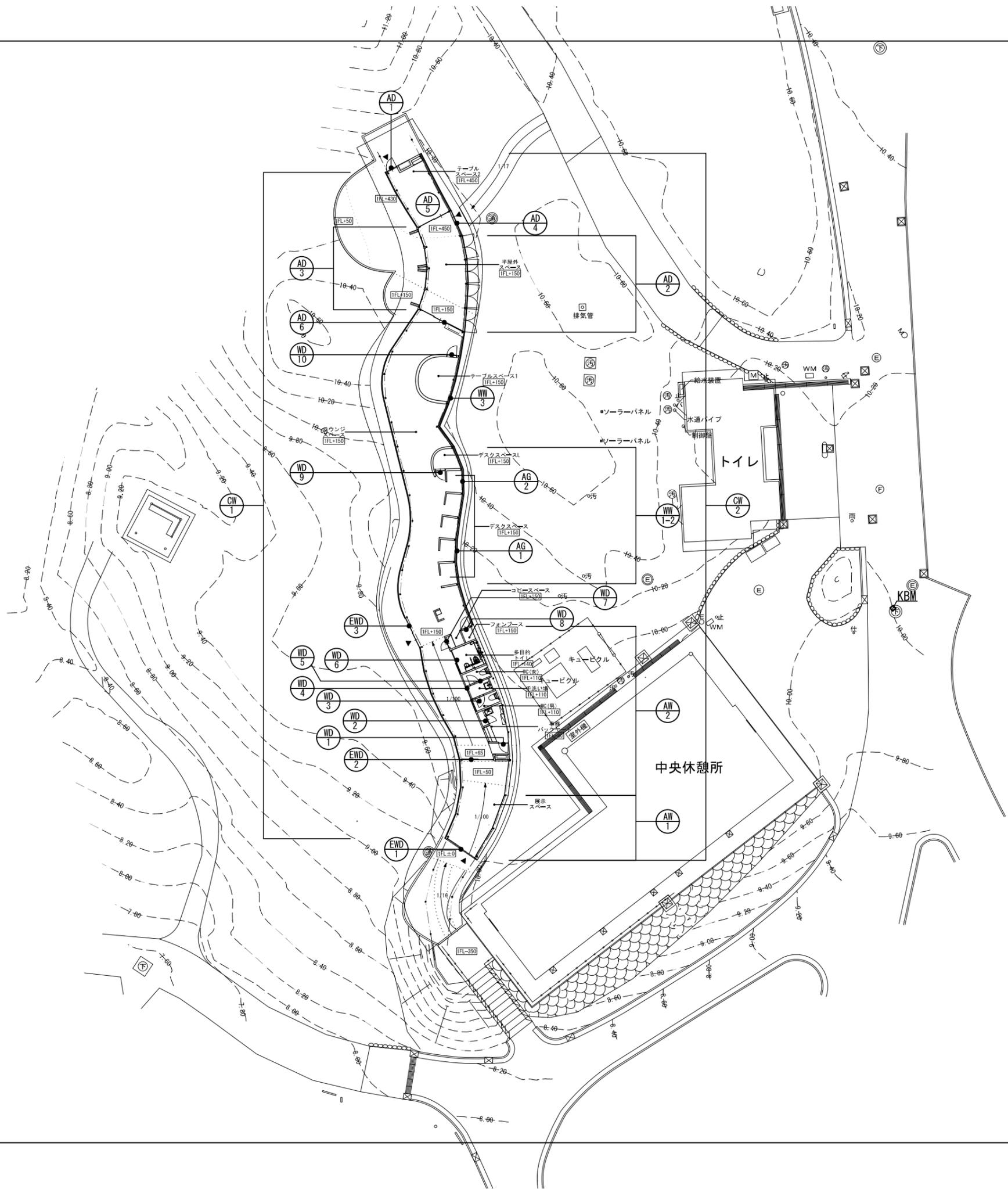
- 特記なき限り、押しボタンケース、ハンドルケースの高さは1200mmとし、材質はステンレスHL仕上げとする。
- シャッターの予備巻上げ方法は下記とする。

- チェーン式 ○ハンドル式( ) ○プルアップ式( )
- 防火シャッターの遠隔操作がある場合、下記による。

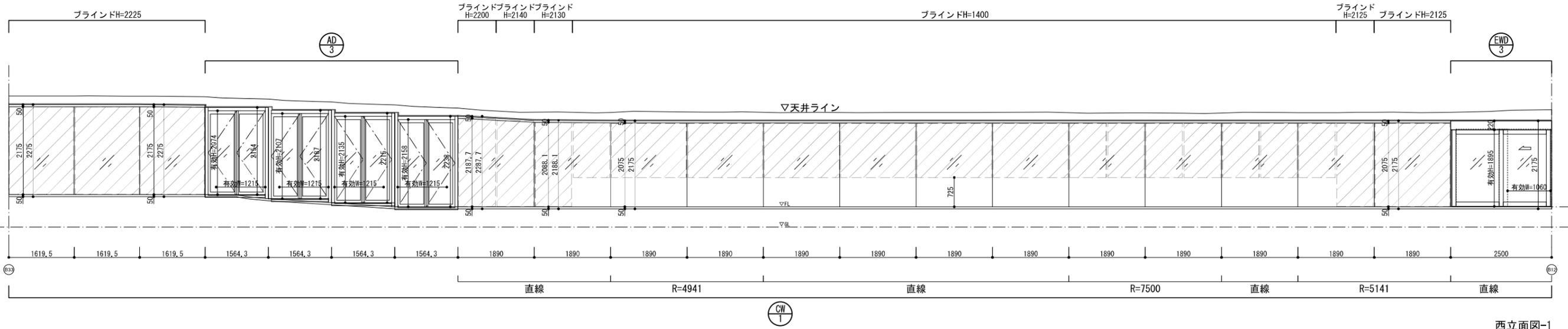
- 個別制御(取付場所) ) ○地区制御(取付場所) ) ○集中制御(取付場所) )

- 電気用建具切り込み、電動シャッターの駆動スイッチ、リミットスイッチ、制御盤、遠方操作盤、押ボタン及びその配線はシャッター工事とし、配管・配線及び煙感知器、熱感知器などは電気工事とする。

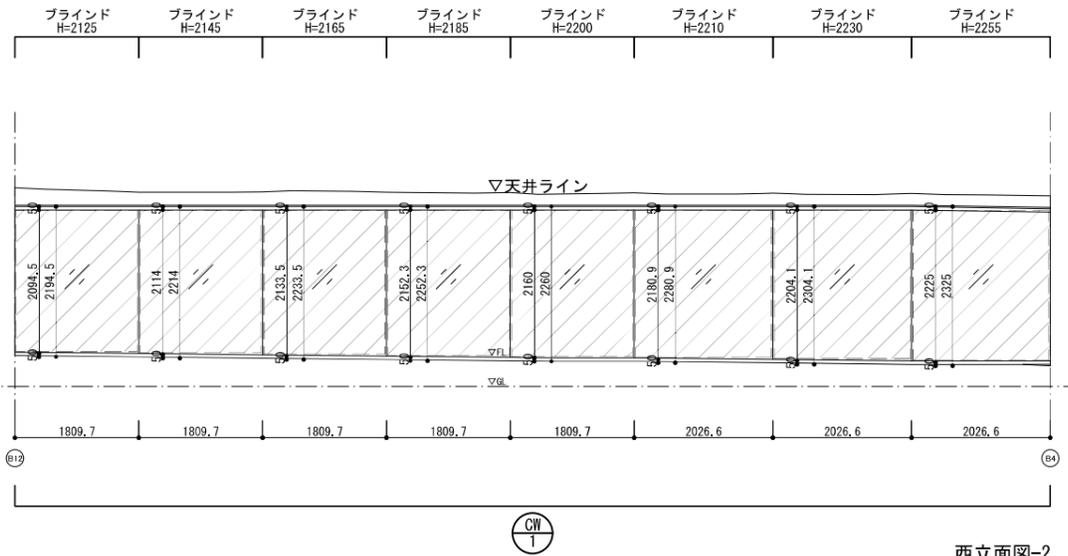
### 7. 可動間仕切りパーティション



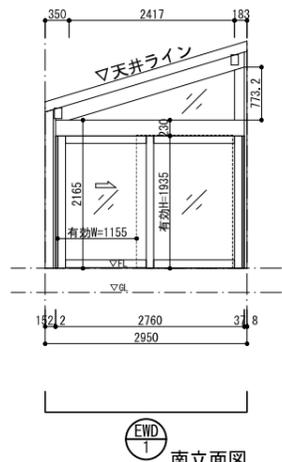
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11	図面名称	建具キープラン	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:300 (A3)	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-037 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	大橋	大橋	大橋	
	設計者			名称 株式会社 高橋建設建築設計事務所
	大橋			資格者氏名 大橋康孝 登録番号 一級建築士登録第343672号 所在地 静岡県静岡市東区 西千代町29-30



西立面図-1



西立面図-2



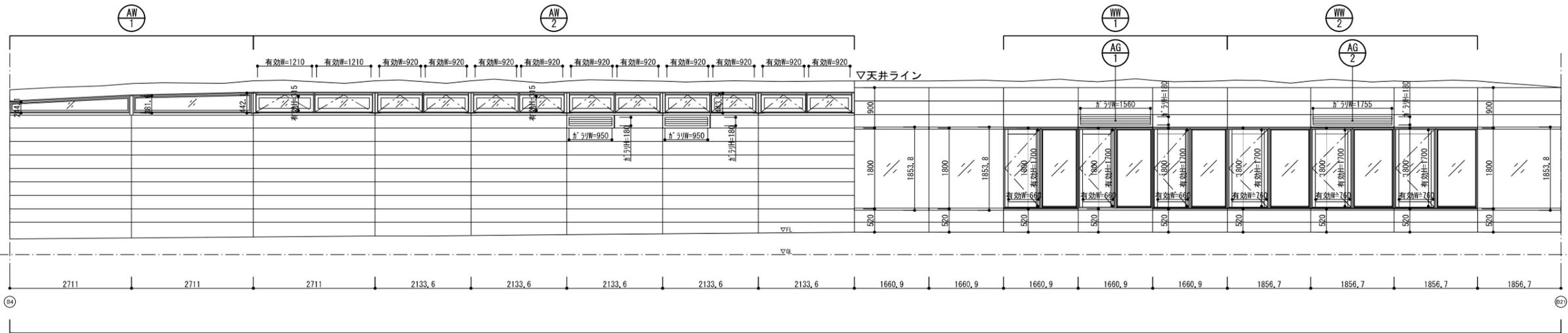
南立面図

※ ブラインド設置範囲  
(横型、アルミ、スラット幅15mm)

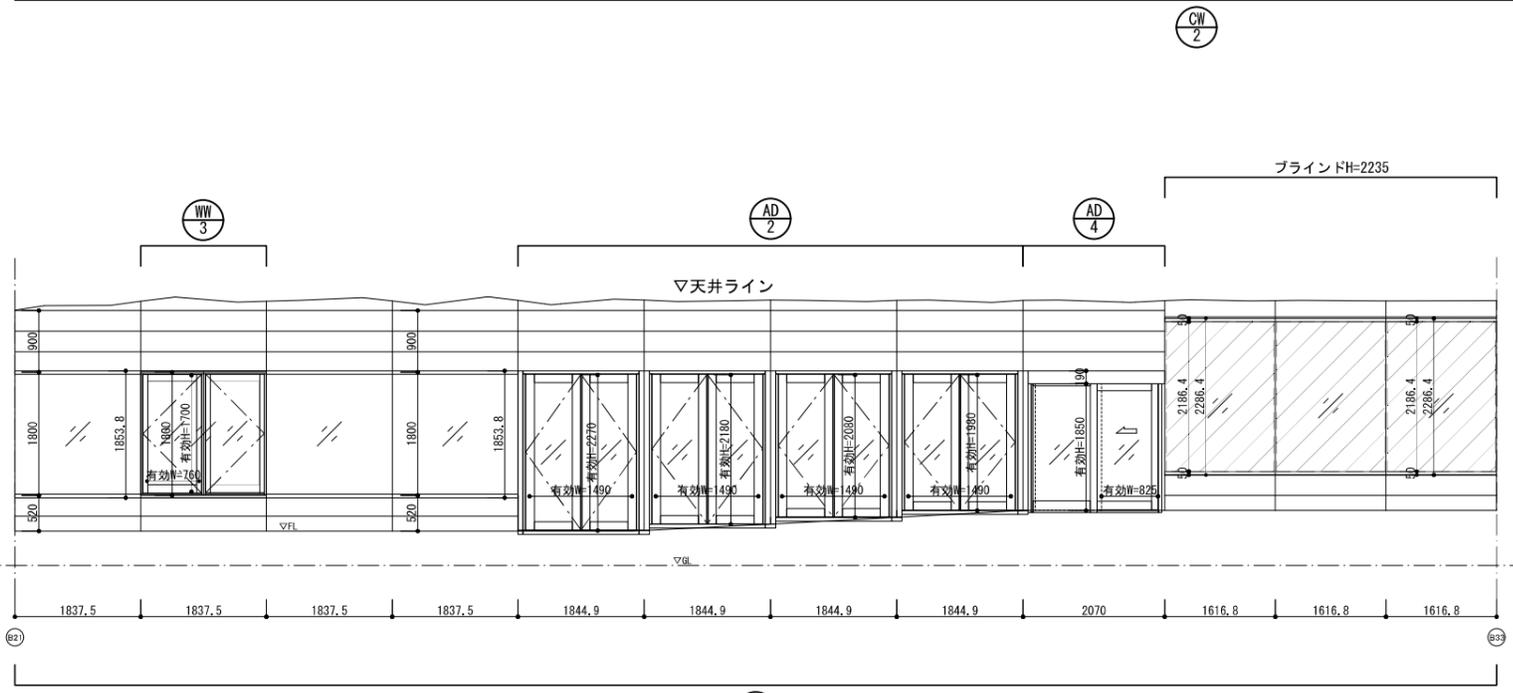
※西面についてはR部、直線以外は多角形状とする

建具	符号	形式	使用箇所	種別		枠/扉					ガラス					遮音	網戸	引き手等	錠	備考
				防火	エアタイト	見込	材質	仕上	W(有効)	H(有効)	委図参照	外種類	外厚	A	内厚					
CW	1	FIXカーテンウォール	外壁西面	-	-	72	A	A2	委図参照	TP	10	12	10	TP	-	-	-	-	飛散防止フィルム貼り 上下2辺支持 デバイス同等品(FIX部)	
	2	FIXカーテンウォール	外壁東面	-	-	72	A	A2	委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	飛散防止フィルム貼り 4辺支持ハック材: St FB-22 x 50 デバイス同等品(FIX部)	

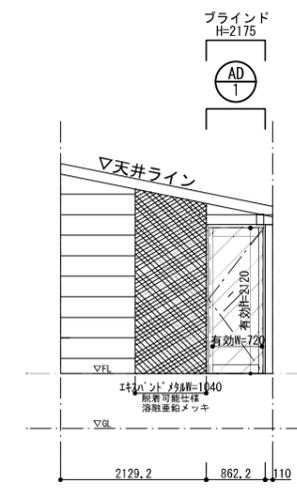
工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	建具表1
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)
公圖名称	新宿御苑	図面番号	A-038 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	名称	株式会社 高橋建設建築設計事務所	設計者
	資格者氏名	大橋康孝	登録番号
所在地	東京都新宿区西千代町29-30		



東立面図-1



東立面図-2



北立面図

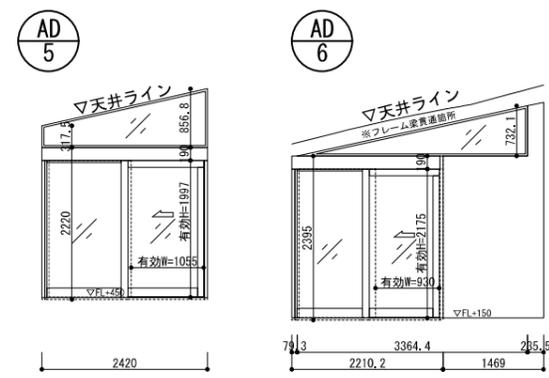
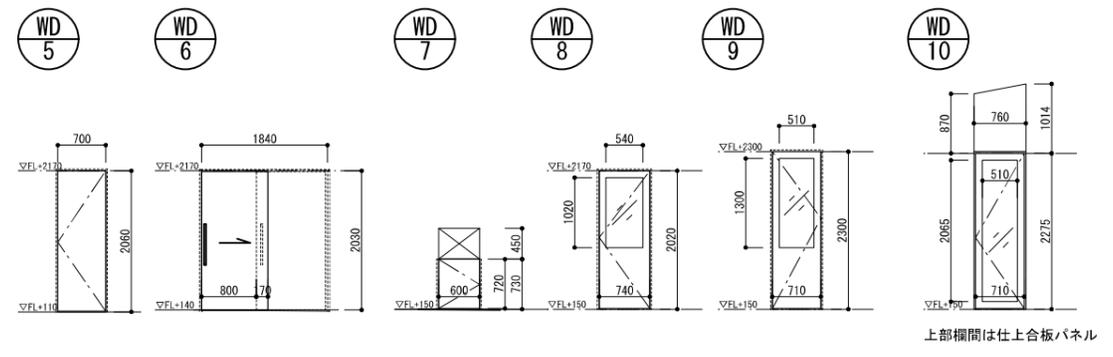
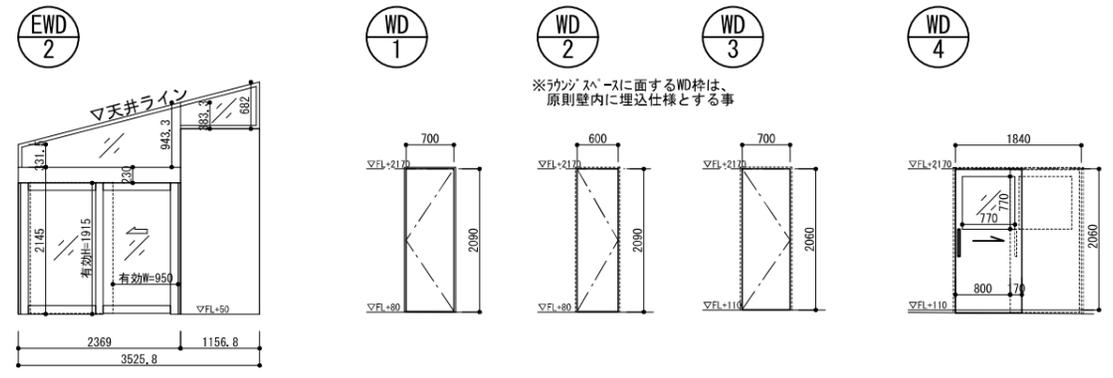
※  ブラインド設置範囲 (横型、アルミ、スラット幅15mm)

※東面については多角形状とする

建具	符号	形式	使用箇所	種別		枠/扉					ガラス				遮音	網戸	引き手等	錠	備考
				防火	エアタイト	見込	材質	仕上	W(有効)	H(有効)	外種類	外厚	A	内厚					
CW	1	FIXカーテンウォール	外壁西面	-	-	72	A	A2	姿図参照	TP	10	12	10	TP	-	-	-	-	飛散防止フィルム貼り 上下2辺支持 デバイス同等品 (FIX部)
	2	FIXカーテンウォール	外壁東面	-	-	72	A	A2	姿図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	飛散防止フィルム貼り 4辺支持ハック材: St FB-22 x 50 デバイス同等品 (FIX部)

工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	建具表2	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)	
公図名称	新宿御苑	図面番号	A-039 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	大橋	大橋	大橋	
	名称	株式会社 高橋建設建築設計事務所	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	一級建築士登録第34372号	所在地	静岡県静岡市東区 西千代町29-30

建具	符号	形式	使用箇所	種別		枠/扉			ガラス					遮音	網戸	引き手等	錠	備考	
				防火	エアタイト	見込	材質	仕上	W(有効) H(有効)	外種類	外厚	A	内厚						内種類
EWD	1	片引き自動扉+FIX窓	展示スペース南面	-	-	70	W	OP	1155 1935	FL	6	12	6	FL	-	-	-	標準金物一式 内外樹脂サッシ(無目内蔵型)	
	2	片引き半自動扉+FIX窓	展示スペース北面	-	-	70	W	OP	950 1915	FL	6	12	6	FL	-	-	電気錠	標準金物一式	
	3	片引き半自動扉	ラウンジスペース西面	-	-	70	W	OP	1060 1895	FL	6	12	6	FL	-	-	-	標準金物一式	
WD	1	片開き戸	事務パケット	-	-	36	W	OP	700 2090	-	-	-	-	-	-	LH DC	LHL	標準金物一式	
	2	片開き戸	物置	-	-	36	W	OP	600 2090	-	-	-	-	-	-	CH HSH	-	標準金物一式	
	3	片開き戸	WC(男)	-	-	36	W	OP	700 2060	-	-	-	-	-	-	LH HSH	HL	標準金物一式	
	4	片開き戸	手洗い場	-	-	36	W	OP	800 2060	-	-	-	-	-	-	OB	-	標準金物一式 上吊式引戸金物一式(ソフトクローズ) ガラス:FL6	
	5	片開き戸	WC(女)	-	-	36	W	OP	700 2060	-	-	-	-	-	-	LH HSH	HL	標準金物一式	
	6	片開き戸	多目的トイレ	-	-	36	W	OP	800 2030	-	-	-	-	-	-	OB	HL	標準金物一式 上吊式引戸金物一式(ソフトクローズ) 下部見切 SUS-FB	
	7	片開き戸	コピースペース	-	-	36	W	OP	600 730	-	-	-	-	-	-	-	-	スライド丁番	
	8	片開き戸	フロントデスク	-	-	40	W	OP	740 2020	-	-	-	-	-	-	LH CDC	-	標準金物一式 ガラス:FL6 隠し丁番	
	9	片開き戸	デスクスペースL	-	-	40	W	OP	710 2300	-	-	-	-	-	-	LH CDC	-	標準金物一式 ガラス:FL6 隠し丁番	
	10	片開き戸	テーブルスペース1	-	-	40	W	OP	710 2275	-	-	-	-	-	-	LH CDC	-	標準金物一式 ガラス:FL6 隠し丁番	
WW	1	FIX窓+片開き戸	デスクスペース	-	-	100	W	OP	660 1700	FL	6	12	6	FL	-	横引	CLH	標準金物一式	
	2	FIX窓+片開き戸	デスクスペース	-	-	100	W	OP	760 1700	FL	6	12	6	FL	-	横引	CLH	標準金物一式	
	3	両開き戸	テーブルスペース1	-	-	100	W	OP	1520 1700	FL	6	12	6	FL	-	横引	CLH	標準金物一式	
AD	1	片開き戸	テーブルスペース2	-	-	70	A	A2	720 2120	FL	6	12	6	FL	-	-	-	電気錠	標準金物一式
	2	両開き戸	半屋外スペース	-	-	70	A	A2	1490 委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	標準金物一式 フランス落し
	3	折れ戸	半屋外スペース	-	-	70	A	A2	1215 委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	あけてんで同等品(株式会社TOKO) 下部レール:250M型 2部のみ外付けグレンハンドル
	4	片引き半自動扉	半屋外スペース東面	-	-	70	A	A2	825 1850	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	標準金物一式
	5	片引き半自動扉+FIX窓	半屋外スペース北面	-	-	70	A	A2	1055 1997	FL	6	12	6	FL	-	-	-	電気錠	標準金物一式
	6	片引き半自動扉+FIX窓	ラウンジスペース北面	-	-	70	A	A2	930 2175	PW	6.8	12	6	FL	-	-	-	-	標準金物一式
AW	1	FIX窓	事務パケット	-	-	70	A	A2	2711 委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	異形7mmサッシ
	2	突出し排煙窓+7mmサッシ	事務パケット 展示室	-	-	70	A	A2	委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	7mmサッシ(隠蔽式) 手動開閉操作具 高さFL+1400
AG	1	7mmサッシ	デスクスペース上東側	-	-	70	A	A2	1560 180 委図参照	-	-	-	-	-	-	固定網戸 防虫網 SUS	-	開口率:50%	
	2	7mmサッシ	デスクスペース上東側	-	-	70	A	A2	1755 180 委図参照	-	-	-	-	-	-	固定網戸 防虫網 SUS	-	開口率:50%	



工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和4年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	建具表3	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)	
公図名称	新宿御苑	図面番号	A-040 /	
検印	管理建築士	設計	製図	
	大橋	大橋	大橋	
	名称	株式会社 高橋建設建築設計事務所	資格者氏名	大橋康孝
	登録番号	一級建築士登録第343672号	所在地	静岡県静岡市東区 西千代町29-30